床材を選ぶときに

床材の耐久性 p.516
床材の安全性 p.522
床材と静電気 p.526

床材の耐久性

床材にまず要求される機能は、「どれだけ長持ちするか」という耐久性。
東リはより最適な床材を選んで欲しいとの思いから、全製品の耐久性を多角的に評価しています。

床材の耐久性に影響を与える12の要因

1 歩行量 → 耐摩耗性

歩行の集中する場所、例えば通路の中央やレジカウンター内には特に過酷な負荷がかかり、床材の摩耗と共に汚れやすい状況におかれています。床材への負荷の要因には、この歩行量と併せて、砂の持込み量も大いに関係します。

2 人の行動 → 耐摩耗性

同じ歩行量でも、単に歩行する場所と、一旦立ち止まってから歩き出したり回転する場所では、床材の摩耗量が大きく異なります。例えば、エレベータの操作ボタンの下やレジカウンター付近などは摩耗が激しく、これは足によるにじりや歩き出した時に力がかかるなど、通常歩行と異なる負荷が原因と考えられます。

3 土砂の持込み → 耐摩耗性

高分子系床材など硬質の床材にとっての大敵は、土砂による摩耗。マットの有無や階数によって土砂の持込み量は異なり、同じ歩行量でも床材の摩耗量が異なります。ダストコントロール性があるカーペット（DC-1100（156頁））や除塵マットの設置と維持管理がポイントです。

4 車輪の往来 → 耐動荷重性・耐ヘタリ性

車輪の往来は、歩行とは異なった負荷を床材に与えます。重量と車輪の大きさ、硬さによって影響が異なります。特に、接地面積が小さく硬い車輪が往来する場所、例えば配膳車やストレッチャーなどが頻繁に往来するような場所などは要注意です。このような場所には、耐動荷重性に優れた床材を、強い下地に強い接着剤で施工する事が求められます。

5 薬品類による汚染 → 耐薬品性

床材の材質によっては、酸やアルカリ物質によって、変退色や膨れ・破壊など品質変化をもたらすものがあります。ゴムや粘着テープに含まれる成分からも汚染される可能性があります。（542頁参照）

6 直射日光の有無 → 耐候性（耐候堅牢度、光劣化、黄変）

直射日光によって、カーペットの変退色、高分子系床材の変質がおこります。最も影響の大きいのが紫外線で、紫外線カットガラスの使用やブラインドなどによる遮光が有効です。通常のガラスがあるだけでも、かなり影響を緩和します。本カタログでは、直射日光や降雨の影響に対する高分子系床材の耐久性を、耐候性マークで表示しています。（517頁参照）

7 タバコなどによる熱 → 耐熱性

床材の熱に対する考え方として、熱によって焦げ跡など品質変化が残らない事を是とする考え方と、焦げ跡は残っても火災にはならない事を是とする2つの考え方があります。後者を防炎性といいますが、水平面の床で炎が拡がる可能性は非常に低いのが現状です。ルースレイマスターNW-EX（332頁）のように耐シガレット性床材として開発された製品以外の高分子系床材でも、ある程度の熱には耐えますが、タバコの火に耐えるほどの耐熱性はありません。

8 ワックスメンテナンス

メンテナンス回数が多ければ、同じ負荷がかかっても摩耗・汚れはともに進行しにくく、より長持ちします。ビニル系床材は、特にワックスの塗布回数が大きく影響します。ワックスを再塗布する際に、古いワックスが残っていると、かえって汚く見える事があります。特に防滑性床材のように凹凸のある表面は、凹部にワックスや汚れが溜まりやすく、注意が必要です。

9 下地湿気

下地湿気が施工後の床材の膨れや突上げなどを招くなど床材に与える影響は大きく、グレードⅡb（水分指標10%以上）では施工できません。グレードⅠ（水分指標8%以下）で一般工法、グレードⅡa（水分指標8～10%）では耐湿工法で施工します。
※下地のグレードについては515頁をご参照下さい。

10 相対湿度

相対湿度が高い場合、結露やカビの発生による衛生状態の悪化や臭気の発生など、環境に影響を与えます。これらを防ぐためには、室内の換気対策が重要です。

11 長時間にわたる低温熱の影響

床材は、50℃前後の温熱が長時間にわたって持続すると、高分子系床材、カーペットともに変質・変退色の可能性があります。高温に設定された床暖房や、下方吹出のファンヒーターなどによって、床材が長時間にわたって通常より高温にさらされる場所では注意が必要です。

12 空気中のガス成分

バスやトラックの排気ガスに含まれる窒素酸化物（NOx）や、温泉地の空気に含まれる硫黄成分などが風で運ばれ、床材が変色する事があります。特に、ナイロンを使用したカーペットは影響を受けやすく、また、水の持込みなどによる湿気があると変色の進行は早くなります。

カーペットの耐久性の見分け方

カーペットの耐久性は、パイルの素材・製法・形状・目付・密度でおおよそ決まります。東リでは、製品規格と〈耐ヘタリ性〉〈耐静荷重性〉〈耐摩耗性〉の３種類の代用特性の試験結果、実使用の結果を照らし合わせて耐久性を評価。全製品を４段階の耐久性レベルと、「業務」「家庭」という２用途に分類し、それぞれの耐久性をマークで表示しています。

東リ カーペット耐久性マーク

業務4
空港、デパート、店舗をはじめ、オフィス、各施設のエントランスホール・ロビーなど、歩行量が多く台車などの重量物が頻繁に往来するような部位に適しています。

業務3
オフィス、学校、病院等の執務室やホテルの宴会場など中程度の歩行量の部位に適しています。

業務2
小規模オフィス、ホテルの客室など歩行量の比較的少ない部位に適しています。

家庭用
住宅、幼保施設など素足で使用される空間に適しています。

※上記代用特性は形態変化での耐久性のみを指標とし、汚れ方に大きく影響を及ぼす色の変化は含まれません。

高分子系床材の耐久性の見分け方

高分子系床材の耐久性は、有効摩耗層/摩耗量から推測する事ができます。東リでは〈耐摩耗性〉の数値を基に、全製品を３段階に分類し、マークで表示。さらに、荷重のかかったキャスターによる動的負荷に対する強さを示す〈耐動荷重性〉を２段階で、直射日光や降雨に対する強さを示す〈耐候性〉については２段階のマークで表示しています。他にも〈耐静荷重性〉〈耐薬品性〉の評価を行うなど、さまざまな視点から耐久性を評価できる基準を設けています。

東リ 高分子系床材耐久性マーク

業務用超重
土足での使用に際し、歩行量が極めて多い部位、台車などの重量物が頻繁に往来するような、厳しい使用状況が想定される場合に適しています。

業務用
オフィスや学校、病院、店舗等各種施設での、土足での使用に適しています。

住宅用
住宅での、素足、靴下、スリッパ等での使用に適しています。

※この耐久性は、指定の工法で施工する事を前提としています。

東リ 耐動荷重性マーク

高耐動荷重
工場など重量物を積載したハンドリフトや、手術室の電動手術台などが常に往来するような場所に対して、指定された接着剤を用いる事によって優れた耐動荷重性を示します。

耐動荷重
病院通路など、配膳車、ストレッチャーなどが、頻繁に往来するような場所に対して、指定された接着剤を用いる事によって耐動荷重性を示します。

※この耐動荷重性は、
指定の工法で施工する事を前提としています。

東リ 耐候性マーク

屋外
長時間直射日光のあたる場所でも使用可能です。

半屋外
屋根のある屋外で使用可能です。

床材の耐久性

カーペット〈評価解説〉

各製品のランクは10～11頁を参照して下さい。

耐ヘタリ性

人の歩行や椅子、台車などのキャスターの通行によるパイルのヘタリに対する耐久性の目安。摩耗を伴った動的荷重による厚さ減少（JIS L 1021-7）の結果、及び実歩行等での外観変化を考慮して総合的にランク付けしています。

ランク	評価	解説
Ⓐ	強い	歩行量が多く、台車などの重量物が頻繁に往来する場所。
Ⓑ	やや強い	中程度の歩行量がみこまれる場所。
Ⓒ	普通	土足軽歩行、及び家庭用途。

耐静荷重性

什器等、長時間おかれていたものを移動させた後、その跡が残る場合があります。耐静荷重性とは、こういった長時間の荷重後のパイルの復元の程度を示す指標です。長時間・重荷重の静的荷重による厚さ減少（JIS L 1021-6）の結果、及び実使用等での外観変化を考慮して総合的にランク付けしています。

ランク	評価	解説
Ⓐ	強い	図書館、福祉施設等の重量物の設置移動の頻繁な場所に適する。
Ⓑ	やや強い	重量物の設置の可能性のある場所にも適する。
Ⓒ	普通	一般住宅に適する。

耐摩耗性

台車の移動や歩行等によるパイルの擦減りにくさの目安です。フィラメント糸の場合は単純に擦減りにくさの目安となりますが、ウールやアクリル等紡績糸の場合は遊び毛のでにくさの目安ともなります。摩耗強さ（JIS L 1021-11）の結果、及び実歩行等での外観変化を考慮して総合的にランク付けしています。

ランク	評価	解説
Ⓐ	強い	ナイロン等のフィラメント糸使いで、擦減りにくく遊び毛がでにくい。
Ⓑ	やや強い	ウール・アクリル素材の紡績糸使いの中でも、遊び毛がでにくい。
Ⓒ	普通	紡績糸使いで、初期段階に遊び毛がでる。

高分子系床材〈評価解説〉

各製品のランクは12～15頁を参照して下さい。

耐摩耗性

外から靴について持込まれた砂がサンドペーパーの役割を果たし、歩行や台車の往来によって床材表面が削られ、摩耗します。この摩耗は、床材を破損させるだけでなく、汚れが溜まり美観を損ねる要因ともなります。

ランク	結果（有効摩滅回転数）	用途の目安
Ⓐ	15000回以上	歩行量が多く路面に接している等、砂の持込みの多い場所。
Ⓑ	15000～5000回以上	大型店舗等、歩行量が多く砂が持込まれる1階フロア等。
Ⓒ	5500～2000回以上	大きなマットの設置等砂に対する配慮のある1階フロア等。
Ⓓ	2500回以下	1階以外のフロア等。

JIS A 1454 耐摩耗性試験

耐動荷重性

キャスターの往来により、破損や膨れを生じるまでの期間が長いほど耐動荷重性が高いといえます。耐動荷重を示す高分子系床材のランクは、想定される荷重とキャスターの径を考慮し、右のように分類しています。

ランク	結果	用途の目安
Ⓢ	二次試験（車輪46mmφ）で膨れるまで30分以上かつ、非発泡であり、基材がある事（タイルは除く）	工場など重量物を積載したハンドリフトなどが常に往来するような場所に対して優れた耐動荷重性を示す。
Ⓐ	二次試験（車輪46mmφ）で膨れるまで30分未満	病院通路など、配膳車、ストレッチャーなどが、頻繁に往来するような場所に対して耐動荷重性を示す。
Ⓑ	一次試験（車輪110mmφ）で膨れるまで60分以上180分未満	学校やオフィスなど、一般用途で台車や事務椅子が往来するような場所に使用する。
Ⓒ	一次試験（車輪110mmφ）で膨れるまで60分未満	台車などの往来の可能性の低い場所で使用する。

※耐動荷重性あり：ランクSまたはA
接着剤：バスナシリーズ：バスナセメントEPO、ヒトエグランザ・ヒトエファイン：エポグレーSS、マチュアNW・SFフロアNW・ホスピリュームNW・ケアセーフNW・アリーナフィット・ファクトリュームケミ・CFシート全般：USセメント、
その他床材：エポグレーS（一次試験・二次試験共通）
一次試験：耐キャスター試験（JIS A 1454準拠）
車輪：直径110mm・幅50mm・鉄製　荷重：2000N（約900N／cm²）
二次試験：東り独自試験
車輪：直径46mm・幅20mm・鉄製　荷重：2000N（約2700N／cm²）

耐静荷重性

什器など長時間おかれていたものを移動させた後、その跡が残る場合があります。耐静荷重性とは、長期荷重が排除された後、どの程度の復元力を床材が有しているかを示します。

ランク	結果	用途の目安
Ⓐ	減少厚み0.1mm以下	重量物が長時間にわたっておかれる可能性のある場所。
Ⓑ	減少厚み0.1超～0.15mm以下	ある程度の重量物の長期設置・移動の可能性のある場所。
Ⓒ	減少厚み0.15超～0.3mm以下	重量物の設置の可能性はあるが短期間移動の可能性の高い場所。
Ⓓ	減少厚み0.3mm超	重量物設置の可能性がない場所。

JIS A 1454　残留へこみ試験B法 19mmφ鋼棒22.6kgf×5分間・荷重除去60分後

耐薬品性（消毒液）

床材は薬品や溶剤によって変色・変質する可能性があり、単に美観を損ねるだけでなく、床材の劣化を引きおこす可能性があります。ここではあらゆる施設で使用頻度の高い消毒液に対する耐久性を示しています。

ランク	結果	用途の目安
Ⓐ	変化なし	問題なく使用可能。
Ⓑ	わずかに変化する	清掃に注意した上で使用可能。
Ⓒ	変化する	美観の低下や劣化の可能性がある。

耐薬品性試験

耐候性

日光や降雨により、高分子系床材の変退色や変質がおこります。特に影響が大きいのが紫外線で、ガラスなど遮るもののない直射日光、及び降雨に対する耐久性を「耐候性」といいます。耐候性に劣る床材は、直射日光や降雨が影響する屋外や半屋外で変退色や変質がおこる可能性があります。東リでは、キセノンアークランプでの耐候性試験を行っています。

ランク	結果	用途の目安
Ⓐ	4000時間でグレースケール3級以上	長時間直射日光が当たる場所でも使用可能。屋外対応。
Ⓑ	2000時間でグレースケール3級以上	屋根のある屋外で使用可能。半屋外対応。
Ⓒ 屋内仕様	——	屋内のみ使用可能。

JIS A 1415 キセノンアーク光源による暴露試験（屋外条件）

耐薬品性

床用
シート・タイル

特定の薬品に対する耐久性能指標としてお役立て下さい。

【試験方法】
耐薬品性試験

各種床材上に脱脂綿を置き、1㎖の薬品を滴下し、時計皿をかぶせて24時間放置し、水洗・乾燥後の汚染状態を3段階で立位から目視評価します。

【評価基準】
立視点から見た際の性能目安となります。

着色、材質、光沢の3つの基準からそれぞれ評価し、そのうち最も低いランクを表示。
A：変化なし　B：わずかに変化する　C：変化する

分類		シート											タイル	
製品名		ヒトエ グランザ／ファイン	フロアリューム プレミアNWシリーズ※	マチュアNW	ノンワックスリュームNW	ホスピリュームNW（SFフロアNW（デアセーフNW）	帯電防止フロアリューム	耐薬スーパーKシートNW	耐薬スーパーKシート エクセラNW	オペリューム	ファクトリューム ケミ	消臭NSトワレNW	マチコV	ルースレイマスター NW-EX
品番		HTE1002	20FL622	FS4052	TS7013	TS2339	TS333	TS3540	TS3720	TS4501	TS8531	NS4804	MV78	TT7002
掲載頁		350・352	358	368	364	376	401	402	403	407	404	428	258	332
無機酸	硫酸 50%	B	B	B	B	B	A	B	A	A	A	A	B	A
	塩酸 37%	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	A	B	A
有機酸	酢酸 99%	A	A	A	A	B	A	A	A	B	A	A	B	A
	蓚酸 9%	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	C	A
	クエン酸 20%	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	C	A
	乳酸 85%	B	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	B	A
汚染物質	大豆油	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	セメントペースト	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A
アルカリ	水酸化ナトリウム 25%	B	B	B	B	B	A	B	A	A	A	B	A	A
	アンモニア水 28%	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
殺菌消毒・検査試薬	ポビドンヨード 10%	C	C	C	C	C	C	C	B	A	A	B	B	A
	クレゾール 100%	B	B	B	B	B	B	A	A	B	A	C	B	A
	パパニコロウ染色液	B	B	A	A	C	B	A	A	B	B	A	B	A
有機溶剤	メタノール	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A
	MEK	A	C	C	C	C	B	B	C	C	C	C	B	B
	酢酸エチル	A	C	A	A	A	B	A	A	B	A	C	B	B
	テトラヒドロフラン	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	キシレン	A	C	C	A	A	B	A	A	A	A	C	A	A
	トルエン	A	C	C	A	B	C	A	A	B	A	C	A	A
消毒液	消毒用エタノール 80%	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	次亜塩素酸ナトリウム 0.1%	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
	次亜塩素酸水（200ppm）	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A

※フロアリューム ソイルドNW・ラティスNW・フレークNW・ナッティNWの4製品

その他の製品・薬品の耐薬品性資料はこちら

※データは特記のない場合はすべて社内データです。
数値は試験値であり、保証値ではありません。

床材の耐久性

床材の耐久性を見る目安

CASE❶ 耐摩耗性 ――玄関・1階フロア・下駄箱付近等における土砂による摩耗――

〈カーペットの場合〉

カーペットは単に表面のすり減りだけを問題とする高分子系床材と異なり、パイルの引きちぎられやすさ、引き抜かれやすさも耐摩耗性（抜け毛量）に大きく影響を及ぼします。
従って、カーペットの耐摩耗性はパイル素材強度だけでなく、パイル糸の製法によってもその優劣が変わってきます。製法によるパイル糸の種類は、短繊維の集合体である紡績糸と、エンドレスにつながった長繊維の集合体であるフィラメント糸に大別されます。短い繊維のためソフトな風合いである反面、遊び毛が多く抜けやすい紡績糸に比べ、フィラメント糸の抜け毛量は非常に少なく耐摩耗性に優れています。ポリプロピレン素材やナイロン素材はそのほとんどがフィラメント糸ですが、その中でもBCFナイロン（BCF＝Bulked Continuous Filament）は、繊維自身の強度も高く、耐摩耗性に最も優れた素材といえます。（下表参照）

◇耐摩耗性試験
JIS L 1021-11（摩耗強さ：抜け毛量）カーペットを貼付けた回転円盤に、荷重10N（約1kgf）の摩耗輪で試験し、どれだけパイルが摩耗したかを見る方法。

■カーペットの耐摩耗性

強い	BCFナイロン	すり減りにくく 遊び毛がでにくい
やや強い	ポリプロピレン ポリエステル	遊び毛がでにくい
普通	ウール・アクリル・ 紡績糸	初期段階に 遊び毛がでる

JIS L 1021-11 摩耗強さ：抜け毛量

〈高分子系床材の場合〉

土砂がサンドペーパーの役割を果たし、歩行や台車等の往来によって床材表面が削られ、摩耗します。この摩耗跡にホコリなどの汚れが溜まり、汚染を招きます。
高分子系床材の耐摩耗性は、有効摩耗層（下記参照）の材質と厚みによって決まります。一般には、バインダー含有率（ビニル樹脂＋可塑剤）が高いほど強く、耐摩耗性に優れています。コンポジションビニル床タイルの中でもスルーチップビニル床タイルは、全層有効摩耗層なので、耐摩耗性に優れています。
シート床材は、柔軟性を得るためにも、バインダー含有率が高い構成になっています。よって、耐摩耗性には優れているのですが、弾力性のある分だけ耐静荷重性や耐動荷重性に劣る場合があります。

高分子系床材の有効摩耗層とは…

摩耗しても使用可能な範囲の層。東リでは、印刷層のあるものは印刷層に達するまで、エンボスのあるものは凸部が認められる範囲、防滑性床材等、機能性床材は機能を発揮できる範囲を有効摩耗層としています。製品の耐久性は、有効摩耗層の材質と厚みによって決まるといっても過言ではありません。ビニル系床材には、耐久性に優れた透明ビニル層やUV樹脂コーティング層を有効摩耗層とする床材もあります。

床材の摩耗に大きな影響を与える土砂の持込み

土砂による摩耗は床材に大きな影響を与えます。また、土砂の持込みは、汚れの原因にもなり、いかに砂を持込まないかが床材の耐久性を左右します。砂の持込みの軽減には、足拭きマットの設置が大きな効果を期待できます。小林清周著『ビルの管理』によると、《歩行者の持込む土砂は4歩までにその50%が脱落し、5～9歩でほとんど全部脱落する。したがってこの間に土砂を取る事のできるマット類を充分に活用すれば大変効果があり、入り口から2歩で70%、4歩で90%を除去できる》とされています。
さらに、マットは単に土砂を落とすだけでなく、落とした土砂を他に拡げないダストポケットの効果もあります。特に海砂の影響が大きい海浜地区や、舗装されていない道路に面した建物等では、歩行量に応じた大きさのマットを設置するだけでなく、出入口の外側と内側の両方に設置するとさらに効果が上がります。しかし、マットを放置し続けると土砂が蓄積されます。この蓄積された土砂が運び出されると、さらに悪い結果をもたらします。
歩行量に応じたマットの選択、効果的な配置、適切に交換するメンテナンスシステムを徹底する必要があります。

CASE❷ 耐ヘタリ性・耐動荷重性 ――執務室・廊下等における車輪による破損――

〈カーペットの場合〉

カーペットに荷重がかかると、パイルの形状につぶれや、ヘタリがおこります。ヘタリにくさは、パイルの素材と目付、パイル密度によって決まります。強い素材で、かつ目付やパイル密度が高いほど耐ヘタリ性に優れているといえます。ヘタリとは、パイルが倒れ、回復しない状態の事です。素材が最も重要な要素ですが、パイルの形状や構造によってもヘタリにくさが異なります。

■カーペットのヘタリにくさ

	ヘタリやすい ← → ヘタリにくい
素材	アクリル < ポリプロピレン ポリエステル < ウール < ナイロン
パイル密度（単位面積あたりのパイルの本数）	少ない ← → 多い
パイル目付（単位面積あたりのパイル糸重量）	少ない ← → 多い
パイル長（基布表面からパイルの先端までの長さ）	長い ← → 短い
テクスチャー	カットパイル ← → ループパイル
	ハイ＆ロー ← → レベル

〈高分子系床材の場合〉

シートは、やわらかいため伸びやすく、また目地が少ないため下地湿気を逃がさない事から接着強度の低下により膨れや剥がれを招く事があります。シートに荷重がかかると、荷重部分はへこんで周辺が膨れます。膨れた床材は、接着強度が弱い場合は下地と接着剤の間で剥離し、下地が弱い場合は下地ごと破壊されます。一方、接着剤にも下地にも問題がなくても、シートそのものが負荷に耐え切れず、層間剥離する事があります。発泡ビニル床シートは、層間剥離だけでなく、表面が傷つくとそこから発泡層が破壊される場合があります。
吸水性の大きな下地や、ざらめモルタルや石膏系のセルフレベリングなどのような脆弱な下地は、破壊されやすく、下地補強剤による補強が必要です。接着剤は、反応形接着剤のほうが強度に優れています。

■ビニル床材の耐動荷重性

キャスターの違いによる床材への負荷について

台車やストレッチャー、フォークリフトなど車輪の往来によって、床材がにじられ、破損する事があります。このキャスターによる床材への負荷は、総重量よりも、単位面積あたりにかかる重量＝接地荷重によって決まります。例えば、総重量は同じでも、車輪径の小さい、つまり接地荷重の大きい事務椅子のほうが床材への負荷は大きくなります。
また、同じ車輪径のキャスターでも、空気タイヤ→ソリッドタイヤ→プラスチック車輪→金属車輪の順で、床材への負担が大きくなるといわれています。これは、やわらかい車輪ほど変形しやすく、接地面積とは反比例して接地荷重が小さくなる事による差です。このキャスターの動荷重による負荷に対応するには、床材の耐動荷重性だけでなく、下地強度と接着剤強度が重要な要素を果たします。動荷重による破壊は、床材そのものが破壊される場合よりも、下地の破壊や、下地と接着剤との間の層間剥離によって床材が下地から浮上がり、破壊に至る事の方が多く見られます。

■床材にかかる接地荷重の例

	総重量	接地面積	接地荷重※
キャスター付事務椅子 ゴム製4輪	87kg	4輪× 1.09cm²/輪	約200N/cm² (20kgf/cm²)
キャスター付事務椅子 プラスチック製5輪	98kg	5輪× 0.70cm²/輪	約280N/cm² (28kgf/cm²)
フォークリフト	5200kg	4輪× 49cm²/輪	約270N/cm² (27kgf/cm²)
ハンドリフト	1290kg	4輪× 5.5cm²/輪	約580N/cm² (59kgf/cm²)
多機能手術台	680kg	4輪× 2.0cm²/輪	約850N/cm² (85kgf/cm²)

※接地荷重＝車輪の接している単位面積あたりの荷重

■接地荷重の求め方

①1輪にかかる荷重を計算します。
（全車輪に均等に荷重がかかる場合）

$$1輪にかかる荷重 = \frac{動荷重機器の重量}{車輪の数}$$

②1輪の接地面積を計算します。

$$a \times b = 接地面積$$

床材がやわらかく、車輪が硬い場合　　床材が硬く、車輪も硬い場合

③1輪の接地面積が求められれば、下記の式により単位面積あたりの荷重を求めます。

$$単位面積あたりの荷重（接地荷重） = \frac{動荷重機器の重量}{1輪の接地面積 \times 車輪の数}$$

大きな接地荷重に耐えるほど、耐動荷重性に優れた床材といえます。

床材の安全性

「どれだけ転倒しにくいか？」「転倒時の衝撃は？」
床材に要求される安全性は、人が安心して過ごせる空間づくりにかかせない要素です。

床材が安全性に関与する3つの要因

1 転倒事故 → 防滑性

床材が滑りやすい	●防滑性C.S.R値が小さい。
床材が滑りにくい	●防滑性C.S.R値が大きい。
床材の滑りやすさが変わる	●異なる床材が施工されている。 ●水や油などがついている。 ●砂などがついている。 ●ラグマットなどが敷いてある。

↓

想定と滑りやすさが異なる。

↓

体が対応できずに、判断違いで、転倒する。

■転倒の環境要因とその目安

滑りやすい ←→ 滑りにくい

各要因の組み合わせにより、滑りやすさは変化します。

2 転倒事故によるけが → 衝撃吸収性

転倒時に、床に体や頭を打ちつける	●床が硬い。 ●衝撃吸収性の加速度Gの数値が大きい。 ●壁が硬い。 ●壁面にガラスがある。 ●階段の下にガラスや鋭利なものがある。
転倒時に、壁面や家具などに衝突する	

↓

大きなけがになる。

3 方向や危険物を見まちがう → 視認性

視線の低い高齢者	●床のデザイン貼りで誘導する。 ●床のデザイン貼りで危険を知らせる。
文字の読めない幼児	

↓

●サイン部分が小さすぎて見えない。
●サインと周囲の色差がなく見えない。
●2色の明度差が小さいので照度が低いと見えない。
●サインの形や配色が誤解をよぶ。

↓

意図する注意喚起・誘導効果が得られない。

防滑性の見分け方と目安

床材表面の状態や履物の違いから、床材の滑りにくさの程度をあらわす〈防滑性〉。
東リでは「JIS A 1454（滑り性試験）」による「水＋ダスト」の滑り性試験結果のC. S. R値を基に、防滑性のある床材をマークで表示しています。C. S. R値は、数字が大きいほど滑りにくく、小さいほど滑りやすい事を示しています。

※一部製品については、素材・規格等その製品の特長から、他の要素も加味しています。

東リ 防滑性マーク

乾燥時に優れた結果を示し、湿潤時にもそれほど結果が低下せず優れた結果が得られた製品。マンションの開放廊下やバルコニー、調理室、トイレ、プールサイドに適しています。

防滑性

水など異物が床と靴底の間に介在した時に滑りやすくなる床材は転倒の可能性が高くなります。

※素足での滑り性はC.S.R·B値で評価します。0.3%石鹸水でC.S.R·B値が0.7以上あれば安心できるレベルであるといえます。

ランク	結果（C.S.R値）	用途の目安
Ⓐ	水＋ダストで0.45以上	マンション通路、調理室、トイレなど水の介在する可能性の高い場所。
Ⓑ	水＋ダストで0.40以上	水の介在する可能性が低く、通常の歩行が行われる場所。
Ⓒ	乾燥または水＋ダストで0.40未満	防滑性の求められる部位には推奨できない。

JIS A 1454　滑り性試験

東リではⒶの条件を満たし、防滑性向上を意図したエンボスを施すなどの加工により、防滑性に配慮した製品を防滑性製品としています。また、それに応じたランク表示をしています。

■各種床材の防滑性（C.S.R値）

分類	製品名	掲載頁	水＋ダスト〈小〉←数値が大きいほど滑りにくい→〈大〉	乾燥時	評価
シート	東リNSステップ800	422	0.64	0.73	A
	NSリアルデザインNW（NS4300番台）	408	0.54	0.82	A
	NSアクアトレッド	434	0.55	0.81	A
	NSプレーンNW	433	0.52	0.83	A
	NSシート NS800（NS830番台）	412	0.51	0.75	A
	NSリアルデザインNW（NS4200番台）	408	0.51	0.78	A
	NSフラッティ	432	0.50	0.71	A
	消臭NSトワレNW	428	0.48	0.74	A
	ケアセーフNW	384	0.47	0.71	B
	ホスピリュームNW※	376	0.47	0.76	B
	SFフロアNW※	380	0.44	0.76	B
タイル	ロイヤルストーン・ノンス	310	0.46	0.66	A
	ロイヤルウッド	268	0.43	0.77	B
タイルカーペット	東リ ダストコントロールカーペット DC-1100	156	0.61	0.74	A
	GA-100	50	0.56	0.83	A
	GA-8900	86	0.53	0.63	A

※エンボスにより防滑性能が異なります。詳細については、「東リ 内装技術資料」をご参照下さい。

0.3 0.4 0.5 0.6 0.7 0.8 0.9 1.0

上記データは、未使用の床材を試料としています。防滑性製品（NSシート）以外の製品でも良好な値を示しておりますが、使用状況により表面形状が変化し、当初の性能を維持する事ができなくなります。特に防滑性が求められる部位には、防滑性製品（NSシート）をおすすめいたします。

【試験方法】

C.S.R値　滑り性試験（JIS A 1454 準拠）

785N（約80kgf）の荷重をかけた底面積56cm²のゴム片を、床材の上で仰角18度、引張荷重速度785N/秒で滑らせたときの最大摩擦係数（C.S.R値）を測定します。

■各種床材の素足防滑性（C.S.R・B値）

分類	製品名	全厚（㎜）	0.3%石鹸水	滑りやすい 0.5 0.6 0.7 0.8 0.9 1.0 1.1 1.2 滑りにくい	水	評価
シート	バスナフローレ	3.5	0.96		1.22	○
	バスナリアルデザイン（BNR3200～BNR3400番台）	3.5	0.86		1.17	○
	バスナアルティ	2.8	0.84		1.11	○
	NSシート NS550 遮熱ガーデント	2.5	0.99		1.03	○
	バスナリアルデザイン（BNR3100番台）	3.5	0.71		0.93	○
	一般ビニル床シート	2.0	0.63		0.74	–
その他（一般品）	一般セラミックタイル	–	1.19		1.19	○
	一般ユニットバス床（FRP）	–	0.85		1.02	○

【評価基準】

○　安心できるレベル
（0.3%石鹸水にてC.S.R・B値が0.7以上）

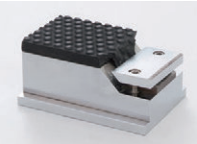
【データの判定目安】

実際の浴室での試験施工結果に基づくと、0.3%石鹸水にてC.S.R・B値が0.7以上であれば安心できるレベルであるといえます。

【試験方法】

C.S.R・B値　素足想定の滑り性試験

785N（約80kgf）の荷重をかけた底面積56㎠の凹凸のあるゴム片を、床材の上で仰角18度、引張荷重速度785N/秒で滑らせたときの最大摩擦係数と最小摩擦係数を測定し、その和（C.S.R・B値）を算出します。



$$\text{C.S.R・B値} = \frac{\text{Pmax (N)} + \text{Pmin (N)}}{\text{鉛直荷重 (785N)}}$$

その他の製品・薬品の耐薬品性資料はこちら

※データは特記のない場合はすべて社内データです。
数値は試験値であり、保証値ではありません。

床材の安全性

床材表面の状態の変化による影響

高分子系床材は、水や油が付くと、その液体が床材表面に皮膜を張ったようになり、滑りやすくなります。防滑性床材のような、凹凸のある多くの床材は、液体を凹部に逃がす事によって、滑りやすさを緩和しています。また、弾力性のあるやわらかい床材では、砂粒がめり込んで滑りにくくなる場合もあります。但し、凹凸のある床材は一般的に汚れやすい欠点を持ち合わせていますので、メンテナンスに注意が必要です。
カーペットは、水や油のような液状の汚れが付着しても、比較的滑りの程度が変わらず、転倒事故の発生しにくい床材です。

■参考データ（C.S.R値）

床材	水＋ダスト	解説
防滑性 防滑性ビニル床シート（NS800（NS810番台））	0.61	表面形状により、水などが介在しても影響を受けにくい。
一般ビニル床タイル（マチコV）	0.43	水などが介在すると影響を受けやすい。
一般プリントタイル（鏡面）	0.43	
一般ビニル床シート	0.46	

履物の違いによる影響

同じ床材でも靴底の形状によって、滑りやすさは異なります。また、同じ床材、同じ靴底でも、乾燥した状態か水に濡れた状態かによって、滑りやすさが異なります。
床材を施工する場所で常用される靴の種類や、水を使用するか否かによって、安全な床材は変わります。

■参考データ《一般複層ビニル床シート》（C.S.R値）

靴底	乾燥した状態	水＋ダスト
合成ゴム底	0.84	0.46
リハビリ靴	0.80	0.43
ビニル底スリッパ	0.45	0.41
靴下	0.24☆	0.45

☆靴下は乾燥した状態での数値が非常に小さく、この状態では滑りによる転倒事故が発生しやすいと考えられます。
※上記C.S.R値は、代表的な靴底にて測定しましたが、靴底の形状及び材質等により数値が異なります。

■参考データ《コンポジションビニル床タイルーマチコV》（C.S.R値）

靴底	乾燥した状態	水＋ダスト
合成ゴム底	0.7	0.43
革底	0.45	0.41

※データは特記のない場合はすべて社内データです。
数値は試験値であり、保証値ではありません。

衝撃吸収性の見分け方と目安

転倒時の衝撃を床がどれだけやわらげるかを示す〈衝撃吸収性〉。
東リでは「衝撃吸収性試験」を基に全製品を評価し、ランク付けしています。

東リ 衝撃吸収性マーク

衝撃吸収

発泡構造により、転倒時に受ける衝撃を緩和します。

〈評価解説〉 各製品のランクは12～15頁を参照して下さい。

衝撃吸収性

衝撃吸収性に優れた床材ほど、衝撃を緩和する力に優れ安全性にも優れています。学校や病院、福祉施設など弱者の利用する場所で、大切な要素となります。参考までにコンクリート床の衝撃吸収性は150G（1470m/s²）です。

ランク	結果	m/s²	用途の目安
Ⓢ	100G以下	980以下	怪我の防止に配慮した特に転倒時の安全を望む場所。
Ⓐ	100超～115G以下	980～1127	転倒の可能性の比較的高い場所。
Ⓑ	115超～130G以下	1127～1274	通常歩行だが、転倒時の安全を望む場所。
Ⓒ	一般床材（130G超）	1274超	通常の歩行が行われる場所。

衝撃吸収性試験

床材の衝撃吸収性

転倒時の衝撃をどれだけ緩和できるかは、衝撃吸収性試験で評価される「転倒衝突時の衝撃加速度」によって比較でき、数値が小さいほうが衝撃吸収性に優れています。衝撃吸収性を求められる体育館の床は、JISで100G（980m/s²）以下と規定されています。この数値は、単なる床材表面のやわらかさや弾力性の評価とは異なります。

数値が低いほど、衝撃吸収性が高い

分類	製品名	全厚（㎜）	グラフが短いほど転倒時の衝撃吸収性が高い〈G値〉 衝撃吸収性〈高〉←→衝撃吸収性〈低〉	G値	m/s²	評価
シート	**SFフロアNW＋アンダーレイシート**	7.3		84	823	S
	ホスピリュームNW＋アンダーレイシート	6.5		85	833	S
	ケアセーフNW	4.5		94	921	S
	CFシート-SD	3.5		94	921	S
	アリーナフィット	4.5		96	941	S
	バスナリアルデザイン	3.5		104	1019	A
	CFシート-P NW	2.3		108	1058	A
	バスナフローレ	3.5		110	1078	A
	NSリアルデザインNW	2.5		111	1088	A
	SFフロアNW3.5mm（受注生産品）	3.5		115	1127	A
	CFシート-H	1.8		117	1147	B
	SFフロアNW	2.8		118	1156	B
	ホスピリュームNW	2.0		125	1225	B
	バスナアルティ	2.8		129	1264	B
	NSフラッティ	2.0		130	1274	C
	オペリューム	2.0		144	1411	C
	フロアリューム プレーンNW／マーブルNW	2.0		145	1421	C
タイル	ルースレイ50NW-EX	5.0		143	1401	C
	ロイヤルウッド／ロイヤルストーン	3.0		144	1411	C
	マチコV	2.0		146	1431	C
タイルカーペット	**GA-100＋タイルカーペット用アンダーレイシート**	10.5		97	951	S
	GA-8900＋タイルカーペット用アンダーレイシート	10.0		99	970	S
	東リ ダストコントロールカーペット DC-1100	10.0		111	1088	A
	コレンテV［GX-9300V］	6.5		124	1215	B
	GA-100	6.5		124	1215	B
	GA-8900	6.0		128	1254	B
その他（一般品）	**たたみ**	55.0		55	539	S
	コルクタイル	5.0		116	1137	B
	リノリウム	2.5		142	1392	C
	木床フローリング	12.0		143	1401	C
	塗床（平滑タイプ）	―		150	1470	C
	コンクリート	―		150	1470	C

【試験方法】

加速度計を内蔵した、人間の頭部を想定したおもり（3.85kg）を規定の高さ（20±1cm）から床面に落下させ、衝突時の加速度を測定します。

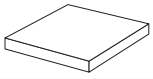
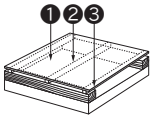
その他の製品・薬品の耐薬品性資料はこちら

※データは特記のない場合はすべて社内データです。
数値は試験値であり、保証値ではありません。

下地構造材の衝撃吸収性

転倒時の安全性は、内装材である床材の衝撃吸収性よりも、下地と構造材の衝撃吸収性が大きく寄与します。例えば同じ床材でも、コンクリート下地よりも木造組床下地のほうが、はるかに衝撃吸収性に優れています。逆に、衝撃吸収性の良い床材でも、コンクリート下地では得られる性能に限界があります。

■参考データ　下地構造ごとの衝撃吸収性の違い

下地構造材		測定位置	加速度 G	加速度 m/s²
	コンクリートスラブ	―	150	1470
	コンクリートスラブ ＋ ころばし根太 ＋ 12㎜厚合板	❶中心部	44	431
		❷根太の上	117	1147
	コンクリートスラブ ＋ ころばし大引き ＋ 根太 ＋ 12㎜厚合板	❶中心部	44	431
		❷根太の上	66	647
		❸根太ところばし大引きの上	102	1000

床材と静電気

人体に不快感を与えるだけでなく、コンピューターや精密機器の誤作動・劣化・故障を引きおこす静電気。快適な空間をつくるためには、床材による静電気防止も重要なポイントです。

床材の制電性・電気特性の見分け方

東リ 電気性能マーク（高分子系床材）

発生した静電気を、アース板を通じて地中に逃がす事によって静電ショックを防ぐ導電グレード。コンピューター制御室などに使用可能です。

静電気を拡散させ、発生を緩和する帯電防止グレード。機械の組み立てライン、OAオフィス、手術室、検査室、薬剤室などに使用可能です。

〈評価解説〉 各製品のランクは10～15頁を参照して下さい。

制電性（カーペット）

歩行時に発生する静電気のおこりにくさを示す目安です。静電気の発生は、人体に帯びた静電気が他へ放電した結果といわれています。静電気を防ぐには、いかに迅速に人体に帯びた静電気を床を通して地中に逃がすかによります。カーペットの制電性は、靴底の材質によっても変わります。

ランク	結果	用途の目安
Ⓐ	1.0kV以下	OA機器を使用する場所等、静電気を嫌う場所。
Ⓑ	3.0kV以下	一般の使用で静電気が気にならないレベル。
Ⓒ	3.0kV超	静電気の発生しにくい場所での使用に適する。

帯電性ー歩行試験（JIS・L 1021-16 準拠）

東リではⒶⒷを制電製品としています。

電気特性（高分子系床材）

高分子系床材の電気特性には、下地に逃がす帯電防止性と、静電気をアース板を通じて地中に逃がす導電性の2段階があります。静電気ショックは人体に帯びた静電気が他へ放電した結果です。迅速に人体に帯びた静電気を床を通して地中に逃がす事によって静電気の発生を防ぐ事ができます。

ランク	結果	用途の目安
Ⓐ	1×10^{4}～$1\times10^{7}\,\Omega$	導電グレード。コンピューター制御室等。
Ⓑ	1×10^{7}～$1\times10^{10}\,\Omega$	帯電防止グレード。機器の組み立てライン・OAオフィス、手術室、検査室、薬剤室。
Ⓒ	$1\times10^{10}\,\Omega$以上	一般グレード。静電気の発生の憂慮されない場所。

JIS A 1454 体積電気抵抗試験　23℃ 25% RH　下地金属板

東リではⒶⒷを帯電防止製品としています。

静電気発生と対策

OA機器の取扱いが多い場所では、静電気の発生が問題になります。静電気は機器類の誤動作を招くだけでなく、半導体等の破損の原因にもつながります。このような場所では、制電性を備えた機能性床材が有効。帯電防止床材や導電性床材、制電カーペットがあり、どれも歩行によって人体と床材との間に生じた静電気を、床材を導体にする事によって地中に逃がす働きをします。帯電防止床材は、配合された帯電防止剤が空気中の水分を利用して電気抵抗を下げるため、室内の相対湿度や下地の導電性の影響を受けます。導電性床材はカーボン等の導体を埋め込んでいるので安定した制電性を期待できます。（注：塗り床、タイル等、既存床の上に重ね貼りすると、静電気の逃げ場がなくなり、問題をおこす事があります。）

■静電気の発生要因

歩行による摩擦で、床と靴の間に静電気が発生します。

静電気が溜まり、人体が帯電します。

人体からの放電で、静電気トラブルが発生します。

施工・メンテナンス

施工の流れ p.527
下地の知識 p.528
接着剤の知識 p.531
カーペットのメンテナンス p.533
ファブテックタイルのメンテナンス p.535
高分子系床材のメンテナンス p.536
床暖房システムの構造と床材施工 p.538

施工の流れ

下地の検査と確認

- 下地の種類
- 下地の吸水性
- 汚れ
- たわみ
- 亀裂 など
- 下地湿気
- 平滑性
- 下地表面強度
- 段差

↓

施工の準備

- 施工環境（温度・湿度など）の調整
  ※温度は10℃以上が望ましい
- 材料の搬入
- 納入材料の品番・数量確認
- 下地調整
- 清掃
- 基準線の墨出し

↓

施工

A）ビニル床タイルの施工　接着剤塗布 → 貼付け → 圧着

B）ビニル床シートの施工　粗切り → 仮敷 → 接着剤塗布 → 貼付け → 圧着 → 継目処理

C）タイルカーペットの施工　接着剤塗布 → 貼付け

D）ロールカーペットの施工〈接着工法〉　仮敷・粗切り → 接合部のカット → 接着剤塗布 → 貼付け → 壁際のトリミング

↓

残材処理・清掃

↓

施工後の点検

↓

養生期間をとる（接着剤が完全に硬化するまで）

↓

ビニル床タイル・ビニル床シートは、養生作業＋ワックス塗布

ただし、NWシリーズ・NW-EXシリーズは、養生作業（クリーナーによるポリッシャー洗浄）。カーペットは、養生作業。

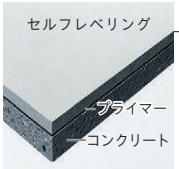
下地の知識

湿気や平滑性、強度といった下地の状況によって、床材の施工条件や仕上り具合は左右されます。
特に下地湿気や吸水性は非常に大きな影響を与えるので注意を要します。
下地に不都合がある場合には、補修や補強など適切な対策をとる事が必要不可欠です。

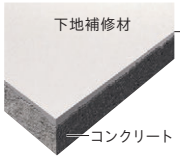
下地の種類の注意点

吸水性のある下地

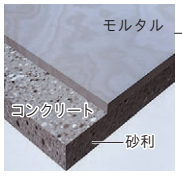
接着剤とのなじみが良く、エマルション形・ラテックス形・溶剤形接着剤は特に乾燥固化しやすい。デッキプレート仕様の下地は、下地湿気に関係なく耐湿工法とする。



セルフレベリング床
自己水平性（セルフレベリング）を持つが、配合によっては表面強度に劣る。粉ふきが多いので要注意。※詳細は530頁⑥「表面強度・レイタンス」をご参照下さい。

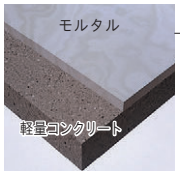


下地補修した下地
モルタル・コンクリート下地の不陸やカケなどに対し、モルタル・コンクリート下地補修材などで補修した下地。

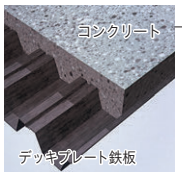


モルタル
コンクリートの上にセメントモルタルを塗って金ゴテ仕上げをした床。吸水性が良く、床材施工に適している。

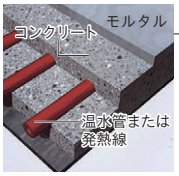
土間コンクリート
地面に接しているコンクリート床の総称。下地湿気が抜けにくい状況にある。防水シートなどによる下地水分の遮断は必須。



軽量コンクリート
砂利の代わりに軽量骨材を使用し、床スラブとして軽量化できる。軽量骨材が水分を含んでいるため下地の乾燥に長時間を要する。



鉄板上のコンクリート
鉄板（デッキプレート）に、コンクリートを打設して仕上げた床で懸架床に使用される。この組み合わせが最も問題をおこしやすい。鉄板下地と軽量コンクリートの組み合わせは通常の5倍の乾燥時間を要するので、耐湿工法が必要。

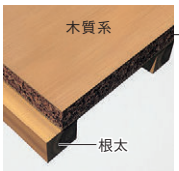


コンクリート埋込型床暖房
コンクリートの下に敷設された、防水性のある断熱材によって下地湿気が抜けにくい。暖房時の加湿による問題が大きい。
＊パネル型床暖房はパネルの種類により吸水性の少ない下地・吸水性のない下地に分類する。

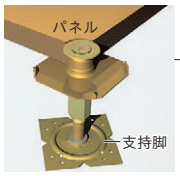
シンダーコンクリート（防水層＋押えコンクリート）
主に屋上（ルーフバルコニー等）防水の押え及び紫外線からの保護用として、強度よりも軽さが必要な場合に使用するコンクリートの総称。防水層の上にコンクリートがあるという構造上、含有した水分が抜けにくい。
※常に多量の水分を含むおそれがあるため施工はおすすめできません。

吸水性の少ない下地

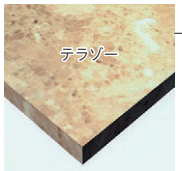
接着剤のなじみが悪く、表面が緻密なため、接着剤の乾燥を遅らせる傾向にある。反応形接着剤を使用するか、塗布量を少なくし接着剤の乾燥を促進させる必要がある。待ち時間・残存ワックスにも要注意。サンダー等で表面を荒らし接着性を上げる事も対策の一つ。



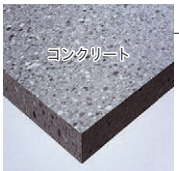
木質系下地（コンパネ等）
段差、隙間、たわみによる目地部の膨れが生じやすい。木質系の場合、防腐剤、防蟻剤などにも注意が必要。



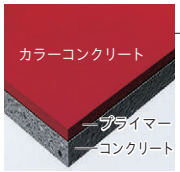
フリーアクセスフロア（木質系・軽量コンクリート）
床下配線システム用。一般的には表面材となる床材のピールアップ性を求められる。



人造石（テラゾー）
ワックスが残っている場合には除去が必要。防水層がない場合の下地からの湿気上昇、段差、目地あき、ブロックの浮きに要注意。



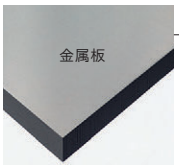
モノリシック
俗に「一発仕上げ」と呼ばれる。表面強度がある等の長所があるが、平滑性が欠けやすく、コテムラの発生などに注意を要する。



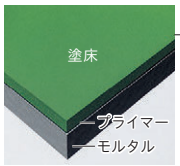
カラーコンクリート
ワックスが残っている場合には除去が必要。防水層がない場合の下地からの湿気上昇に要注意。

吸水性のない下地

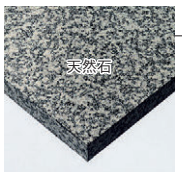
接着剤の乾燥に時間を要する。床材の目地からの接着剤のにじみ出しの可能性がある。反応形接着剤を使用する。塗布量をやや少なめにして待ち時間にも要注意。



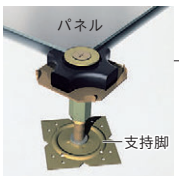
金属系
サビ止め塗料と接着剤のなじみが悪い場合があるので注意する。



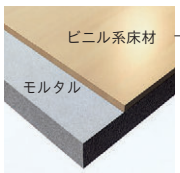
塗床
さざ波仕上げで凹凸があったり、平滑性に欠ける場合は要注意。



石材系（天然）
ワックスが残っている場合には除去が必要。防水層がない場合の下地からの湿気上昇、段差、目地あき、ブロックの浮きに要注意。



フリーアクセスフロア（金属）
床下配線システム用。一般的には表面材となる床材のピールアップ性を求められる。



重ね貼り
施工後に問題が発生しやすい。既設床材が緻密な材質の場合やワックスが塗布されている場合には特に要注意。
＊軟質な床材上への硬質な床材の重ね貼りは不可。

下地湿気の測定方法

A　ポリエチレンフィルムによる方法（簡易法）

1m四方のポリエチレンフィルムを24時間下地面に広げ、周囲を空気が逃げないように止める。フィルムの内面に水滴が溜まったり、下地が黒く変色した時には、下地未乾燥。

B　ポリエチレンフィルム法の応用

床材を24時間1m四方仮敷きするか、24時間前に仮設置された荷物や器具を移動させてその下の状態をみる。黒く変色した時は下地未乾燥。

C　コンクリート・モルタル水分計（515頁参照）による方法

平坦で日光の直射や通風がなく付着物のない場所を選んで水分計で計測。

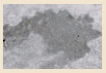
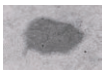
コンクリート・モルタル水分計とポリエチレンフィルム法の関係ならびに工法の目安

D.MODE測定値（HI-520-2）	ポリエチレンフィルム法結果	施工方法の目安
グレードⅠ（D.MODE440未満 水分指標8%以下）	24時間後、変化なし。	一般工法
グレードⅡa（D.MODE440以上620未満 水分指標8～10%）	24時間後、輪郭が不明瞭だが黒ずんでいる。	耐湿工法
グレードⅡb（D.MODE620以上 水分指標10%以上）	24時間後、明確な変色がある。	施工不可

※高周波水分計HI-520-2型 D.MODEにて測定。
※グレード：日本床施工技術研究協議会「コンクリート床下地の表層部の諸品質測定方法・グレード」による。

吸水性の有無の判断方法

下地の吸水性の有無を現場で判断する場合、次の判定方法が有効です。

下地に1～2滴水滴を落として数秒後の状態	判断
変化がない	吸水性のない下地
拭取ると濡れ色が残る 	吸水性の少ない下地
水滴が吸収されてしまう 	吸水性のある下地

下地が影響する事

1 下地湿気

〈湿気による床材への影響〉

- 床材が剥がれる。
- タイルが突上がる。
- 床材が縮む。
- タイルの目地から汚れた水が出てきて、目地の周囲が汚れる。
- 床材に膨れが出る。床材の下に水が溜まっている場合は、直径数センチの膨れになり、下地に結晶物が生成した場合には直径数ミリの膨れとなる。
- カビまたは異臭が発生する。
- 動荷重（キャスター走行）のかかる所が剥がれる（膨れる）。

〈湿気の上がりやすい下地と、その対策〉

下記の対策法をとった上で、さらに湿気による床材への影響を軽減するため、コンクリート・モルタルグレードⅡa（水分指標8～10%）の場合は耐湿工法により施工する事をおすすめします。

注意　接着剤は、粘着成分を分散させる溶媒によって、溶剤形と水系に大別されます。水系接着剤を指定されている場合は、ゴム系ラテックス形・アクリル樹脂系エマルション形のいずれかの接着剤をご採用下さい。ただし、水系接着剤は、耐水性が乏しいので、湿気のある下地や水のかかるおそれのある場所では使用できません。

下地が土間床

最近の建物ではスラブ下に防水シートが使われ、地下水が上がってくる事は少ないが、防水シートが破れていたり、古い建物で防水シートが敷設されていない場合に、地下水が上がってくる事がある。

対策　●防水工事を確実にする。

コンクリート、モルタルが未乾燥

コンクリート打設後または、モルタル塗り後の期間が短いと余剰の湿気が出る。アルカリ性の強い湿気である事が特長。デッキプレート上のコンクリートの場合は、乾燥するまでの期間が長いので、特に注意が必要。

対策　●下地の養生期間を長くとる。

ピットの上のスラブ

床スラブの下に高温多湿の貯水層やピットがあると、スラブが結露する。この結露水をコンクリートが吸収し、スラブ表面まで達する。

対策　●水の供給側で防水処置をとる。

隣室で水が使われている

水を多量に使用している厨房が隣にあったり、スーパーマーケットのバックヤード、保冷庫周辺、野菜売場、あるいは外回りに植栽のある壁際は床が湿潤しやすいので要注意。

対策　●水の供給側で防水処置をとる。

窓、壁の部屋内結露

部屋内外の温度差が大きい時、窓ガラスや壁に結露した水が垂れ、床面に広がる。

対策　●換気を充分にする。　●除湿器を設置する。　●壁に断熱材を入れる。　●窓を二重サッシにする。

下地の知識

下地が影響する事

2 平滑性

不陸によって、接着剤の塗布量が均一にならず、凹部に塗り溜まりができる。下地不陸が床材の表面に出て、ワックスの塗り溜まりができる。

●床材の目地や継ぎ目から接着剤がはみ出す事がある。
●溶剤による床材の軟化、膨れ、突上げなどが発生するおそれがある。

対策

●不陸は1mで2㎜以内に納める。
●局部的な凹凸はなくす。
●凸部を削り、凹部を下地補修材で埋めて、平滑にする。
●木質系下地では、エポキシ樹脂系の下地補修材を使用する。セメント系下地補修材は使用不可。
●コンクリート系下地の場合、凸部は砥石などで削り取り、下地補修材で平滑にする。

3 段差

段差が平滑性を阻害し、接着不良を招くおそれがある。木質系下地、フリーアクセスフロアやパネル型床暖房下地でしばしば発生する。

●施工後、重量物の往来などの荷重によって段差が床材表面に現れる。
●プラスチック系床材に影響し、段差や亀裂を生じる。

対策

●段差を削り取る。
●木質系下地の場合は、東リNSシールまたはエポキシ樹脂系下地補修材を捨塗りして段差部分を埋める。
●セメント系下地の場合は、クイックレベラー等のセメント下地系補修材を用いて段差部分を埋める。

4 亀裂

下地に残った亀裂が平滑性を阻害し、接着不良を招く。

●施工後、下地の動き、歩行や荷重によって筋状の膨れ、へこみ、ひび割れ、目地ずれを招く。

対策

●亀裂にクラック注入剤（エポキシ樹脂系等）を注入する。（エポキシ樹脂には塩ビを汚染させるものがあるので注意）

5 汚れ

ワックス、グリス、油類、塗料、防蟻剤、防腐剤、アスファルト系接着剤（黒糊）、油性マーカー、オイルステン、塩ビ配管用接着剤、朱墨、カラー釘等の汚染物質を含む汚れがプラスチック系床材に移行。既設床材を剥がした後の接着剤（特にアスファルト系接着剤（黒糊））が床材に移行し、裏面から汚染する。

●後日、床材表面に変色（着色）として現れる。

対策

●サンダー掛けで汚れや残存接着材を100％削り取る。

6 表面強度・レイタンス

下地の強度不足によって、後日、車輪の移動など負荷がかかった際に下地が破壊される。ザラメモルタルに多い現象。レイタンス（粉ふき等）によって、下地と下地補修材や接着剤がなじまず、表面強度が不足している場合がある。

●プラスチック系床材の膨れや剥がれが発生。
●下地表面に接着剤が付着しないので糊入れができない。

対策

●レイタンス（粉ふき）や脆弱な下地は、軽症であれば強度のある部分まで研磨する。プライマー等による補強はあまり望めない。
●モルタル・コンクリート系下地では、軽症であればエポキシ樹脂系・ウレタン樹脂系の下地補強材等で補修。
●セルフレベリング材には石膏系とセメント系がある。セメント系と比べて石膏系は表面が脆弱な場合が多く、注意が必要。
●極端な強度不足の場合は、研磨し、下地を造り直す。

7 たわみ

歩行や重量物の通過で下地がたわむ場合、床鳴りや亀裂の原因になる。

●プラスチック系床材の膨れや剥がれが発生。

対策

●木質系下地でたわみがある場合、厚さ12㎜以上の合板を目地を違えて貼付けてたわみのない下地を造る。
●床材を仮敷きする時は、部屋の中央にかためない。

8 接着性・接着面積

ALCパネルは多孔質で接着性が良くない。また、一部のフリーアクセスフロアで接着性の悪いものや開口率の高いものがあり、これらの下地では充分な接着強度が得られない。

●ALCパネルは接着剤が下地に染込んで施工ができない。
●ALCパネルは充分な接着強度が得られないため、床材の剥がれやずれを招く。

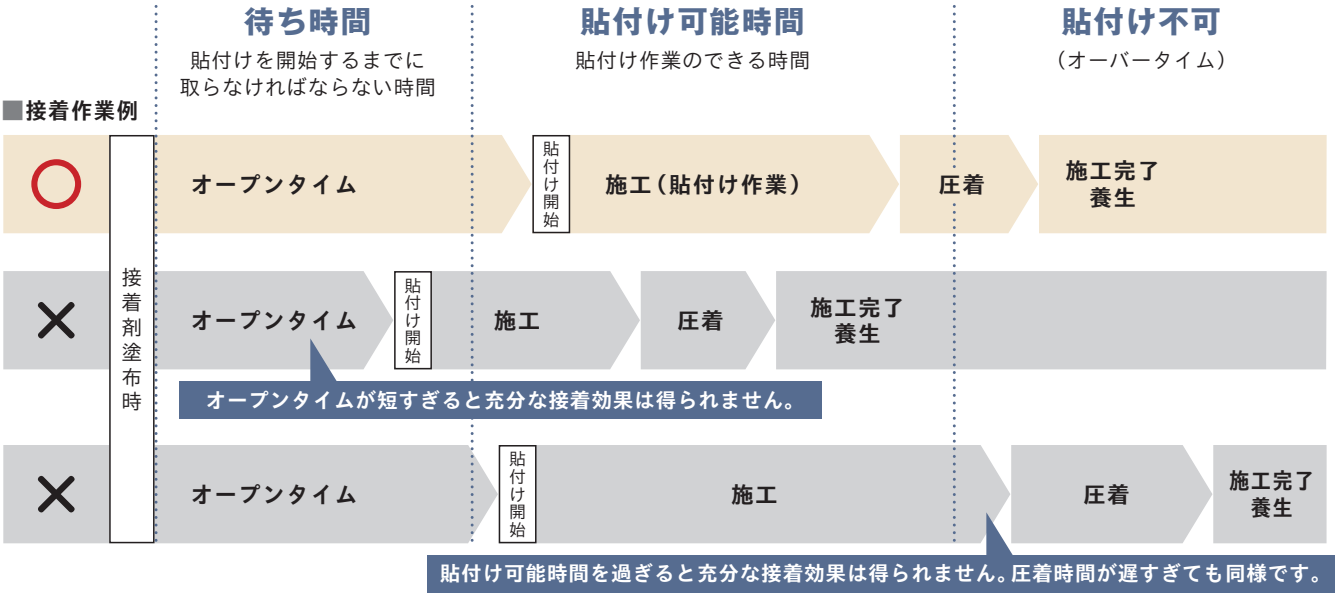
対策

●ALCパネルは、合板を捨貼りするなど下地を造り直す。
●フリーアクセスフロアは、その販売元に床仕上げ材の施工方法を確認する。
（ALCパネル：パネル状に製造された高温高圧養生された軽量気泡コンクリート。主に外壁材として用いられ、一部床板としても使用される。）

接着剤の知識

床材の施工を行う上で、最も重要な工程となる接着作業。
床を美しく仕上げるためには、その作業工程や接着剤の種類などを正しく知る事が大切です。

接着作業の流れ



注意　本カタログなどに接着剤ごとの待ち時間・貼付け可能時間を記載しています。記載しているこれらの時間は現実には一定のものではなく、接着剤の塗布量や下地の種類、施工時の温度・湿度・通風の有無などにより変化します。

■塗布可能時間

二液反応形接着剤にのみ使用する言葉。混合後塗布する事ができる時間。この時間を超えると反応が進みすぎ、硬化により施工不可能となります。目安は室温20℃で30分以内。室温が高かったり、混ぜる量が多かったりすると使用できる時間が短くなります。

■ローラー圧着作業

貼付け後、30分以内に必ず実施して下さい。

■オープンタイム

接着剤を塗布し、実際に床材を貼り始めるまでの時間。
（例）30分後に貼り始めた＝オープンタイムを30分取った。

■養生

養生時は接着剤が完全に硬化していないので、
急激な温度変化、重量物の往来は避けて下さい。

接着剤の分類

感圧・感熱タイプ
固体状の接着剤。主として両面接着テープやシーミングテープなど。

塗布タイプ
液体状の接着剤。塗布された接着剤は圧着され、その後硬化して初めて接着効果が発揮される。この液体→固体への変化の状態において、接着剤は大きく3つに分類される。

エマルション形・ラテックス形
●アクリル樹脂系エマルション形
●ゴム系ラテックス形
接着剤に含まれる水分が乾燥（蒸発）する事によって固化する接着剤。下地湿気の影響を受けやすい。

溶剤形
●酢酸ビニル樹脂系溶剤形
●ビニル共重合樹脂系溶剤形
●ゴム系溶剤形
接着剤に含まれる溶剤が揮発する事によって固化する接着剤。コンクリート下地に含まれるアルカリ性の強い湿気に影響されやすい。火気厳禁で、健康有害性があるので取扱注意。使用時は換気が必要。

反応形
●エポキシ樹脂系
●ウレタン樹脂系
●変成シリコーン樹脂系
接着剤に含まれる成分が化学反応する事によって変化し硬化、接着するタイプ。下地湿気の影響を受けにくく、耐湿工法用接着剤として用いられる事が多い。火気厳禁で、健康有害性があるので取扱注意。使用時は換気が必要。

接着剤の知識

法律上の規制

■使用上の規制〈労働安全衛生法〉

有機溶剤による人体への健康障害を予防するため、溶剤形接着剤・反応形接着剤を使用するにあたっては次の点に配慮する。

有機溶剤作業主任者の選任

溶剤形接着剤による床材施工を継続的に実施する場合は、
有機溶剤作業主任者の有資格者が作業を管理する。

作業場の注意

揮発性の溶剤で、蒸気を吸収すると中毒をおこすおそれがあるので取扱いには以下の注意事項を守る。

a) 取扱い場所には局部排気装置を設ける。
b) 容器から出し入れする時にはこぼれないようにする。
c) 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて防毒マスクまたは送気マスク・保護手袋などを着用する。
d) 取扱い後は手洗い・うがい・洗面を充分に行う。
e) 一定の場所に定めて保管する。
f) 主任者のいる作業場には、黄色の旗を立てる。

使用者の安全、健康および環境保護のために、安全データシート（SDS）、接着剤容器の貼付けラベルを作業前に必ず読んで使用して下さい。
安全データシート（SDS）は東リ営業所にお問合わせ下さい。

■保管上の規制〈消防法〉

接着剤の保管にあたっては、その特性や法令により次のような配慮が必要である。

保管数量

溶剤形・反応形接着剤は含有する有機溶剤の引火による火災の危険性から、消防法では溶剤の種類や引火性の程度別に貯蔵限度量が規制されている。これは、接着剤一覧（492～511頁）に集積限度として●印で掲載されている。この数量以下であっても、この数量の1／5を超える場合は、市条令によって少量危険物取扱の規制を受ける事があるので、所轄消防署への確認が必要。

		規制を受けない	市条令規制（少量危険物貯蔵、取扱）	消防法規制（危険物貯蔵、取扱）
●	危険物 第四類第一石油類	～40ℓ	40ℓ～200ℓ	200ℓ～
●●	危険物 第四類第二石油類	～200ℓ	200ℓ～1000ℓ	1000ℓ～
●●●	危険物 第四類第三石油類	～400ℓ	400ℓ～2000ℓ	2000ℓ～
●●●●	危険物 第二類引火性固体	～200kg	200kg～1000kg	1000kg～

（注）●●●●● 指定可燃物：可燃性固体類、合成樹脂類は、消防法規制上3000kg以上で規制を受けます。
●●●●●● 指定可燃物：可燃性液体類は、消防法規制上2m³以上で規制を受けます。

取扱上の注意

■保管上の注意

〈保管場所〉
直射日光があたらず風通しのよい5℃～35℃の冷暗所に保管する。
周囲に可燃物を置かない。

〈有効期間の厳守〉
容器に記載された日付から有効期間以内に使用する。
特に表示がない接着剤の有効期間は12ヶ月。

■使用残の接着剤

一度出した接着剤は容器に戻さない。原則として、開封後は残さず使い切り、残った接着剤を保管して使用する事は避ける。
使用済み容器等を廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託する。

■施工後

施工後の換気注意が必要。

カーペットのメンテナンス

カーペットを美しく保つには、清掃頻度や歩行量に合わせた日常の管理・清掃と、汚れを予防する配慮が最も大切です。日常的な清掃は、バキューム（掃除機）作業、シミ取り、パイルのホツレの補修が中心で、これらはメンテナンス上、必要最低限の作業。汚れの予防にはマットの設置が効果的です。
クリーニングは、年に1～2回ほど、カーペットの汚れや施工方法、施工場所などを考慮したメンテナンス計画が求められます。クリーニングで水を使用する場合は、縮みやシミが発生する事があるので充分に注意が必要です。

日常管理

●カーペットのメンテナンスは、バキューム作業が大きなウエイトを占めています。一般には、ブラシ付きのアップライト掃除機が適していますが、アクリルやウールなどの紡績糸使いのカーペットにはブラシのない業務用真空掃除機を用います。

●バキューム作業時に気づいた小さなシミは、その場（オンロケーション）で、パウダー洗剤またはシミトリキットを用いてシミ取りを行います。また、小さなパイルのホツレ、目地部の毛羽立ちも反りばさみでカッティング処理します。汚れやシミは、時間が経つほど落ちにくくなるので、できるだけ作業頻度を上げる事が求められます（1回以上／1日）。

クリーニング方法

●カーペットのクリーニング方法には、パウダークリーニング、ボンネットクリーニング、エクストラクションクリーニング、スチームクリーニング、ツーステップクリーニングの5種類があります。汚れ方や施工方法に応じ、適したクリーニング方法を選びます。
●最も清掃効果が高いのは、ツーステップクリーニングです。

●エクストラクションクリーニングやスチームクリーニング、ツーステップクリーニングなど水を使用する方法は、グリッパー工法で施工したカーペットのシーミングのある場所やタイルカーペット、織カーペットでは注意が必要です。

	クリーニング		床材の種類					
	汚れの落ち具合	通行止めにする時間	タフテッドカーペット		織カーペット		タイルカーペット	
			全面接着工法	グリッパー工法	全面接着工法	グリッパー工法	モルタル下地	フリーアクセスフロア下地
(1)パウダークリーニング	○～△	特に不要	○	○	○	○	○	○
(2)ボンネットクリーニング	○～△	1時間	○	○	○	○	○	○
(3)エクストラクションクリーニング	○	6時間	○	△	△	△～×	○	△
(4)スチームクリーニング	◎	6時間	○	△	△	△～×	◎	△
(5)ツーステップクリーニング	◎	8時間	○	△～×	△	×	◎	△～×

※この分類は一般的なものであり、実際の使用環境によって評価が異なる場合があります。

(1)パウダークリーニング

洗剤の入ったパウダーを汚染部に散布し、専用マシンでパイルの汚れをパウダーに吸着させ、乾燥後に掃除機でパウダーを回収する方法。乾きが早いので、作業中でも通行止めにする必要はない。掃除機での回収不良による変色、乾燥したパウダーによる室内汚染の可能性があるので、パウダーの選択に注意する。汚れが強い場所では、前処理剤との併用が効果的な場合がある。パウダークリーニングは単独で行う場合と、ボンネットクリーニングと併用する場合がある。

(2)ボンネットクリーニング

パッドまたはカーペット表面に洗剤液を少量スプレーし、拭上げる。洗剤液の使用量が少なく早く乾く。この方法はパイル表面だけの洗浄なので、6ヶ月から1年に1度は、エクストラクションクリーニングによってパイル根元から洗浄する必要がある。ただし、水を使用できない場所では、ボンネットクリーニングのサイクルの間にパウダークリーニングを採用する。

(3)エクストラクションクリーニング

ボンネットクリーニングやパウダークリーニングで汚れが除去できなかった部分は、エクストラクションクリーニングによる一工程洗浄を行う。一工程洗浄とは、シャンプーと汚水回収を一工程で行うもの。目地からの洗浄水の浸入を少なくするために、縦横各1回ずつの2回がけを限度とする。床下配線のあるフリーアクセスフロア部分は、電源を切るなどの配慮が必要。ツーステップクリーニングに比べると、エクストラクションクリーニングでは洗浄後のパイルへの残留水が少ないが、一定時間の通行止めが必要である。

(4)スチームクリーニング

高温・高圧のスチームを噴霧し、汚水をバキュームで回収する方法。汚れの除去に加えて、ダニの退治・カビの除去などの効果が得られるため、ホテル、病院、レストランなどで採用されている。残留洗剤や残存水分も少なく、比較的短時間で乾燥する。カーペット表面を擦ったりしないためパイルの毛羽立ちがおきにくい。

(5)ツーステップクリーニング

ツーステップクリーニングは、①除塵 ②シミ取り ③クリーニング ④すすぎ ⑤シミ取り ⑥乾燥 ⑦仕上げの工程で行う。まず、高速回転のブラシでパイルの中まで入り込んだホコリや土砂を取除いてから、シミ取りを行う。その後、ポリッシャータイプあるいはロータリータイプの洗浄機で、カーペット専用の洗剤を用いてクリーニングし、洗剤液やごみ、ホコリをすすぎによって取除く。すすぎは、カーペットを美しく保つために非常に重要な工程なので必ず行う事。すすぎが終われば再びシミ取りし、乾燥させる。カーペットの色落ちを抑えるため、エアコンや扇風機を使用して速やかに乾燥させる。水溶性や油溶性の粘着物を媒体として付着したホコリや土砂などは、バキューム作業だけでは除去できないので、この方法を年に1～2回実施する。これにより、ほとんどの汚れは除去できる。

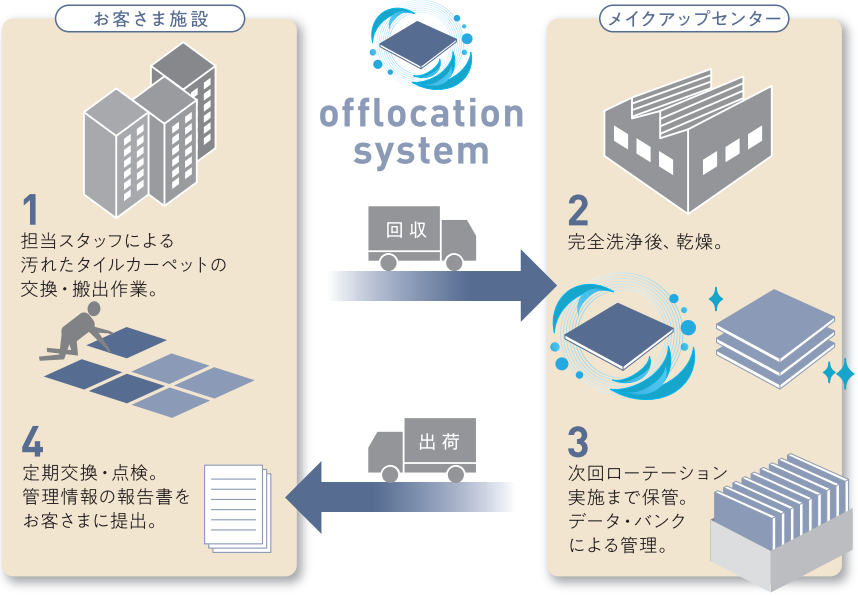
注意
●近年、ダニ対策用掃除機を使用される家庭が増えています。吸引力が強いのでパイルが抜けるのではないかとの問合わせがありますが、掃除機でパイルが抜ける事はありません。
●ウールやアクリルなど紡績糸使いのカーペットは、使い始めに多量の遊び毛が出ます。遊び毛が出なくなるまでこまめに掃除機をかけて下さい。

カーペットのメンテナンス

オフロケーション®システム

日々のメンテナンスでは落とせない、タイルカーペットのしつこい汚れ。汚れを定期的にクリーニングする
東リ オフロケーション®システムは、通常メンテナンスとの併用で施設の美観をよりいっそう長持ちさせます。

■サービスの流れ



ローテーションでタイルカーペットを効率よく取替え、フロア全体の美観を維持すると共に、長期使用を可能にする独自のシステムです。人が集う空間は、汚れる場所と変化しない場所がはっきりしているものです。このシステムでは、施工したタイルカーペットの配置をデータ管理し、汚染域、汚染予想域を意識したローテーションを実施。タイルカーペットをフロア全体で「まんべんなく」使いきる事で、美観維持と長寿命化を実現しました。

東リは1985年よりこのシステムを確立しており、2008年度のグッドデザイン賞を受賞しました。

GOOD DESIGN

※オフロケーション®は東リ（株）の登録商標です。

リフレッシュサービス・メイクアップサービス

■リフレッシュサービス・メイクアップサービスのメリット

汚れたタイルカーペットがよみがえる

美しく清潔な仕上りをお約束

専用ラインの洗浄工場で洗浄するため、汚れのひどいタイルカーペットも綺麗によみがえります。

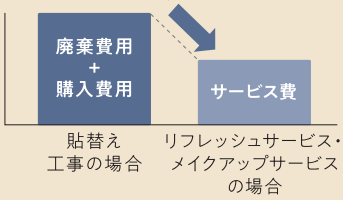
洗浄前後の比較

洗浄前　洗浄後

廃棄&購入の費用が省けるから 安心の低コスト

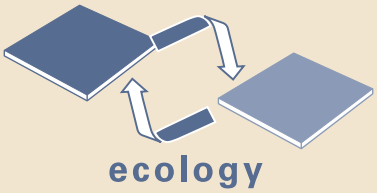
同じタイルカーペットを徹底洗浄し再利用するので、コスト削減が可能です。

コスト比較イメージ



廃棄物を減らしてエコに貢献 地球環境に優しく

捨てるタイルカーペットを限りなくゼロに近づける事で、産業廃棄物の低減に貢献します。



■洗浄メンテナンスの３つの提案

	オフロケーション® システム	リフレッシュサービス	メイクアップサービス
契約形態	年間契約	１回ごと	１回ごと（宅配での配送可）
交換作業	弊社スタッフが専属担当	弊社スタッフが担当	出入り業者様へご依頼ください
納期	年間計画 4~12 回程度の実施	剥がし～洗浄～貼戻し １週間~1ヶ月程度	枚数に応じて １週間~1ヶ月程度
備考	GOOD DESIGN 東リは1985年よりこのシステムを確立しており、2008年度のグッドデザイン賞を受賞しました。 ※オフロケーション®は東リ（株）の登録商標です。	※仮敷床材施工も可能です	※仮敷床材のご用意も承ります ※梱包材のご用意も承ります ※往復運送料はご負担となります

システム・サービスについて、詳しくはサイトをご参照ください。
https://www.toli.co.jp/product_carpet/offlocation/

ファブテックタイルのメンテナンス

メンテナンスは、ファブテックタイルを美しく保ち、より長く使用していただくために必要不可欠なものです。特に床は、汚れや磨耗・傷付き等を受けやすい場所であり、適切な清掃で汚れ防止と保護を行う事が必要です。このために行われるのがメンテナンスであり、日常管理、定期管理等によって美観が保たれます。
ピールアップ形接着剤は水やクリーナーの浸み込みにより接着強度の低下を招きます。ピールアップ工法の本製品には多量の水を使用する事はできません。また、下地がOAフロアの場合は、水の使用が可能かどうか事前にOAフロアメーカー等にご確認下さい。また、ワックスは使用しないで下さい。
土砂の持込みが予想される場所では、DC-1100、RC-1200やダスコンマットを出入口にご使用下さい。

日常管理

●ホウキや掃除機でホコリや塵の除去を行います。
※ブラシ付きのアップライト掃除機を使用される場合は、高速回転で使用されると表面を傷める場合もありますので低速回転での使用をおすすめします。

●表面の織り目に付着物が残っている場合はブラシ類を使用して、雑巾等で軽く拭いて下さい。

●固く絞ったモップでモップがけを行います。シミ等が気になる部分は雑巾などで集中的に拭いて下さい。
※きれいな温水をご使用下さい。
※温水のみでの清掃をおすすめします。洗剤を使用される場合は中性洗剤を使用し、充分に水洗いを行って下さい。
洗剤が残りますと汚れを呼び込みやすくなります。

●土砂の浸入防止効果を維持するため、DC-1100、RC-1200やダスコンマットに堆積した土砂をアップライト掃除機などで除去して下さい。目地部で芯材が出ている場合には、引っ張らずにはさみ等で除去して下さい。

定期メンテナンス（週～月単位）

定期的にエクストラクター※やポリッシャーで清掃をします。ピールアップ形接着剤は水やクリーナーの浸み込みにより接着強度の低下を招くため、スプレー等を使用して極力水の使用量を減らし、水の使用には充分ご注意下さい。
※エクストラクターを使用するクリーニング（エクストラクションクリーニング）は、533頁をご参照下さい。

●ホウキや掃除機でホコリや塵の除去を行います。
※ブラシ付きのアップライト掃除機を使用される場合は、高速回転で使用されると表面を傷める場合もありますので低速回転での使用をおすすめします。

●表面の織り目に付着物が残っている場合はブラシ類を使用して掻き出し、雑巾等で軽く拭いて下さい。

●エクストラクターやポリッシャーで清掃をします。水の使用には充分ご注意下さい。
※ポリッシャーを使用される際は、白、赤パッドまたは柔らかめのブラシ（カーペット用マイクロファイバーパッド等）をご使用下さい。
※温水のみでの清掃をおすすめします。
洗剤を使用される場合は中性洗剤を使用し、充分に水洗いを行って下さい。
洗剤が残りますと汚れを呼び込みやすくなります。
※汚水、残水は完全に取除いて下さい。
※濡れているときは、滑りやすいためご注意下さい。

その他注意事項

●ワックスは使用しないで下さい。
●ゴムとの直接の接触は変色の原因となる場合があるのでお避け下さい。
●表面材を構成している塩ビ糸には芯材が使用されています。目地部でその芯材が出ている場合には、引っ張らずにはさみ等で除去して下さい。

●フラットな表面形状の商品と比べると、表面に織物特有の凹凸がありますので、汚れが残りやすくなります。ご留意下さい。
●汚れが付着した際には、すぐに汚れが広がらないように注意して拭取って下さい。時間の経過とともに汚れが除去しにくくなります。
なお、汚染物質によっては除去不可能なものもあります。

高分子系床材のメンテナンス

高分子系床材を美しく保つには、カーペット同様、日常の清掃・管理と、汚れを予防する配慮が必要。
まずはマットの設置など汚れを持込まない事、次に汚れをすぐに拭取る管理体制、
そして汚れを溜めないメンテナンス体制が重要です。
ワックスによる予防効果は大きく、洗浄・剥離作業を含めた適切なローテーションシステムが求められます。
特に高分子系床材は、蓄積した砂やメンテナンスの水によって転倒事故を発生させる可能性があります。
単なる美観の問題だけではなく、快適な環境を作るためにも、これらは大切な要素となります。

NWシリーズ・NW-EXシリーズのメンテナンス

〈NWシリーズ〉

NWシリーズは定期的なワックスメンテナンスは必要ありませんが、日常の清掃は必要な床材です。
自動床面洗浄機やモップ、雑巾等による日常的な清掃だけで美観を維持できます。汚れや傷付きが目立つ場合には、
ワックスによる定期メンテナンスも可能です。（ワックスメンテナンスを行ってもNWシリーズの品質に問題はありません。）
その際のメンテナンス方法については、537頁の**「ワックスによる定期メンテナンス」**をご参照下さい。

■引渡し前クリーニングについてのお願い

1 **施工時に発生したホコリやチリをきれいに取除いて下さい。**
掃除機やモップ等を使用し、堆積したホコリやチリをしっかり取除いて下さい。清掃の際はモップをこまめに洗浄し、モップに付着した汚れをきちんと取除いて下さい。
モップが汚れていると、吸込んだ汚水が床面に塗り広がる事があります。最後に水を絞ったきれいなモップで拭上げて下さい。

2 **汚れが残る場合は洗浄剤を使用し、ポリッシャーまたは、自動床面洗浄機で洗浄して下さい。**
ホコリやチリの量が多い場合、モップでの水拭き清掃だけでは汚れが除去しきれない場合があります。汚れが除去できない場合は、洗浄剤を使用し、ポリッシャーや自動床面洗浄機で洗浄願います。洗浄時に発生した汚水は床面に残さず、水を絞ったきれいなモップで拭上げて下さい。

3 **清掃後は養生をお願いします。**

〈NW-EXシリーズ〉

※NW-EXシリーズはワックス液をはじいてしまうため、ワックス塗布には指定の前処理が必要になります。
詳細は各製品のユーザーズマニュアルをご参照下さい。

●日常清掃の際は、固く絞ったモップ、雑巾で汚れを取除いて下さい。　●取れにくい汚れには中性洗剤を使用して下さい。

詳しいメンテナンス方法は「東リ NWシリーズ／NW-EXシリーズメンテナンスマニュアル」をご参照下さい。
https://www.toli.co.jp/product_floor/nw/pdf/maintenance.pdf

初期メンテナンス

新しく高分子系床材が施工されたときは、床材表面に施工時の汚れ、初期汚れ防止のための製造時のワックス、可塑剤等が付着している事があります。最初のメンテナンスを行う前に必ず専用のクリーナーで洗浄し、これらを除去して下さい。
洗浄する事により、新しく塗布する樹脂ワックスの皮膜がタイルによく密着するようになります。

複層ビニル床タイルの初期メンテナンス

一般的に複層ビニル床タイルは、アクリル樹脂系ワックスの密着性が弱いため、施工後、養生期間をおいてから
青パッドと洗浄剤を用いてポリッシャー洗浄し、よくすすいだ後に樹脂ワックスを塗布して下さい。
なお、ニューFBワックス、Uワックス、ツヤノンワックス（抗菌）は密着性に優れていますので、よりご安心いただけます。

日常管理

■汚れの予防

屋外、トイレ、厨房に通じる出入口や、飲食物の自動販売機など、床材を汚す原因が付近にある場合には、汚れの持込みや広がりを防ぐ対策が必要です。最も効果的な方法は、マットの設置です。マットは、最低限4歩程度の大きさがなければ効果は期待できません。また、汚れたマットの放置は、マットが汚れの集積場になり、かえって周囲に汚れを持出す事になります。歩行量やメンテナンス回数に応じた大きさと、交換が大切です。

■日常の清掃

ほうきや掃除機で床面のホコリや砂を取除いてから、固く絞った雑巾やモップで水拭きして汚れを落とします。水拭き後、床面に水分が残ると、滑りによる転倒事故や、再汚染の可能性があるので注意が必要です。歩行量が多い場所では一日の清掃回数を増やすなど、状況に応じたメンテナンスシステムが必要です。

ワックスによる定期メンテナンス

ワックスは、床材表面に皮膜を張る事により、床材そのものが直接汚れたり傷付くのを防ぎます。日常清掃では汚れが取れなくなってきたら、専用のクリーナーで表面の汚れを落としてからワックスを再塗布します。塗り過ぎや、塗りムラは、床面がかえって汚く見えるので注意が必要です。ワックスを塗り重ねていくと、壁際や家具の周囲などでは、歩行によるワックスの摩耗がなく、かえって汚く見える事があります。その場合は、リムーバーで古いワックスを完全に除去してから、新しいワックスを再塗布します。この作業によって、古いワックスごと、汚れや摩耗、傷付きを取除く事ができます。ワックス、クリーナー、リムーバーの詳細は、508・509頁をご覧下さい。

抗菌性のある床材

通常の樹脂ワックスを、抗菌性を特長とした床材に使用すると、抗菌性が失われます。そのためにワックスにも抗菌性が求められます。低光沢タイプの「ツヤノンワックス（抗菌）」（508頁）を塗布して下さい。

低光沢をお求めの場合

低光沢仕上げをお求めの場合は、「ツヤノンワックス（抗菌）」（508頁）をご使用下さい。

帯電防止性をお求めの場合

通常の樹脂ワックスを帯電防止性能を特長とした床材に使用すると、帯電防止性能が低下します。そのためにワックスにも帯電防止性能が求められます。帯電防止性能が必要な場合は、シーバイエス（株）の帯電防止ワックス「エレックス」[お問合わせ先045-640-2280]を塗布して下さい。

防滑性床材のメンテナンス

多くの防滑性床材は、表面に凹凸を持たせる事によって防滑性を得ています。そのため、凹部にワックスが溜まり、凸部にワックスが塗布されないといった状況が発生する事があります。凹部に溜まったワックスは塗り重なりと同じ状況を招き、かえって汚く見える結果をもたらします。解決方法としては、ジャブジャブとワックスを塗る事を避け、丹念に薄く塗布する事です。また、再塗布する際、凹部の古いワックスを除去できず、これも塗り重なりと同様の結果をもたらす事があります。丹念にクリーナーやリムーバーをかけ、古いワックスが残らないようにします。また、塵埃が残った状態で再塗布すると汚れが密閉されます。特に凹部は塵埃が付着しやすく、再塗布前の点検を怠らないようにします。

メンテナンス時の注意事項

- 凹凸のある床材は、凹部にワックスが溜まらないように、均一に薄く塗りあげます。
- 素材の変質を防ぐため、ビニル系床材には製品専用の樹脂系ワックスを、ゴムタイルにはゴムタイル用ワックスを使用します。
- 水性ワックスは、滑りやすくなるので使用しないで下さい。
- 光沢のあるワックスほど、下地の状態など施工状態が床面表面に出やすい事に留意します。
- 半屋外で直射日光のよくあたる場所、水がよく溜まる場所、屋外での使用には、樹脂ワックスは塗布できません。
- クリーンルームなど塵埃を嫌う場所ではワックスは使用しないで下さい。歩行などによって剥離したワックスが塵埃となります。
- 帯電防止性能を有する床材は、帯電防止剤によりべたつきが生じる事があります。必ず定期的なメンテナンスを行って下さい。
- ワックスの塗布後、乾燥不充分な状態での歩行や什器の配置は避けて下さい。ワックスの皮膜が荒れたり、什器が床面に接着され、取れなくなる場合があります。
- 新設の床材にワックスを塗布する際は、必ずポリッシャーの洗浄を行った後にワックスを塗布して下さい。

ドライメンテナンス

初期に厚いワックス皮膜を形成し、日常管理は超高速ポリッシャーにより汚れの除去と磨き直し（高速回転によりワックス面を磨き直し、光沢を上げる）を行う事で作業範囲を通行止めにする必要がなく、常に光沢の高いきれいな床を保持できる特長があります。汚れや傷がある場合、ワックス層を薄く削取るので、平滑な下地で標準作業通りのメンテナンスが行われれば床材を選びませんが、エンボスの深い床材や柔らかい床材、目地棒を使用した場合には適しません。また下地に不陸がある場合、特に複層ビニル床タイルの場合は床材の表面を削る事があるのでご注意下さい。床材としては、3㎜厚のコンポジションタイル（スルーチップタイル）をおすすめします。

アルコール（溶剤）によるワックスの白化

ワックスにアルコールなどの溶剤をこぼすと白くなる事があります。リムーバーで白化したワックスを除去し、ワックスを再塗布すれば元に戻ります。病院など、特にアルコールを使用するところでは、耐アルコール性能のあるワックスや、ワックスメンテナンス不要の床材「NWシリーズ・NW-EXシリーズ」をおすすめします。
耐アルコール性能のあるワックスは、ユシロ化学工業（株）[お問合わせ先03-3750-6761]、コニシ（株）[お問合わせ先0120-28-1168]、シーバイエス（株）[お問合わせ先045-640-2280]で販売されています。

床暖房システムの構造と床材施工

床暖房下地へ床材を施工する事は、多くの問題点や注意点があり、最も困難な施工の一つです。
特に埋設型床暖房システムへの床材施工は、下地による要因が大きく、
施工方法等に最大の注意が必要となります。
床暖房使用による温度変化が引きおこす下地の伸縮や床材の伸縮が繰り返される事や、
下地の水分が一気に上昇する事、また、床暖房下地と非床暖房下地の温度差や下地表面に入るクラック、
そのクラックに対する補修方法等の問題点が挙げられます。
しかし、これらの問題点を解決する確実な方法はありません。
事前加熱や下地処理を行っても、多少の問題が発生する事をご理解下さい。
ここでは、当社が推奨する、トラブルを最小限に抑える為の施工方法について解説します。

床暖房システム構造図

■パネル型床暖房

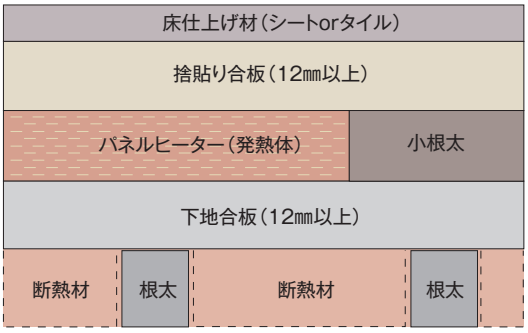
1 東リ製品を施工する際は、厚み12㎜以上の合板を捨貼りした下地が標準になります。

2 捨貼り合板を固定する受材（小根太）の間隔は300㎜程度とし、捨貼り合板（厚さ12㎜以上）を乱に継ぎ、小根太で突き付けとします。固定は38㎜以上のスクリュー釘を推奨します。釘の間隔は、継手部150㎜程度、中間部200㎜程度です。また、反応形接着剤の併用をお奨めします。

3 捨貼り合板に、段差や目地スキがあった場合は、サンダーで段差を削り適切なパテを使い、平滑な面に補修してから施工して下さい。
（詳細は施工技術書を参照して下さい。）

※パネルヒーター製造元の施工要領書がある場合は、それに従って下さい。

〈図1〉パネル型



■コンクリート埋設型床暖房

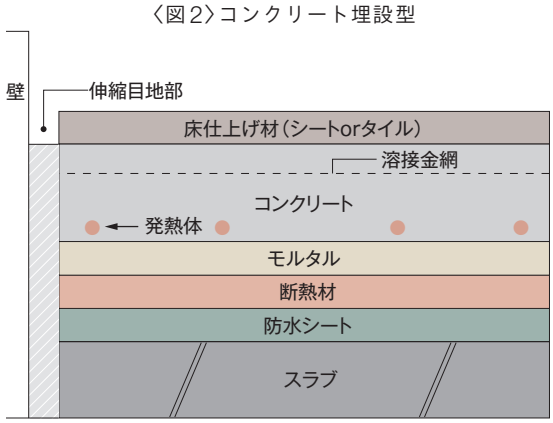
1 床材を施工する前に、HI-520-2型 D.MODEで440未満（＝グレードⅠ水分指標8%以下）を目安に、使用温度＋5～7℃程度で事前加熱を行い、クラックを充分に発生させて下さい。

2 クラックの目安として0.3㎜未満のクラックは補修せず、段差をサンディングした上で施工して下さい。

3 0.3～1㎜のクラックは、低粘度タイプのクラック補修材、1㎜以上のクラックについては中粘度タイプのクラック補修材で補修して下さい。補修の際は、クラック沿いに幅3㎜×深さ5㎜程度の溝切りを行い、クラック処理を施して下さい。この時のクラック処理は、加温状態で行って下さい。
（クラック補修材については、施工技術書を参照して下さい。）

4 伸縮目地や誘発目地、カッター目地部には床仕上げ材を施工しないで下さい。

〈図2〉コンクリート埋設型

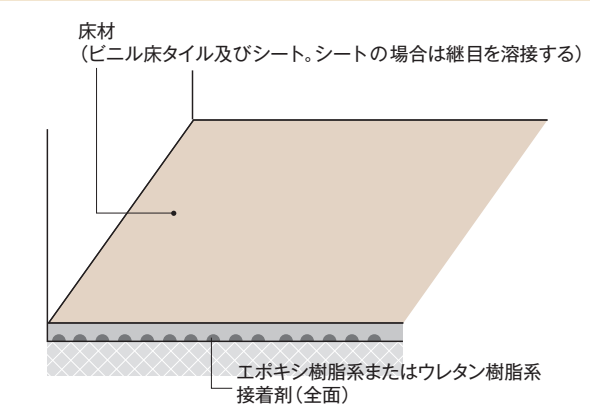


床材施工方法

床材を施工する場合は、総合的に判断し、以下の工法よりどの工法で施工するか決めなければなりません。
床材（ビニル床タイル及びシート）を施工する場合は全面強接着工法、タイルカーペットを施工する場合は全面ピールアップ工法を当社は推奨します。
ビニル床シート等で用いられる事のある額縁貼り工法は、全面強接着工法ができない時の次善の工法と考えています。床仕上げ材別施工方法と指定接着剤の詳細については、540・541頁をご覧下さい。

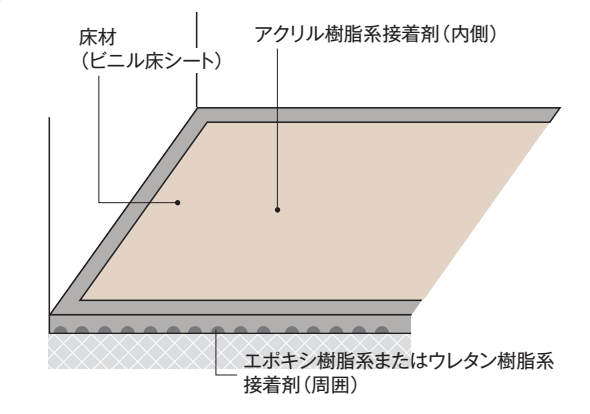
（1）全面強接着工法

エポキシ樹脂系接着剤またはウレタン樹脂系接着剤による全面強接着で仕上げる方法。
下地の伸縮による影響を受けやすく、みみず腫れや膨れ等のトラブルがおきやすいが、重歩行エリアやキャスターの動荷重がかかる場所に適しています。



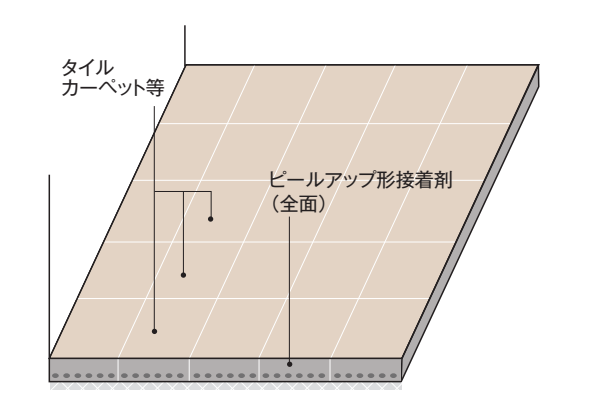
（2）額縁貼り工法

周囲をエポキシ樹脂系接着剤またはウレタン樹脂系接着剤による強接着で、内側をアクリル樹脂系接着剤による弱接着で仕上げる方法。
ビニル床シートを施工するにあたり、下地に発生したクラックが多い場合や補修困難な場合に採用します。しかし、耐久性に劣るため、ホール、廊下、通路等の重歩行エリア、キャスターによる動荷重が常時加わる場所、複数枚のビニル床シートを継ぎ合わせるような広い面積の場所での工法には適しません。



（3）ピールアップ工法

ピールアップ形接着剤を使用した全面接着工法。タイルカーペット等の限られた製品に適します。



床暖房システムの構造と床材施工

床仕上げ材別施工方法と注意点

ビニル床タイル・ビニル床シート

■パネル型床暖房の注意点

1 捨貼り合板のジョイント部に段差がある場合は、サンダーで削り段差をなくして下さい。また、ジョイントに隙間がある場合は、適切なパテで補修して下さい。

2 タイル及びシートは早めに開梱し、できるだけ重ね枚数を減らして仮敷きを行い、現場の温度と馴染ませてから施工して下さい。

3 合板のジョイントとタイルおよびシートの目地が重なり合わないように施工して下さい。

4 下地が非吸水下地である為、充分なオープンタイム（待ち時間）を取り、貼付け後入念に圧着を行って下さい。

5 タイルを貼る時、目地の突付けは強くせず、必ず緩め（名刺１枚程度）に施工して下さい。また、シートの目地は適切な継目処理を行って下さい。

6 メンテナンスは、養生終了後、樹脂ワックスを塗布して下さい。

■コンクリート埋設型床暖房の注意点

1 充分な事前加熱ができており、下地水分がD.MODEで440未満（グレードⅠ水分指標8%以下）である事を確認して下さい。

2 クラック等補修した箇所に異常がないか点検し、下地が平滑である事を確認して下さい。

3 部分的に床暖房が施工されている場合。床暖房下地表面と床暖房の施工されていない下地表面の温度差が15℃以上ある場合は、その差が15℃以下になるように環境設定してから、床材の施工を開始して下さい。

4 タイル及びシートは早めに開梱し、できるだけ重ね枚数を減らして仮敷きを行い、現場の温度と馴染ませてから施工して下さい。

5 タイルを貼る時、目地の突付けは強くせず、必ず緩め（名刺１枚程度）に施工して下さい。また、シートの目地は適切な継目処理を行って下さい。

6 メンテナンスは、養生終了後、樹脂ワックスを塗布して下さい。

施工温度条件	冬季施工	床表面温度20℃以下の場合には、床暖房を入れ、 床表面温度20℃程度に加温してから床材を施工する。
	夏季施工	床暖房を切った状態で施工する。
接着剤および工法		接着剤：エポグレーS、USセメント＊1、US300S、US300T＊2 工　法：全面接着工法
養生条件		施工後２日間は、施工時の温度を保った状態で養生する。

＊1 ヒトエ グランザ、ヒトエ ファインを床暖房上に施工する場合はエポグレーSSまたはUSセメントをご使用下さい。
バスナリアルデザイン、バスナフローレ、バスナアルティ、ラバナを床暖房上に施工する場合はバスナセメントEPOをご使用下さい。
＊2 US300S、US300Tを使用する場合は対応床材にご注意下さい。

タイルカーペット・東リファブリックフロア・LAYフローリング・LAYフローリング ピタフィー

■パネル型床暖房の注意点

1 捨貼り合板のジョイント部に段差がある場合は、サンダーで削り段差をなくして下さい。また、ジョイントに隙間がある場合は、適切なパテで補修して下さい。

2 製品は早めに開梱し、できるだけ重ね枚数を減らして仮敷きを行い、現場の温度と馴染ませてから施工して下さい。

3 合板のジョイントとタイルの目地が重なり合わないように施工して下さい。

4 下地が非吸水下地や捨貼り合板（非吸水下地）である為、充分なオープンタイム（待ち時間）を取り、エコGAセメントまたはエコGAセメントEXが半透明になってから貼付けを行い、その後入念に圧着を行って下さい。

5 製品を貼る時、目地の突付けは強くせず、必ず緩め（名刺１枚程度）に施工して下さい。

6 タイルカーペット用アンダーレイシート（163頁）、およびFF用アンダーレイシート（185頁）を使用する際は、床面とアンダーレイシートの接着はエポグレーS、USセメントまたはUS300Sによる全面接着工法にて施工して下さい。（LAYフローリング、LAYフローリング ピタフィーは使用できません。）

7 アンダーレイシートを使用しますと、暖房効率が低下します。

■コンクリート埋設型床暖房の注意点

1 充分な事前加熱ができており、下地水分がD.MODEで440未満（グレードⅠ水分指標8%以下）である事を確認して下さい。

2 クラック等補修した箇所に異常がないか点検し、下地が平滑である事を確認して下さい。

3 部分的に床暖房が施工されており、床暖房下地表面と床暖房の施工されていない下地表面の温度差が15℃以上ある場合は、その差が15℃以下になるように環境設定してから、床材の施工を開始して下さい。

4 製品は早めに開梱し、できるだけ重ね枚数を減らして仮敷きを行い、現場の温度と馴染ませてから施工して下さい。

5 製品を貼る時、目地の突付けは強くせず、必ず緩め（名刺１枚程度）に施工して下さい。

6 タイルカーペット用アンダーレイシート（163頁）、およびFF用アンダーレイシート（185頁）を使用する際は、床面とアンダーレイシートの接着はエポグレーS、USセメントまたはUS300Sによる全面接着工法にて施工して下さい。（LAYフローリング、LAYフローリング ピタフィーは使用できません。）

7 アンダーレイシートを使用しますと、暖房効率が低下します。

施工温度条件	冬季施工	床表面温度20℃以下の場合には、床暖房を入れ、 床表面温度20℃程度に加温してから床材を施工する。
	夏季施工	床暖房を切った状態で施工する。
接着剤および工法		接着剤：エコGAセメント、エコGAセメントEX＊ 工　法：全面接着工法
養生条件		粘着を利用したピールアップ工法であるため、施工後の養生は不要。

＊ LAYフローリングを床暖房上に施工する場合は、LAYセメントをご使用下さい。

ロールカーペット

■パネル型床暖房の注意点

1 全面接着工法の場合、捨貼り合板のジョイント部に段差がある場合は、サンダーで削り段差をなくして下さい。また、ジョイントに隙間がある場合は、適切なパテで補修して下さい。

2 カーペットは早めに開梱し仮敷きを行い、現場の温度と馴染ませてから施工して下さい。

3 全面接着工法の場合、合板のジョイントとカーペットの目地が重なり合わないように施工して下さい。

4 全面接着工法の場合、下地が非吸水下地である為、充分なオープンタイム（待ち時間）を取り、貼付け後入念に圧着を行って下さい。

5 グリッパー工法の場合、アンダーフェルトを使用しますと、暖房効率が低下します。

■コンクリート埋設型床暖房の注意点

1 全面接着工法の場合、充分な事前加熱ができており、下地水分がD.MODEで440未満（グレードⅠ 水分指標8%以下）である事を確認して下さい。

2 全面接着工法の場合、クラック等補修した箇所に異常がないか点検し、下地が平滑である事を確認して下さい。

3 全面接着工法の場合、部分的に床暖房が施工されている場合や床暖房下地表面と床暖房の施工されていない下地表面の温度差が15℃以上ある場合は、その差が15℃以下になるように環境設定してから、床材の施工を開始して下さい。

4 カーペットは早めに開梱し仮敷きを行い、現場の温度と馴染ませてから施工して下さい。

5 グリッパー工法の場合、アンダーフェルトを使用しますと、暖房効率が低下します。

施工温度条件	冬季施工	床表面温度20℃以下の場合には、床暖房を入れ、 床表面温度20℃程度に加温してから床材を施工する。
	夏季施工	床暖房を切った状態で施工する。
接着剤および工法		工法：全面接着工法（接着剤：エポグレー S、US セメント、US300S）／グリッパー工法
養生条件 全面接着工法		施工後２日間は、施工時の温度を保った状態で養生する。

東リ製品の床暖房システム対応表

東　リ　製　品		コンクリート埋設型 （条件：事前加熱・クラック処理）	パネルヒーティング型 （条件：合板（JAS 1類 12mm以上）捨貼）
コンポジション ビニル床タイル	マチコV、コーデラ、フェイソールプルス、ストレイン、モクリン、リフライプ、ピエスタ、グラノーブル、リノテスタ、ヴィアーレ、スレートスクエア、ダイナミックストーン、フリータイル	○	
複層ビニル床タイル	MSフレッシュ、MSプレーン、ロイヤルストーン、ロイヤルウッド、イークリンNW-EX、フリータイルS	○	
	タフテックタイル	×	
置敷き ビニル床タイル	LAYフローリング※2・LAYフローリング ピタフィー ※2※3	○	
	ルースレイ 40NW-EX、ルースレイ 50NW-EX、ルースレイマスター NW-EX	×	
ラバータイル	プラート、プラートF	○	
ビニル床シート	フロアリューム全品種、TMフロア、SFフロアNW、ホスピリュームNW、マチュアNW、ノンワックスリュームNW、ヒトエシリーズ、アリーナフィット、バスナアルティ、ラバナ、ビニル床シート＋東リアンダーレイシート※2	○	
クッションフロア	CFシート-SD、CFシート-P NW、ケアセーフNW ※2、バスナリアルデザイン、バスナフローレ	○	
	CFシート-H、アンパンマン クッションフロア	×	
防滑性シート	NSシート全品種、NSプレーンNW	○	
	NSシート＋NSアンダーレイシート	×	
機能性 ビニル床シート※1	アースリューム、ファクトリューム ケミ、オペリューム、ニュースタンロード、耐薬スーパーKシートエクセラNW、耐薬スーパーKシートNW、帯電防止フロアリューム	×	
タイルカーペット	GAシリーズ（GA-100N、GA-400N除く）、GXシリーズ、エクスクロームシリーズ、MTEシリーズ、ゆいそめ、ソフトパックプラス、プライムクラス、DC-1100、RC-1200、タイルカーペット用アンダーレイシート＋タイルカーペット（GA-100N、GA-400N除く）※2	○	
	GA-100N、GA-400N	×	
東リファブリックフロア	全品種 ※2※3、FF用アンダーレイシート＋ファブリックフロア※5	○	
ロールカーペット	全品種（ハノーク カーペットを除く）	○	
	ハノーク カーペット	×	
ニードルパンチカーペット	O.I.C.	○	
ファブテック	ファブテックタイル 耐湿クッションバッキング	×	
目地棒 ※4	東リ目地棒、東リプリント目地棒	○	

※1：機能性床材は機能が低下する可能性があります。　※2：床暖房上に敷設した場合は、床暖房の昇温に時間を要します。
※3：ビニル床タイルやクッションフロア仕上げの床暖房下地に敷設すると、吸着材によって下地床材が変色する可能性があります。表面仕上げ材の種類をご確認の上施工して下さい。
※4：ビニル床タイルとの併用を前提としています。目地棒施工部は特に接着剤を充分塗布し、ローラー掛けによる圧着を行って下さい。
※5：テキスタイルフロア7000 涼織は、FF用アンダーレイシートの上材として使用できません。

ご注意

■床暖房に関するご注意

上記対応製品仕上げ材の上に、クッション、カーペット、ソファや家具など放熱を妨げるものを長時間放置しないで下さい。設置された箇所が蓄熱し、変質・変色する原因となります。また低温やけどのおそれがあります。ご注意下さい。
フローリング等の既存床仕上げ材の上に、当社の対応製品をお使いいただいても、製品自体に問題はございませんが、既存床に影響（変色・ひび割れ等）を与える可能性があります。既存床仕上げ材メーカーの使用上の注意をご確認下さい。
フローリング等の既存床仕上げ材の上に、当社の対応製品を施工する場合は、床暖房の有無にかかわらず、施工が適さない場合や下地補修が必要になる場合があります。各製品の施工上のご注意（544頁～558頁）をご確認下さい。

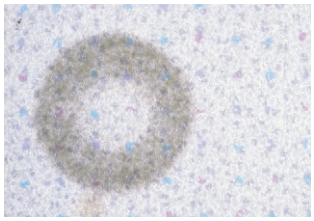
3 注意事項

東リ製品を長く気持ちよくお使いいただくために。

特に注意する事

床材には、その素材特有の性質があります。
その結果、他の素材とは異なる問題が発生する場合があります。
以下の事例を参考に、事故がおこらないよう、事前にご注意下さい。

1 ゴム汚染



ある種のゴムに接すると、ゴムに配合されている成分がビニル床材に移行して茶色や黄色に変色させます。原因はゴム素材の成分にあるといわれ、対策方法としては、ゴム汚染の有無をゴムを使用している什器メーカーなどに確かめてからご利用いただく事です。このゴム汚染は、短時間接しただけでも発生し、しかも原因となる什器類を除去後、数日経ってから発生する場合もあります。ベニヤ板等で遮断し、床材とゴムが直接接しないようにする事で防ぐ事ができます。

2 ブラックヒールマーク

ゴム底靴で歩行した際に、靴底が摩擦熱で溶け、消し炭をこすりつけたような跡が残ります。これをブラックヒールマークといいます。お互いが溶着した状態なのでこすり取ったり洗剤などで除去する事が困難なケースもあります。NW製品をご使用、もしくは、事前にワックスを塗布してあれば、布拭きや水拭きで取除く事が可能です。

3 養生テープによる汚れ

これはカーペットにも見られる事故です。施工中や施工後、貼上がった床面を保護するために、養生シートで覆います。このシートをとめる養生テープによって床材表面が着色汚染される事があります。養生シートの上からも汚染されるので、こういった事故の原因となる養生テープは使用を避けて下さい。

■養生テープによる汚染の可能性を調べる方法

カーペット　→残材のパイル表面を水で濡らし、養生テープを貼り24時間後剥がして変色の有無を見る。

ビニル系床材 →残材にテープを貼り24時間放置後剥がし、さらに太陽光線にあてて、変色の有無を見る。

4 下地汚染

下地にワックス、グリス、油類、塗料、防蟻剤、防腐剤、アスファルト系接着剤（黒糊）、油性マーカー、オイルステン、塩ビ配管用接着剤、朱墨、カラー釘等があると、接着不良や床材を着色する可能性があります。施工の前に完全に除去した上で施工を開始して下さい。

5 キャスターの往来による床材の膨れ

キャスターの往来は、歩行とは異なった負荷を床材に与え膨れや破断が生じる事があります。重量と車輪の大きさ、形状、硬さによって影響は異なりますが、接地面積が小さく硬いキャスターが往来する場所では注意が必要です。特に最近では、双輪キャスターのベッドや事務椅子による床材の膨れの報告が増加しています。このような場所では、床材を乾燥した強い下地に強い接着剤で施工して下さい。

6 荷重によるへこみ

ゴムが摩滅したピンヒールによる歩行や重量物など、局部的に過度の荷重がかかると、高分子系床材にへこみが生じる事があります。へこみ跡は回復せず残るため、そこに汚れが溜まって見苦しくなったり、破損の原因となる事があります。床材を選定する際は使用される環境を充分考慮し、凹凸のあるものなどへこみ跡が目立ちにくい床材をお選び下さい。

7 タイルカーペットの臭気

コンクリート系下地の場合、そこにアルカリ性の過剰な水分（高周波水分計HI-520-2型D.MODE測定値で440以上［グレードⅡa、グレードⅡb 水分指標8%超］が目安）があると、塩ビ樹脂中に含まれる可塑剤が分解して、異臭（アルコール系）が発生した事例があります。施工前に、必ずコンクリート・モルタル水分計「HI-520-2（515頁）」で水分指標を確認し、水分指標が高い場合は、充分乾燥させて下さい。

8 アルコール白化

メンテナンス用ワックスの上にアルコールが滴下すると表面が白くなる場合があります。アルコールが直接床面に滴下しないように注意して下さい。アルコールによってワックス皮膜が白化しているので、白化したワックス皮膜を剥離する事で解消します。また、白化を抑制する耐アルコール性ワックスをご使用下さい。

双輪キャスター型スイング式電動ベッドのご使用に際しての注意事項

近年、スイング式電動ベッドの不適切な使用により、床材に不具合を生じる事例がおきています。トラブルを最小限に抑える為、適切な施工方法をご選択いただくとともに、以下の現象に関する配慮をお願いいたします。

不具合の現象と原因

① 電動ベッドを移動させる際に双輪キャスターのロックを外さず無理に動かすと、
床面に大きな負荷がかかり、床材を破損したり、膨れが生じたりするおそれがあります。

② 電動ベッドはシャフトにより昇降する際、前後にスイングする為、ベッドが壁に接触していると
ベッドが壁を押す事となり、その反動でベッドは押し出される状態となります。
この時、双輪キャスターがロックされているとキャスターに強い力が加わり、
床面を無回転で横移動する状態となって、床材に膨れや破損等の不具合が発生してしまいます。
特にシート系床材は、その特長から適度な軟らかさがあり、不具合がおこりやすい事がわかっています。

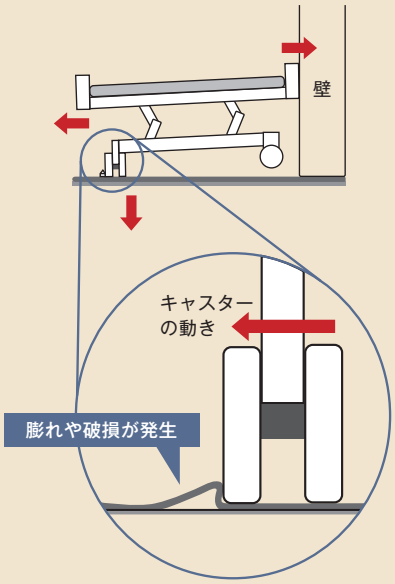
ヘッドボードを壁に接してベッドを設置している。

↓

そのまま上昇、下降させると、ベッドが壁を押し、
その反動でベッドは押し出される状態となる。

↓

双輪キャスターがロックされていると
ロックされた無回転のキャスターにより、床材に大きな負荷がかかり、膨れや破損が発生してしまう。



対策

●電動ベッドを移動する際は必ずキャスターのロックを外す、壁から適切な距離を置いて設置する等、
ベッドの取扱い上の注意を遵守して下さい。
●シート系床材を施工する場合は、下地水分指標にかかわらずエポキシ樹脂系接着剤、
ウレタン樹脂系接着剤をお使い下さい。
※ただし、これらの対策も床材の膨れ、破損を確実に防止できるものではなく、
あくまで問題の発生を軽減する方法の一つとしてご認識下さい。

ファブテックシリーズ 注意事項

選択上のご注意

- 淡色の場合、汚れが目立ちやすくなります。選定時には色についても充分ご配慮下さい。
- 下地から絶えず湿気の上昇が予想される場所では使用を避けて下さい。接着不良や臭気が発生する事があります。

> ! コンクリート系下地の場合、そこにアルカリ性の過剰な水分（「高周波水分計HI-520-2型D. MODEで440以上＝水分指標8%～」以上が目安）があると、塩ビ樹脂中に含まれる可塑剤が分解して、異臭（アルコール系）が発生した事例があります。施工前に、必ず高周波水分計「HI-520-2型」で水分指標を確認し、水分指標が高い場合は、充分乾燥させて下さい。

- 建築基準法・消防法によって使用方法ならびに使用場所に制限があります。各法令法規をご確認下さい。防災上、壁面の仕上げ材として、内装制限が設けられていますが、居室等において床面上1.2m以下は内装制限から除外されます。また居室・通路・階段等においてはスプリンクラー等自動式のもの及び施工令126条の3の規定に適合する排煙設備を設けた部分において内装制限から除外されます。
- 本カタログの掲載写真の一部に合成写真を含みます。
- 本カタログ掲載の写真や画像は、現物と若干違いのある場合があります。ご採用の際には必ずサンプル帳などでご確認下さい。

施工上のご注意

- 施工の前に「東リ施工マニュアル」をご一読下さい。

ファブテックタイルのご注意

- 製品の指定の接着剤を使用して下さい。
- 二重床に施工する場合、またぎ貼りを基本とし、二重床パネルの目地がファブテックタイルのほぼ中央にくるように割付けて下さい。詳細は「東リ施工マニュアル」にてご確認下さい。
- 施工後、台車の往来や家具の移動によって過度の応力がかかると、タイルが剥がれる事があります。重量物を往来させる際には合板などで保護して下さい。
- ファブテックタイルよりも全厚の薄い製品を貼り合わせる際は、必ず段差調整材などを使用して下さい。
- 段ボール箱からの取り出し時に製品が滑り出る事があるため充分注意して下さい。
- 製品の特性上、端部が硬くなっているため、軍手を着用するなど取扱いには充分注意して下さい。
- 床暖房上でのご使用はお避け下さい。
- タイルカーペット用アンダーレイシートへの重ね貼りはお避け下さい。
- 水を直接持込む可能性のある部位では、耐湿工法用の接着剤を使用して下さい。

メンテナンスならびに使用上のご注意

■ メンテナンスのご注意

- 汚れが付着した際には、すぐに汚れが広がらないように注意して拭取って下さい。時間の経過と共に除去しにくくなります。なお、汚染物質によっては除去不可能なものもあります。

> ! 日常メンテナンスは、美観の維持およびホコリ防止のため、電気掃除機あるいは固く絞ったモップ、タオル等で汚れを取除いて下さい。業務用スペースでは、日常メンテナンスと併せて用途に応じた定期的な集中メンテナンスをおすすめします。

ファブテックタイルのご注意

- 表面の織目に付着物が残っている場合はブラシ類を使用して掻き出し、雑巾等で軽く拭いて下さい。
- ワックスは使用しないで下さい。

＊詳しくは「ファブテック」サンプル帳もしくは東リ営業所へご連絡下さい。

■ 使用上のご注意

- 下地に段差・隙間・凹凸がある場合は、その程度によってタイルの表面に目立って現れる事があります。また、目地部に段差のある場合、目地部の芯材が出たり、ホツレ、傷の原因になりますので、平滑な下地に施工して下さい。
- 化学薬品や強い作用を持つ洗剤・漂白剤等により、変退色や変質を招く可能性があります。こぼさないようにして下さい。
- ある種の家具の脚ゴムやゴムマットなどのゴム製品、塗料、防腐剤、防虫剤などによって汚染され変退色を招く可能性があります。これらに直接触れないようにして下さい。
- 長時間直射日光が当たる場所では、変退色を招く可能性があります。カーテンやブラインドなどによる日よけ、換気を心がけて下さい。
- ファブテックタイルの上にホットカーペットを直に敷かないで下さい。ホットカーペットは裏面でも温度が上昇するため、長時間同じ場所に敷いていると、ビニル床材の変質・変色の原因になります。電気機器メーカーの使用上の注意をご確認いただき、ホットカーペットの熱がビニル床材へ直接伝わる事がないようにご注意下さい。
- 部分的にシミとなった汚れを除去する際は、汚れの原因に応じたシミとり剤や中性洗剤などを使用して下さい。選択を誤るとかえって変色などを招く可能性があります。
- 素材固有の臭いがあります。換気を心がけて下さい。

ファブテックタイルのご注意

- 重量物や車輪によるしごき、ハイヒールや家具などの局部荷重により、タイルの表面にキズや膨れ・へこみ跡が生じる可能性があります。
- タイルの目地部が水などで濡れた場合は充分に水分を拭取って下さい。特に木質系下地の場合は、水分の影響により下地を傷める原因になる事があります。

> ! 水濡れや砂が飛散した状態では滑りやすくなり転倒事故を招く可能性があります。土砂の持込みなどが予想される場所では、DC-1100・RC-1200やダスコンマットを出入口に設置し、室内に土砂が持ち込まれないようにして下さい。持ち込まれた際には即座に除去するようにして下さい。磨耗・傷付きを防ぎ、美観を保持するだけでなく、寿命を延ばす効果があります。

ファブテック腰壁のご注意

- 重量物が腰壁に過度の衝撃でぶつかると下地を保護するまでの機能はありませんので、ご注意下さい。

タイルカーペット 注意事項

選択上のご注意

- 歩行マークは製品の耐久性を示す目安です。歩行マークの耐久性以上の用途での使用は避けて下さい。詳細は本カタログ517頁をご参照下さい。
- 繊維製品ですので、実際の厚みは表記と多少異なる事があります。ご了承下さい。
- 防汚マークは、製品の防汚性を示す目安です。用途に応じた防汚性のタイルカーペットを選択して下さい。日常メンテナンスが美観の保持には最も効果的です。維持管理にご留意下さい。
- 乾燥した室内など静電気の発生しやすい場所では、制電性の良いタイルカーペット（人体帯電圧の数値の低いもの）をご採用下さい。

> 電算室・コンピュータルームなど、特に高い制電性を求められる部屋では、超制電タイプのタイルカーペットをご採用下さい。
>
> ! 病院など抗菌性能を求められる場所では、その性能をご理解していただいた上で、抗菌性能を付加したSEKマークのタイルカーペットをご選択下さい。人体への影響が少ない抗菌剤を使用しておりますが、乳幼児が誤って経口する可能性のある場所では使用を避けて下さい。

- 淡色のカーペットの場合、汚れが目立ちやすくなります。カーペットの選定時には色についても充分ご配慮下さい。
- カットパイルは、パイルの方向が部分的に乱れ、雲状の色ムラの様に見える事があります。この現象は、カットパイルの性質であり、品質上の欠陥ではありません。
- ポリプロピレンのカーペット選定に際しては、ご使用の場所とポリプロピレン素材品の特性に充分ご配慮下さい。詳細は本カタログ520頁、521頁をご参照下さい。

> ! ウールなど紡績糸使いのカーペットは遊び毛が出ます。遊び毛、毛玉の出ないカーペットを望まれる場合は、BCFナイロンなどフィラメント糸を使用したカーペットを選択して下さい。

- ロットの違いによる色差の生じる場合があります。あらかじめご了承下さい。
- ストライプ柄は、ストライプの位置が一枚一枚異なりますので、柄はつながりません。仕上りは空間写真でご確認下さい。
- リサイクル材を使用している製品は、裏面の色や裏面の仕上り状態にバラツキが生じる事があります。リサイクル材を使用する事による品質への影響はありません。
- 下地から絶えず湿気の上昇が予想される場所では使用を避けて下さい。接着不良や臭気が発生する事があります。

> ! コンクリート系下地の場合、そこにアルカリ性の過剰な水分（「高周波水分計HI-520-2型D.MODEで440以上=水分指標8%～」以上が目安）があると、塩ビ樹脂中に含まれる可塑剤が分解して、異臭（アルコール系）が発生した事例があります。施工前に、必ずコンクリート・モルタル水分計「HI-520-2型」で水分指標を確認し、水分指標が高い場合は、充分乾燥させて下さい。

- 建築基準法・消防法によって、使用方法ならびに使用場所に制限があります。各法令法規をご確認下さい。
- 本カタログの掲載写真の一部に合成写真を含みます。
- 本カタログ掲載の写真や画像は、現物と若干違いのある場合があります。ご採用の際には必ずサンプル帳などでご確認下さい。
- 掲載されている施工写真は一例です。掲載写真と製品の色柄は実際とは異なり、実際の施工はこのとおりに仕上りませんのでご了承下さい。

施工上のご注意

■ 施工前

- 施工の前に「東リ施工マニュアル」をご一読下さい。
- 梱包ケースに記載されている品名・色番・ロット・数量を確認の上、施工を開始して下さい。同一床面上は、同ロットで仕上げて下さい。
- 製品は不規則に梱包されていますので、柄はつながりません。
- 二重床への施工は、またぎ貼りを基本とし、二重床パネルの目地がタイルカーペットのほぼ中央にくるように割付けて下さい。詳細は「東リ施工マニュアル」にてご確認下さい。
- タイルカーペットは全面接着工法が原則です。フローリング等の下地に接着剤を用いずに施工した場合、下地が汚染されたり変質するおそれがありますので、下地の養生目的等に使用しないで下さい。
- タイルカーペットは、室温になじませてから施工を開始し、施工中は急激な環境変化のないようにして下さい。室温とタイルカーペットに温度差があると、施工直後だけでなく、後日、目地スキ、突上げなどをおこす可能性があります。
- エコマーク認定製品及びグリーン購入法適合マークのついたタイルカーペットは、室温5℃以下での施工は避けて下さい。
- 下地は湿気のない平滑かつ堅牢なものとし、適切な施工環境を維持して下さい。施工条件を順守しなかった場合、目地スキや突上げ、膨れ、臭気などを招く場合があります。
- 下地にワックス、グリス、油類、塗料などの汚れが残っていると、接着不良を発生させる可能性があります。完全に除去した後、施工を開始して下さい。
- 開口部が大きいOA下地への施工は、タイルカーペットの破損等のおそれがありますのでご注意下さい。

■ 施工中

- 製品の指定接着剤を使用して下さい。
- タイルカーペットの裏面に印刷されている矢印の向きを確認し、施工して下さい。逆目に施工すると色相が異なって見える可能性があります。
- 製品ごとに設定している標準の貼り方（市松貼り標準、流し貼り標準、ランダム貼り標準）で施工して下さい。標準の貼り方以外で施工した場合、貼上りの色ムラや目地が目立つおそれがあります。但し、階段へ施工する場合は、階段部は流し貼り、踊り場は指定がない限り市松貼りを標準とします。
- タイルカーペットの模様貼り（デザイン貼り）の際は、端部に細かな端物などが入らないよう、割付け時に配慮して下さい。
- 東リエコGAセメントおよびエコGAセメントEXは平バケ又はスポンジローラー等で塗布して下さい。吸水性のある下地（コンクリート系下地）で60～100g/㎡、吸水性のない下地はスポンジローラーで40～60g/㎡を、塗布量の目安とします。
- 東リエコGAセメントおよびエコGAセメントEXは、ピールアップ性を確保するために、塗布後、半透明になってから貼付けを開始して下さい。半透明になった後、つめすぎないように施工して下さい。
- 目地にパイルを挟まないように注意して下さい。目地スキや目地段差の原因となります。
- タイルカーペットは冬場はパイル糸が固くなり膨みが不足して、目地が隙いて見える事があります。徐々に緩和されますので通常通り施工して下さい。
- カットパイル品をカットする際は、裏面からカットして下さい。

> ! 施工中は、他業種による汚損・事故の発生を防ぐために、床工事関係者以外の立ち入りを禁止して下さい。

次ページへ続く

タイルカーペット 注意事項

施工上のご注意

■ 施工後

- 施工後、一枚一枚の色差や目地が目立つ場合、及び色柄や仕上りに違和感がある場合は、部分的に差替えて下さい。差替える事で自然な感じが得られます。
- 養生シートで養生する場合に用いる感圧粘着テープの種類によっては、養生シートの上からパイルを変色させるものがあります。できるだけ感圧粘着テープの使用は避けて下さい。やむを得ず使用する場合は、事前に変色の有無を確認してからご使用下さい。変色の有無の確認については「東リ施工マニュアル」をご参照下さい。
- 施工後、台車の往来や家具の移動によって過度の応力がかかると、タイルカーペットが剥がれる事があります。重荷重のものを往来させる際には、合板などで保護して下さい。
- 引き渡し掃除の際、清掃作業者に漂白剤やサビとり剤をこぼさないように指導して下さい。パイルの変色を招きます。

> ! 施工後、残材等を廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。梱包ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。タイルカーペットを燃やすと有害ガスが発生します。

メンテナンスならびに使用上のご注意

■ メンテナンスのご注意

- 汚れが付着した際には、すぐに汚れが広がらないように注意して拭取って下さい。時間の経過と共に除去しにくくなります。なお、汚染物質によっては除去不可能なものもあります。
- 部分的にシミとなった汚れを除去する際は、汚れの原因に応じたシミとり剤や中性洗剤などを使用して下さい。選択を誤ると、かえって変色などを招く可能性があります。

> ! 美観の維持及びホコリ防止のため、歩行量に応じて電気掃除機あるいは真空掃除機による日常メンテナンスを行って下さい。業務用スペースでは、日常メンテナンスと併せて、用途に応じた定期的な集中メンテナンスをおすすめします。詳細は本カタログ533頁をご参照下さい。

- ブラシ付き真空掃除機を使用する際はパイルを損傷する可能性がありますのでご注意下さい。

■ 使用上のご注意

- タイルカーペットは熱によって変退色・溶融する可能性があります。たばこや火花の飛び散りなどは避けて下さい。
- 化学薬品や強い作用を持つ洗剤、漂白剤等により、変退色や変質を招く可能性があります。こぼさないようにして下さい。
- 殺虫剤など害虫駆除剤の中にはパイルを変色させる薬剤があります。事前に駆除業者にご確認下さい。
- 室内の湿度が低いと静電気が発生しやすくなります。加湿器などを使って湿度調整を心がけて下さい。
- 直射日光など、環境条件によって変退色の可能性があります。カーテン・ブラインドなどで日よけをして下さい。
- ある種の家具の脚ゴムやゴムマットなどのゴム製品、塗料、防腐剤、防虫剤などによって汚染され変退色を招く可能性があります。これらに直接触れないようにして下さい。
- 土砂の持込みなどが予想される場所では、泥よけマットなどを出入口に設置し、室内に土砂が持込まれない工夫をして下さい。
- パイルがホツレた場合、ホツレの伝線を防ぐためにも、すぐにハサミでカットして下さい。
- ハイヒールや家具などの局部荷重により、へこみ跡が残る可能性があります。特にスノコ状の二重床の場合は、充分にご注意下さい。
- コンクリート壁面を流れ落ちる結露水は、パイルを変色させたりカビを発生させる原因となります。換気をよくするなど、結露を発生させない工夫をして下さい。

> ! タイルカーペットの剥がれ、反り、膨れなどが生じた場合は、即座に補修して下さい。放置しておくと、全体に影響が及び、美観を損なうほか、転倒事故を招く可能性があります。

- 素材固有の臭いがあります。換気を心がけて下さい。

ファブリックフロア 注意事項

選択上のご注意

- 住宅用に開発された製品です。素足以外での歩行は避けて下さい。
- 防ダニ加工マークは、防ダニ加工処理の有無を示しています。しかし、カーペットなど内装材によって完全な防ダニ効果を得る事は不可能です。日常メンテナンス・換気などに充分配慮して下さい。
- 建築基準法・消防法によって、使用方法並びに使用場所に制限があります。各法令法規をご確認下さい。
- 床暖房下地上に敷設した場合は、床暖房の昇温に時間を要します。
- 繊維製品ですので、実際の厚みは表記と多少異なる事があります。ご了承下さい。
- ストライプ柄の製品は、ストライプの位置や柄が一枚一枚異なりますので、柄はつながりません。仕上りは空間写真でご確認下さい。
- 本カタログの掲載写真の一部に合成写真を含みます。
- 本カタログ掲載の写真や画像は、現物と若干違いのある場合があります。ご採用の際には必ずサンプル帳などでご確認下さい。

施工上のご注意

■ 施工前

- 施工の前に「東リファブリックフロア施工マニュアル&お手入れ読本」をご一読下さい。
- 開封後、製品の端部から繊維クズがこぼれる事がありますが、品質には問題ありません。施工前に繊維クズを落としてから施工して下さい。
- 取外した後、滑りやすくなる事があり危険ですので、ファブリックフロアの階段での使用は避けて下さい。
- 塩ビ系床材仕上げの床暖房下地に敷設すると、吸着材によって下地床材が変色する事があります。床暖房の場合は表面仕上げ床材の種類をご確認の上施工して下さい。
- 全面接着工法の場合、下地は湿気のない平滑かつ堅牢なものとし、適切な施工環境を維持して下さい。施工条件を遵守しなかった場合、ファブリックフロアの目地スキや突上げ、膨れなどが発生する可能性があります。

■ 施工中

- 部分敷きの際、端部の段差が気になる場合は別売りの「FF木目見切材」・「FFコーナージョイント」をご利用下さい。

■ 施工後

- 施工後に、台車の往来や家具の移動によって過酷な負荷がかかると、パイルを傷めたり剥がれたりする場合がありますので、合板などで養生するなど配慮して下さい。
- 一枚一枚の色柄に変化と濃淡があります。施工後色柄に違和感がある場合は、部分的に差替える事で自然な感じが得られます。
- 全面接着工法で施工した場合、取りはずす際に、裏面の吸着加工が下地に残る事があります。また、裏面の吸着加工の効力は低下します。木床（木質フローリング）や塩ビタイル等の床材の上に再施工できませんのでご注意下さい。

> ! 使用済みのファブリックフロアやパネルカーペット、施工残材等を破棄する場合は、条例や自治体の決まりに従って処分して下さい。ファブリックフロア、パネルカーペットを燃やすと有害ガスが発生します。

メンテナンスならびに使用上のご注意

■ メンテナンスのご注意

- 汚れが付着した際には、汚れが広がらないよう注意してすぐに拭取って下さい。時間の経過とともに除去しにくくなります。なお、汚染物質によっては除去不可能なものもあります。
- パイルや平織りの繊維がホツレた際には、伝線を防ぐためにもホツレた部分をすぐにハサミでカットして下さい。
- 美観の維持及びホコリ防止のため、歩行量に応じて電気掃除機あるいは真空掃除機による日常メンテナンスを行って下さい。
- 洗った後は、完全に乾燥させてから使用して下さい。水分が残ったままで使用あるいは収納すると、変形・変色・変質・パイルの損傷・カビなどを招きます。
- 乾燥・保管は、平坦な場所で行って下さい。変形の原因になります。

> ! 洗濯機による洗濯・脱水は行わないで下さい。洗剤を用いて手洗いする際には充分すすぎを行って下さい。乾燥機による乾燥は行わないで下さい。
>
> 製品固有の臭いが滞留しますので、お風呂場等で洗濯する場合は換気を心がけて下さい。

- ドライクリーニングはできません。水洗いの際は指定の洗剤を使用して下さい。洗剤を用いて手洗いする際には充分すすぎを行って下さい。

■ 使用上のご注意

- 家具などの局部荷重により、へこみ跡が残る可能性があります。
- シミとり剤・漂白剤・カビとり剤などは、パイルを変形させる可能性があります。
- 直射日光など、環境条件によって変退色の可能性があります。
- ある種の家具の脚ゴムやゴムマットなどのゴム製品、塗料、防腐剤、防虫剤などによって汚染され変退色を招く可能性があります。これらに直接触れないようにして下さい。
- 製品により裏面のソフトバックQの色が異なりますが、品質には問題ありません。
- ファブリックフロアを取外した後の下地（フローリング等）が滑りやすくなったり、裏面の吸着材（AKシール、AKテープ含む）が下地に付着する事があります。下地床材用の中性洗剤を染込ませた雑巾（マイクロファイバー製が有効）でよく拭き、その後、洗剤の拭取りをする事で軽減されます。
- 素材固有の臭いがあります。換気を心がけて下さい。

テキスタイルフロア7000 涼織（りょうおり）のご注意

- 下地に段差・隙間・凹凸のある場合、その程度によってテキスタイルフロアの表面にそれらが目立って現れたり、目地部分に段差が生じたりする場合があります。目地部に段差があると目地部分のホツレ、毛羽立ち、傷みの原因にもなりますので、平滑な下地に施工して下さい。
- 重量物を落下させたり、引きずった場合、表面が白くなる事がありますのでご注意下さい。
- 表面の柄に多少の曲がり等が見られる場合があります。これは素材感の表現に実際の織物を使用しているために生じていますのでご了承下さい。
- 一部で色ムラのように見える場合がありますが、これは織物の素材感を実現するためのものです。ご了承下さい。
- フラットな表面形状の製品と比べ、表面に繊維製品特有の凹凸がありますので、汚れが残りやすくなります。ご留意下さい。
- 水分に長時間触れたまま放置すると表面が白くなる事があります。この現象は品質には影響ありません。水分の原因を取除く事で、時間の経過とともに乾燥し白化は消え、元通りになります。
- 目地部や部分敷きの際の端部などで表面の繊維の一部にホツレが見られる場合は、早めにハサミ等でホツレた部分を必要最小限に切り取って下さい。無理にホツレ部分の繊維を引き抜いて取除こうとすると、ホツレがより大きく広がりますのでご注意下さい。

ロールカーペット 注意事項

選択上のご注意

- 歩行マークは製品の耐久性を示す目安です。歩行マークの耐久性以上の用途での使用は避けて下さい。詳細は本カタログ517頁をご参照下さい。
- 繊維製品ですので、実際の厚みは表記と多少異なる事があります。ご了承下さい。
- 防汚マークは、製品の防汚性を示す目安です。用途に応じた防汚性のカーペットを選択して下さい。日常メンテナンスが美観の保持には最も効果的です。維持管理にご留意下さい。

> ! 防ダニ加工マークは、防ダニ加工処理の有無を示しています。しかし、カーペットなど内装材によって完全な防ダニ効果を得る事は不可能です。日常メンテナンス・換気などに配慮して下さい。

- 淡色のカーペットの場合、汚れが目立ちやすくなります。カーペットの選定時には色についても充分ご配慮下さい。
- カットパイルは、パイルの方向が部分的に乱れ、雲状の色ムラのように見える事があります。この現象は、カットパイルの性質であり、品質上の欠陥ではありません。
- 織りカーペットの特性上、オーバーロック加工を施し、置敷きした場合、フレア（波打ち）が発生する事があります。ご了承下さい。
- ロールカーペットの特性上、オーバーロック加工を施し、置敷きした場合、伸縮する事があります。敷詰めをご検討の際には、壁際きっちりには納まらない事をご了承下さい。
- 無地のカーペット以外は、オーバーロック加工した場合に、特に横方向の辺と柄のラインが平行にならない事や辺の途中でラインが途切れたりする事があります。ご了承下さい。

> ! 高齢者対応施設・福祉施設・幼保施設などでは、転倒時のけがについての配慮が必要です。転倒時のけがの発生を考慮して、衝撃吸収性のよいカーペットを選択して下さい。なお、衝撃吸収性を得るには、フェルトグリッパー工法での施工が最も効果的です。
>
> ウールやアクリルなど紡績糸使いのカーペットは遊び毛が出ます。遊び毛、毛玉の出ないカーペットを望まれる場合は、BCFナイロンなどフィラメント糸を素材としたカーペットを選択して下さい。

- 建築基準法・消防法によって、使用方法ならびに使用場所に制限があります。各法令法規をご確認下さい。
- 本カタログの掲載写真の一部に合成写真を含みます。
- 本カタログ掲載の写真や画像は、現物と若干違いのある場合があります。ご採用の際には必ずサンプル帳などでご確認下さい。

施工上のご注意

■ 施工前

- 施工の前に「東リ施工マニュアル」をご一読下さい。
- 梱包紙に記載されている品名・色番・ロット・数量を確認の上、施工を開始して下さい。同一床面上は、同ロットで仕上げて下さい。
- 下地は湿気のない平滑かつ堅牢なものとし、適切な施工環境を維持して下さい。施工条件を順守しなかった場合、仕上りに悪い影響を与える可能性があります。
- 下地にワックス、グリス、油類、塗料などの汚れが残っていると、接着不良を発生させる可能性があります。完全に除去した上で施工を開始して下さい。
- 粉っぽい下地やグリッパーの釘がすぐに外れるような脆弱な下地は、下地補強剤で補強してから施工を開始して下さい。

■ 施工中

- 製品の指定接着剤を使用して下さい。
- 巻縮みや巻癖が残っている場合があります。仮敷きしてから施工を開始して下さい。
- 施工の際は、カーペット裏面に印刷されている矢印を確認し、方向を揃えて施工して下さい。逆目に施工すると、色相が異なって見える事があります。

> ! ロールカーペットを施工する際、ジョイント部はシーミングする前に端部のほつれ防止の為の目止め処理を行って下さい。

- 柄ものカーペットを幅継ぎや丈継ぎする場合、全長が正確に柄マッチする位置で継いで下さい。
- ボーダーを施工する際は、原則として中央でカットし、左右のボーダーとしてご使用下さい。周囲にボーダーを巻く場合は、2辺のボーダーはフィールド部分と貼り方向が異なる結果となります。必ずしも、ボーダーのコーナー部の柄は合いません。
- ウールカーペットは光（日光、照明）により、比較的短時間で黄味が抜ける事があります（ステンド現象）。同居室に同ロットで施工する際も、同時施工して下さい。

> ! 施工中は、他業種による汚損・事故の発生を防ぐために、床工事関係者以外の立ち入りを禁止して下さい。

- グリッパー工法で施工する際は、カーペットの厚さに応じたグリッパーを選択して下さい。ピンが短すぎるとカーペットが外れる可能性があります。また、施工面積に応じた延伸工具で約0.2～1.0%延伸して下さい。延伸が不充分の場合、施工後にたわみが発生するおそれがあります。

■ 施工後

> ! 施工後、出入口・框回り部分のグリッパーのピン先をつぶして下さい。けがの原因となります。

- 養生シートで養生する場合に用いる感圧粘着テープの種類によっては、養生シートの上からパイルを変色させるものがあります。できるだけ感圧粘着テープの使用は避けて下さい。やむを得ず使用する場合は、事前に確認してからご使用下さい。変色の有無の確認については「東リ施工マニュアル」をご参照下さい。
- 施工後、台車や家具の往来によって過度の応力がかかると、グリッパーからカーペットが外れたり、カーペットの剥がれ・たわみ、全面接着工法でのカーペットのずれなどが発生する場合があります。重荷重のものを往来させる際には、合板などで保護して下さい。
- 引き渡し掃除の際、清掃業者に漂白剤やサビとり剤をこぼさないように指導して下さい。パイルの変色を招きます。

> ! 施工後、残材等を廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。梱包材などを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。ロールカーペットを燃やすと有害ガスが発生します。

ロールカーペット 注意事項

メンテナンスならびに使用上のご注意

■ メンテナンスのご注意

- 汚れが付着した際には、すぐに汚れが拡がらないように注意して拭取って下さい。時間の経過と共に除去しにくくなります。なお、汚染物質によっては除去不可能なものもあります。
- 部分的にシミとなった汚れを除去する際は、汚れの原因に応じたシミとり剤や洗剤を使用して下さい。選択を誤ると、かえって変色などを招く可能性があります。洗剤などを残さないように注意して下さい。

> ! 美観の維持及びホコリ防止のため、歩行量に応じて電気掃除機あるいは真空掃除機による日常メンテナンスを行って下さい。特に、紡績糸使いのカーペットは、使用後しばらくの間遊び毛がでます。掃除機で吸い取って下さい。業務用スペースでは、日常メンテナンスと合わせて、用途に応じた定期的な集中メンテナンスをおすすめします。詳細は本カタログ533頁をご参照下さい。

- ブラシ付き真空掃除機およびロボット掃除機を使用する際はパイルを損傷する可能性がありますのでご注意下さい。なお、ロボット掃除機の使用に関しては各家電メーカーの使用上の注意をご確認下さい。
- カーペットを丸ごとクリーニングする事はできません。水洗いやドライクリーニングをすると、パイル抜けや裏張り材剥がれ、波打ち、寸法変化などの原因となります。

■ 使用上のご注意

- カーペットは熱によって変退色・溶融する可能性があります。たばこや、火花の飛び散りなどは避けて下さい。
- 化学薬品や強い作用を持つ洗剤、漂白剤などにより、変退色や変質を招く可能性があります。こぼさないようにして下さい。
- 殺虫剤など害虫駆除剤の中にはパイルを変色させる可能性のあるものがあります。事前に駆除業者にご確認下さい。
- 室内の湿度が低いと静電気が発生しやすくなります。加湿器などを使って湿度調整を心がけて下さい。
- 直射日光など、環境条件によって変退色の可能性があります。カーテン・ブラインドなどで日よけをして下さい。
- ある種の家具の脚ゴムやゴムマットなどのゴム製品、塗料、防腐剤、防虫剤などによって汚染され変退色を招く可能性があります。これらに直接触れないようにして下さい。
- 土砂の持込みなどが予想される場所では、泥よけマットなどを出入口に設置し、室内に土砂を持込まない工夫をして下さい。
- パイルがホツレた場合、ホツレの伝線を防ぐためにもすぐにハサミでカットして下さい。
- ハイヒールや家具などの局部荷重により、へこみ跡が残る可能性があります。
- コンクリート壁面を流れ落ちる結露水は、パイルを変色させたりカビを発生させる原因となります。換気をよくするなど、結露を発生させない工夫をして下さい。

> ! カーペットのたわみ、めくれ、ジョイントのホツレなどが生じた場合は、即座に補修して下さい。放置しておくと、全体に影響が及び、美観を損なうほか、転倒事故を招く可能性があります。特に階段部でのたわみなどは、つまずきによる転落事故につながりやすく、注意が必要です。

- 素材固有の臭いがあります。換気を心がけて下さい。

ハノーク カーペットのご注意

選択上のご注意

- 屋根のない部位でのご使用はお避け下さい。
- 下地から絶えず湿気の上昇が予想される場所では使用を避けて下さい。接着不良や臭気が発生する事があります。

> 施工前に必ず高周波水分計「HI-500、HI-520、HI-520-2型」で水分指標を確認し、水分指標が高い場合は、充分乾燥させて下さい。
>
> ! 水・砂・紫外線・重量物・汚染物質・化学薬品などの影響で、床材自体の変質・変退色や、施工後の膨れ・剥がれ・目地スキなどを招く場合があります。充分ご注意下さい。剥がれ、反り、膨れなどが生じた場合は、即座に補修して下さい。放置しておくと全体に影響が及び、美観を損なうほか、転倒事故の原因となります。

- 材料が硬いため、垂直面（立上げ）施工はできません。ご了承下さい。

メンテナンスならびに使用上のご注意

> ! 美観の維持及びホコリ防止のため、歩行量に応じて電気掃除機あるいは真空掃除機による日常メンテナンスを行って下さい。業務用スペースでは、日常メンテナンスと併せて、用途に応じた定期的な集中メンテナンスをおすすめします。

- ブラシ付き真空掃除機を使用する際はパイルを損傷する可能性がありますのでご注意下さい。
- ポリッシャーはカーペット用を使用して下さい。繊維パッドは硬いブラシの使用を避けてナイロンブラシを使用して下さい。
- 汚れが付着した際には、すぐに汚れが広がらないように注意して拭取って下さい。時間の経過とともに除去しにくくなります。なお、汚染物質によっては除去不可能なものもあります。
- 部分的にシミとなった汚れを除去する際は、汚れの原因に応じたシミとり剤や中性洗剤などを使用して下さい。選択を誤ると、かえって変色などを招く可能性があります。
- 接着剤が充分硬化するまでは、直射日光や冷暖房による急激な温度変化、水洗い、重量物やキャスター椅子などによるしごきなどは避けて下さい。突上げ・目地スキ・剥がれなどを発生させる可能性があります。
- 化学薬品や強い作用を持つ洗剤、漂白剤等により、変退色や変質を招く可能性があります。こぼさないようにして下さい。
- ある種の家具の脚ゴムやゴムマットなどのゴム製品、塗料、防腐剤防虫剤などによって汚染され変退色を招く可能性があります。
  これらに直接触れないようにして下さい。
- 長時間の直射日光による変退色、常時水分・湿気のある状態や、長期間使用しない室内での結露によるカビや異臭の発生、床材の剥がれ・反り・膨れ・突上げの可能性があります。日よけや排水、換気を心がけて下さい。
- ハイヒールや家具などの局部荷重により、へこみ跡が残る可能性があります。
- 素材固有の臭いがあります。換気を心がけて下さい。

床タイル（ビニル床タイル・ラバータイル）注意事項

選択上のご注意

> ! 防滑性マークは、製品の防滑性を示す目安です。履物や歩行状態、水濡れや砂の持込み、使用したワックスの種類など環境によって大きく左右されます。選択の際の一つの目安としてご利用下さい。詳細は本カタログ522頁をご参照下さい。
>
> 機能別インデックスを参考に、建物の用途・環境に応じた製品を選択して下さい。

- 暗所、アルカリ性雰囲気、高温多湿環境下において、床材の変色が発生する場合があります。これらの条件が揃わないように注意して下さい。そのような箇所へ床材を施工する際には、発生しても目立たない暗色系のご採用をおすすめします。
- NWシリーズ、NW-EXシリーズ及び防滑性床材は、製品の特性上、素足や靴下での歩行時に素材表面がひっかかる事があります。上靴、スリッパ履きで使用する事をおすすめします。
- 歩行マークは製品の耐久性を示す目安です。歩行マーク以上の使用は避けて下さい。詳細は本カタログ517頁をご参照下さい。
- 下地から絶えず湿気の上昇が予想される場所では使用を避けて下さい。接着不良や臭気が発生する事があります。
- 建築基準法・消防法によって、使用方法ならびに使用場所に制限があります。各法令法規をご確認下さい。
- 淡色系・無地調の床材ほど濃色系に比べて汚れが目立ちやすくなります。また、フラットな表面形状に比べてエンボスが深いほど汚れが残りやすくなります。ご留意下さい。
- リサイクル材を使用している製品は、裏面の色や裏面の仕上り状態にバラツキが生じる事があります。リサイクル材を使用する事による品質への影響はありません。
- コンポジションビニル床タイルは製品の特性上、タイルの角が若干丸みを帯びる事があります。
- 床タイルは熱に弱い性質を有しています。摩擦熱等により、床面に変色、変形が生じる事があります。
- 本カタログの掲載写真の一部に合成写真を含みます。
- 本カタログ掲載の写真や画像は、現物と若干違いのある場合があります。ご採用の際には必ずサンプル帳などでご確認下さい。

施工上のご注意

■ 施工前

- 施工の前に「東リ施工マニュアル」をご一読下さい。

> ! 施工中は、他業種による汚損・事故の発生を防ぐために、床工事関係者以外の立ち入りを禁止して下さい。
>
> 有機溶剤を含んだ接着剤を使用する場合は、火気に注意し、室内の換気に心掛け、有機溶剤作業主任者立ち会いのもとで行って下さい。有機溶剤は、引火しやすく、また多量に吸入すると人体に影響を及ぼす可能性があります。
>
> 下地は湿気のない平滑かつ堅牢なものとし、適切な施工環境を維持して下さい。施工条件を順守しなかった場合、目地スキや突上げ、剥がれなどを招く可能性があります。いずれも、美観を損ねるだけでなく、転倒事故などの原因になります。詳細は「東リ施工マニュアル」をご参照下さい。

- 下地に段差・隙間・凹凸のある場合、その程度によってタイルの表面に目立って現われる場合があります。
- 梱包ケースに記載されている品名・品番・ロット・数量を確認の上、施工を開始して下さい。同一床面上は、同ロットで仕上げて下さい。
- 既設床への重ね貼りは、膨れ、伸び、突上げなどを招く可能性があります。詳細は「東リ施工マニュアル」にてご確認下さい。
- 施工の際はタイル裏面の矢印か点線等で流れ方向をご確認下さい。方向が変わると色差のように見える事があります。
- 若干寸法にバラツキがあります。施工の際にはご注意下さい。

■ 施工中

- タイル一枚一枚の色柄に変化と濃淡があります。この不均一感が、仕上がったフロアにより一層の自然感をもたらします。同じ色調のタイルがかたよった場合は、部分的に差替える事で違和感なく納まります。
- 下地にワックス、グリス、油類、塗料などの汚れが残っていると、接着不良や汚染を発生させる可能性があります。完全に除去した上で施工を開始して下さい。
- 木質系下地に使用の際は、下地継ぎ目部の段差を充分に補修して下さい。タイル表面が平滑なタイルほど下地の段差が目立ちやすくなります。
- 床タイルは室温になじませてから施工して下さい。室温と床タイルに温度差があると、施工直後だけでなく、後日、目地スキ、突上げなどをおこす可能性があります。
- 接着の際は、製品の指定接着剤を使用し、5㎜ピッチのくし目ごてで均一に塗布して下さい。

■ 施工後

- 施工後はローラーで全面を圧着して下さい。圧着不良は、接着不良につながり、後日、床タイルの反り、突上げ、剥がれなどが生じる事があります。
- 施工直後に養生シートを使用した場合、床タイルとシートの間に結露水や水蒸気・溶剤蒸気などがこもり、床タイルの反り・突上げなどが生じる可能性があります。養生シートは、接着剤が充分硬化してから使用して下さい。
- 養生シートをとめる際、粘着テープは直接床材に貼付けないで下さい。床材を汚染する原因となります。
- 施工後、一週間は、直射日光や水洗い、冷暖房などによる急激な温度変化、重量物やキャスター椅子などによるしごきなどは避けて下さい。突上げ・目地スキ・剥がれ・へこみ跡などを発生させる可能性があります。特に冬季は接着剤の硬化が遅いので充分な養生期間をとって下さい。

> ! 施工後、残材等を廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。梱包ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。床タイル・ラバータイルを燃やすと有害ガスが発生します。

タフテックタイルのご注意

- カット作業に時間が掛かります。切込み作業には、一般の軟質ビニル床タイル施工の約2倍の時間が掛かります。ご注意下さい。
- 施工時は保護手袋を着用して下さい。素手で取扱うと端部で手を切るおそれがあります。カットしたタイルの端面も硬く鋭利になっています。
- 冬期は、ジェットヒーター等を使い室温を上げ、室温10℃以上の環境で施工して下さい。低温では、タイルが硬くなり、目違いや収まり不良などを発生させる事があります。
- 切込み筋に沿ってタイルを割る際は、保護メガネやマスク等を付けて下さい。破片が飛び散る事があります。
- タイル2辺の目地が特殊面取り加工されている為、タイルを貼る方向を揃える必要があります。タイル裏面の矢印を揃えて同方向に貼付けて下さい。

床タイル（ビニル床タイル・ラバータイル）注意事項

メンテナンスならびに使用上のご注意

■ メンテナンスのご注意

- メンテナンス用ワックスの上にアルコールが滴下すると表面が白くなる場合があります。アルコールが直接床面に滴下しないように注意して下さい。
- メンテナンスは、必ず指定のワックスまたは同等品により定期的に行って下さい。特に初期メンテナンスでは、タイルの表面をアルカリ洗浄剤で充分に洗浄し、よくすすいだ後ワックスを塗布して下さい。ワックスは床タイルの汚れを防ぎ、美観を保持します。詳細は本カタログ536頁をご参照下さい。
- 施工後、養生期間をおいてから洗浄剤でポリッシャー洗浄し、よくすすいだ後に樹脂ワックス（ニューFBワックス・Uワックス・ツヤノンワックス（抗菌））を塗布して下さい。特に初期メンテナンスでは、タイル表面を充分に洗浄した後ワックスを塗布して下さい。状況に応じて、固く絞ったモップでの水拭きによる1日の清掃回数を増やすなど、日常のメンテナンスにご留意下さい。
- 表面がフラットな製品はスリ傷が目立ちやすい特性があります。必ずメンテナンスワックスを塗布して下さい。

※「NWシリーズ」「NW-EXシリーズ」はメンテナンス方法が異なります。下記「NWシリーズ・NW-EXシリーズ」メンテナンス情報をご参照下さい。

NWシリーズ・NW-EXシリーズ メンテナンスのご注意

- メンテナンス用樹脂ワックスを塗布する必要はありません。日常的にモップ、固く絞った雑巾などでヒールマーク等の汚れを取除いて下さい。目地に沿った清掃をおすすめします。
- 取れにくい汚れには中性洗剤を使用して下さい。日常清掃の際は、固く絞ったモップ、雑巾で汚れを取除いて下さい。
- 面積の大きな施設では、洗浄力の優れた自動床面洗浄機を推奨いたします。
- 高耐久UV樹脂コーティングが摩滅してしまうため、ドライメンテナンスは行わないで下さい。

※「NW-EXシリーズ」はワックス液をはじいてしまうため、ワックス塗布には指定の前処理が必要になります。詳細は各製品のユーザーズマニュアルをご参照下さい。

- 「NWシリーズ」はワックスメンテナンスを行っても、品質に問題はありません。

※「NWシリーズ」にワックスメンテナンスを行う場合
施工後、養生期間をおいてから洗浄剤で洗浄し、よくすすいだ後に樹脂ワックス（ニューFBワックス・Uワックス・ツヤノンワックス（抗菌））を薄くムラなくモップで塗布して下さい。その際、床に直接ワックスを撒く方法は避けて下さい。補修等で部分貼替えの後、ワックスを塗布すると既設タイルとの間に光沢差が生じる場合があります。

■ 使用上のご注意

! 水濡れや砂が飛散した状態では、滑りやすくなり、転倒事故を招く可能性があります。土砂の持込みなどが予想される場所では、泥よけマットなどを出入口に設置し、室内に土砂が持込まれないようにして下さい。持込まれた際には即座に除去するようにして下さい。摩耗・傷付きを防ぎ、美観を保持するだけでなく、寿命を延ばす効果があります。

! 水・砂・紫外線・重量物・汚染物質・化学薬品などの影響で、床材自体の変質・変退色や、施工後の膨れ・剥がれ・目地スキなどを招く場合があります。充分ご注意下さい。剥がれ、反り、膨れなどが生じた場合は、即座に補修して下さい。放置しておくと全体に影響が及び、美観を損なうほか、転倒事故の原因となります。詳細は「東リ施工マニュアル」をご参照下さい。

- 熱によって変退色・溶融する可能性があります。たばこや、車輪の摩擦熱、火花の飛び散りなどは避けて下さい。
- 温風ヒーター吹出口にはマットを設置するなどして、温風が直接タイル表面に当たる事を避けて下さい。
- 化学薬品や強い作用を持つ洗剤、漂白剤などにより、変退色や変質を招く可能性があります。こぼさないようにして下さい。
- ある種の家具の脚ゴムやゴムマットなどのゴム製品、塗料、防腐剤、防虫剤などによって汚染され変退色を招く可能性があります。これらに直接触れないようにして下さい。
- 重量物や車輪によるしごき、ハイヒールや家具などの局部荷重により、床材の表面にキズや膨れ、へこみ跡が生じる可能性があります。
- 建物の出入口には、必ず除塵マットを設置して下さい。（砂、砂利等で表面に傷がついてしまった場合、汚れが傷に入り込んでしまい、汚れ落ちが悪くなります。土砂の持込みの可能性がある路面に面した部位で使用される場合は、除塵性の高いマットをできるだけ広い面積で設置して下さい。）
- 長時間水に濡れた状態にしておくと、吸水して白化するおそれがあります。乾いたモップ等で拭取り、乾燥した状態でお使い下さい。
- タイルの目地部が水などで濡れた場合は水分を拭取って下さい。特に木質系下地の場合は、水分の影響により下地を傷める原因になる事があります。
- 長時間の直射日光による変退色、長期間使用しない室内での結露によるカビや異臭の発生、床材の剥がれ・反り・膨れ・突上げの可能性があります。日よけや換気を心がけて下さい。
- ビニル床材の上にホットカーペットを直に敷かないで下さい。ホットカーペットは裏面でも温度が上昇するため、長時間同じ場所に敷いていると、ビニル床材の変質・変色の原因になります。電気機器メーカーの使用上の注意をご確認いただき、ホットカーペットの熱がビニル床材へ直接伝わる事がないようにご注意下さい。
- 光源により見え方が変わる事があります。ご注意下さい。
- 素材固有の臭いがあります。換気を心がけて下さい。

運搬ならびに保管上のご注意

! 床タイルは梱包を解かずに、平坦な場所に保管して下さい。積載は70㎝までを限度とします。積み過ぎや、長時間にわたる直射日光や高温状態での暴露、雨水などによる水濡れは避けて下さい。変形・変退色・変質の原因となります。

次ページへ続く

ワックスメンテナンス早見表　ビニル床タイル

区分	製品名	頁	メンテナンス方法
ワックスメンテナンス不要	リノテスタ	251	● メンテナンス用樹脂ワックスを塗布する必要はありません。 ● 日常的にポリッシャー、モップ、固く絞った雑巾などでヒールマーク等の汚れを取除いて下さい。取れにくい汚れには洗剤を使用して下さい。 ● ワックスメンテナンスを行っても、NWシリーズの品質に問題はありません。 ＜ワックスメンテナンスを行う場合＞ 施工後、養生期間をおいてから洗浄剤で洗浄し、よくすすいだ後にツヤノンワックス（抗菌・低光沢タイプ）を塗布して下さい。
	ヴィアーレ	252	
	ストレイン	253	
	ダイナミックストーン	254	
	ピエスタ	256	
	タフテックタイル	242	※「NW-EXシリーズ」はワックス液をはじいてしまうため、ワックス塗布には指定の前処理が必要になります。詳細は各製品のユーザーズマニュアルをご参照下さい。 ● 取れにくい汚れには中性洗剤を使用して下さい。 ● 日常清掃の際は、固く絞ったモップ、雑巾で汚れを取除いて下さい。
	イークリンNW-EX	312	
	ルースレイ 40NW-EX	320	
	ルースレイ 50NW-EX	322	
	ルースレイマスター NW-EX	332	
	SGタイル	342	● 汚れや傷つきに強い配合となっておりますので、ワックスメンテナンスは不要です。日常は固く絞ったモップでお手入れして下さい。
ワックスメンテナンス必要	マチコV	258	● 施工後、養生期間をおいてから洗浄剤でポリッシャー洗浄し、よくすすいだ後に樹脂ワックス（ニュー FBワックス・Uワックス・ツヤノンワックス（抗菌））を塗布して下さい。
	コーデラ	260	
	スレートスクエア	261	
	フェイソールブルス	262	
	グラノーブル	264	
	リフライブ	265	
	モクリン	266	
	ロイヤルウッド（ロイヤルウッド・ノンスを除く）	268	● 施工後、養生期間をおいてから洗浄剤でポリッシャー洗浄し、よくすすいだ後に樹脂ワックス（ニュー FBワックス・Uワックス・ツヤノンワックス（抗菌））を塗布して下さい。
	ロイヤルストーン（ロイヤルストーン・ノンスを除く）	284	
	MSフレッシュ	337	
	MSプレーン	338	
	ロイヤルウッド（ロイヤルウッド・ノンス）	283	● 施工後、養生期間をおいてから洗浄剤でポリッシャー洗浄し、よくすすいだ後に樹脂ワックス（ニュー FBワックス・Uワックス・ツヤノンワックス（抗菌））を塗布して下さい。 ● 取れにくい汚れには中性洗剤を塗布した後、毛先の細いブラシで汚れを浮かせてから、バキューマーや固く絞った雑巾、モップ等で汚水を除去して下さい。 ● ワックスメンテナンスを行う場合、事前に青パッドでの洗浄を充分に行って下さい。ワックスを厚塗りすると防滑性が落ちますのでご注意下さい。また、油に対する防滑性が必要な場合はワックスを塗布しないで下さい。
	ロイヤルストーン（ロイヤルストーン・ノンス）	310	
	フリータイル	340	● 施工後、汚れを拭取り、シーバイエス社製帯電防止ワックス（エレックス）を塗布して下さい。
	フリータイルS	341	
	プラート	344	● 施工後、養生期間をおいてからゴムタイル用ワックスを塗布して下さい。
	プラートF	345	
その他	LAYフローリング	334	● 日常は固く絞った雑巾かモップの水拭き程度で充分です。 ＜ワックスメンテナンスを行う場合＞ よく汚れを取除いてから、樹脂ワックス（ニュー FBワックス・Uワックス・ツヤノンワックス（抗菌））を浸したモップを固く絞って、薄くムラなく塗って下さい。その際、床に直接ワックスを撒く方法は避けて下さい。 補修等で部分貼替えの後、ワックスを塗布すると既設タイルとの間に光沢差が生じる場合があります。
	LAYフローリング ピタフィー	336	

ビニル床シート 注意事項

選択上のご注意

防滑性マークは、製品の防滑性を示す目安です。履物や歩行状態、水濡れや砂の持込み、使用したワックスの種類など環境によって大きく左右されます。選択の際の一つの目安としてご利用下さい。詳細は本カタログ522頁をご参照下さい。

! 機能別インデックスを参考に、建物の用途・環境に応じた製品を選択して下さい。

病院など抗菌性を求められる場所では、抗菌シートをご採用下さい。人体への影響が少ない抗菌剤を使用しておりますが、乳幼児が誤って経口する可能性のある場所では使用を避けて下さい。

- 暗所、アルカリ性雰囲気、高温多湿環境下において、床材の変色が発生する場合があります。これらの条件が揃わないように注意して下さい。そのような箇所へ床材を施工する際には、発生しても目立たない暗色系のご採用をおすすめします。
- NWシリーズ及び防滑性床材は、製品の特性上、素足や靴下での歩行時に素材表面がひっかかる事があります。上靴、スリッパ履きで使用する事をおすすめします。
- 歩行マークは製品の耐久性を示す目安です。歩行マーク以上の使用は避けて下さい。詳細は本カタログ517頁をご参照下さい。
- 下地から絶えず湿気の上昇が予想される場所では使用を避けて下さい。接着不良や臭気が発生する事があります。
- 建築基準法・消防法によって、使用方法ならびに使用場所に制限があります。各法令法規をご確認下さい。
- 淡色系・無地調の床材ほど濃色系に比べて汚れが目立ちやすくなります。また、フラットな表面形状に比べてエンボスが深いほど汚れが残りやすくなります。ご留意下さい。
- リサイクル材を使用している製品は、裏面の色や裏面の仕上り状態にバラツキが生じる事があります。リサイクル材を使用する事による品質への影響はありません。
- 床シートは熱には弱い性質を有しています。摩擦熱等により、床面に変色、変形が生じる事があります。
- 本カタログの掲載写真の一部に合成写真を含みます。
- 本カタログ掲載の写真や画像は、現物と若干違いのある場合があります。ご採用の際には必ずサンプル帳などでご確認下さい。

施工上のご注意

■ 施工前

- 施工の前に「東リ施工マニュアル」をご一読下さい。
- 梱包紙に記載されている品名・品番・ロット・数量を確認の上、施工を開始して下さい。同一床面上は、同ロットで仕上げて下さい。
- 既設床への重ね貼りは、膨れ、伸び、突上げなどを招く可能性があります。
- 下地にワックス、グリス、油類、塗料、防蟻剤、防腐剤、アスファルト系接着剤（黒糊）、油性マジック、オイルステン、塩ビ配管用接着剤、朱墨等の汚れが残っていると、接着不良や床材を着色させる可能性があります。完全に除去した上で施工を開始して下さい。
- 床シートは室温になじませてから施工して下さい。室温と床シートに温度差があると、施工直後だけでなく、後日、目地スキ、突上げなどをおこす可能性があります。

■ 施工中

- シート裁断後、切り口が鋭利になる場合がありますのでご注意下さい。
- 接着の際は、製品の指定接着剤を使用し、5mmピッチのくし目ごてで均一に塗布して下さい。
- キャスター往来の多い部位では、接着剤の櫛山が残ると床シート表面に櫛目状の傷つきや汚れが生じる場合がありますので、適切なタイミングで床シートを貼り、施工後はローラーで充分に圧着して下さい。
- CFシートを施工の際、テープ工法での施工は貼直しがききませんので、ご注意下さい。
- アンダーレイシートを使用する際は、上下面とも同じ接着剤をご使用下さい。
- 必ず継目処理を施して下さい。
- 幅継ぎをする際は、耳部どうしでジョイントして下さい。
- 目地部は落し込みを使用してカットして下さい。もしくは東リリノカットで施工して下さい。
- 巻上げ施工の端部、壁際等、シート端部は指定のシール剤等で仕上げて下さい。
- 施工時には、カッターの刃をこまめに取替えて下さい。

下地は湿気のない平滑かつ堅牢なものとし、適切な施工環境を維持して下さい。施工条件を順守しなかった場合、目地スキや突上げ、膨れなどを招く可能性があります。いずれも、美観を損ねるだけでなく、転倒事故などの原因になります。詳細は「東リ施工マニュアル」をご参照下さい。

! 有機溶剤を含んだ接着剤を使用する場合は、火気に注意し、室内の換気を心がけ、有機溶剤作業主任者立ち会いのもとで行って下さい。有機溶剤は、引火しやすく、また多量に吸入すると人体に影響を及ぼす可能性があります。

施工中は、他業種による汚損・事故の発生を防ぐために、床工事関係者以外の立ち入りを禁止して下さい。

■ 施工後

- 施工後は、エアー抜きの後、ローラーで全面を圧着して下さい。圧着不良は、接着不良につながり、後日、床シートの反り、膨れ、突上げ、剥がれ、目地スキなどが生じる場合があります。
- 養生シートをとめる際、粘着テープは直接床材に貼付けないで下さい。床シートを汚染する原因となります。
- 施工後、一週間は、直射日光や水洗い、冷暖房などによる急激な温度変化、重量物やキャスター椅子などによるしごきなどは避けて下さい。突上げ・目地スキ・剥がれ・へこみ跡などを発生させる可能性があります。特に冬季は接着剤の硬化が遅いので充分な養生期間をとって下さい。

! 施工後、残材等を廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。包装紙・紙管などを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。床シートを燃やすと有害ガスが発生します。

メンテナンスならびに使用上のご注意

■ メンテナンスのご注意

- メンテナンス用ワックスの上にアルコールが滴下すると表面が白くなる場合があります。アルコールが直接床面に滴下しないように注意して下さい。
- メンテナンスは必ず指定のワックスまたは同等品により定期的に行って下さい。特に初期メンテナンスでは、シートの表面をアルカリ洗浄剤で充分に洗浄し、よくすすいだ後ワックスを塗布して下さい。ワックスは床シートの汚れを防ぎ、美観を保持します。詳細は本カタログ536頁をご参照下さい。
- 施工後、養生期間をおいてから洗浄剤でポリッシャー洗浄し、よくすすいだ後に各製品に応じたワックスを塗布して下さい（※1）。特に初期メンテナンスでは、シート表面を充分に洗浄した後ワックスを塗布して下さい。状況に応じて、固く絞ったモップでの水拭きによる1日の清掃回数を増やすなど、日常のメンテナンスにご留意下さい。
（※1）各製品のワックスメンテナンスの詳細につきましては、555頁のワックスメンテナンス早見表もしくはサンプル帳をご参照下さい。

次ページへ続く

ビニル床シート 注意事項

- 表面に凹凸がある防滑性シートは、凹部にワックスが溜まらないように、均一に薄く塗布して下さい。厚塗りすると防滑性が落ちますのでご注意下さい。屋外使用の場合は、樹脂ワックスは塗布できません。

※「NWシリーズ」はメンテナンス方法が異なります。
下記「NWシリーズ」メンテナンス情報をご参照下さい。

> ! 水濡れや砂が飛散した状態では、滑りやすくなり、転倒事故を招く可能性があります。土砂の持込みなどが予想される場所では、泥よけマットなどを出入口に設置し、室内に土砂が持込まれないようにして下さい。持込まれた際には、即座に除去するようにして下さい。摩耗・傷付きを防ぎ、美観を保持するだけでなく、寿命を延ばす効果があります。

NWシリーズ メンテナンスのご注意

- メンテナンス用樹脂ワックスを塗布する必要はありません。日常的にポリッシャー、モップ、固く絞った雑巾などでヒールマーク等の汚れを取除いて下さい。取れにくい汚れには洗剤を使用して下さい。
- 面積の大きな施設では、洗浄力の優れた自動床面洗浄機を推奨いたします。
- ワックスメンテナンスを行っても、NWシリーズの品質に問題はありません。ただし、各機能性を重視する場合は、ワックスを塗布しないで下さい。

※抗菌性能のある製品に、ワックスメンテナンスを行う場合

施工後、汚れを拭取り、ツヤノンワックス（抗菌・低光沢タイプ）を塗布して下さい。通常のワックスでは抗菌効果が得られません。

- 屋外から直接土砂の持込みが想定される部位にお使いの際は、除塵マットの設置やワックスを塗布する定期メンテナンスが必要になる場合があります。

バスナアルティ・バスナフローレ・バスナリアルデザイン メンテナンスのご注意

- 浴室でご使用の場合は、メンテナンス用樹脂ワックスを塗布する必要はありません。スポンジ、デッキブラシ（ソフトタイプ）等で毎日汚れを取除いて下さい。
- 脱衣室などでご使用の場合は、施工後、養生期間をおいてから洗浄剤で洗浄し、よくすすいだ後にツヤノンワックス（抗菌）を塗布して下さい。通常のワックスでは抗菌効果が得られません。

■ 使用上のご注意

- 長時間の直射日光による変退色、長期間使用しない室内での結露によるカビや異臭の発生、床材の剥がれ・反り・膨れ・突上げの可能性があります。日よけや換気を心がけて下さい。
- ルーフバルコニー等の下地で多く採用される「防水層＋押えコンクリート」は構造上、常に多量の水分を含むおそれがあります。シートの膨れや剥がれの原因となるため、施工はおすすめできません。
- 半屋外、屋内対応の製品は、長時間直射日光の暴露を受ける場所での使用は避けて下さい。
- 熱によって変退色・溶融する可能性があります。たばこや、車輪の摩擦熱、火花の飛び散りなどは避けて下さい。
- 温風ヒーター吹出口にはマットを設置するなどして、温風が直接シート表面に当たる事を避けて下さい。
- 化学薬品や強い作用を持つ洗剤、漂白剤などにより、変退色や変質を招く可能性があります。
- ビニル床材の上にホットカーペットを直に敷かないで下さい。ホットカーペットは裏面でも温度が上昇するため、長時間同じ場所に敷いていると、ビニル床材の変質・変色の原因になります。電気機器メーカーの使用上の注意をご確認いただき、ホットカーペットの熱がビニル床材へ直接伝わる事がないようにご注意下さい。
- ある種の家具の脚ゴムやゴムマットなどのゴム製品、塗料、防腐剤、防虫剤などによって汚染され変退色を招く可能性があります。これらに直接触れないようにして下さい。
- 重量物や車輪によるしごき、ハイヒールや家具などの局部荷重により、床材の表面にキズや膨れ、へこみ跡が生じる可能性があります。
- 建物の出入口には、必ず除塵マットを設置して下さい。（砂、砂利等で表面に傷がついてしまった場合、汚れが傷に入り込んでしまい、汚れ落ちが悪くなります。土砂の持込みの可能性がある路面に面した部位で使用される場合は、除塵性の高いマットをできるだけ広い面積で設置して下さい。）
- 長時間、水に濡れた状態が続くと白化する場合があります。
- 水拭き後長時間濡れた状態にしておくと、菌の増殖や臭いの原因になります。乾いたモップで拭取り、乾燥した状態でお使い下さい。

> ! 水・砂・紫外線・重量物・汚染物質・化学薬品などの影響で、床材自体の変質・変退色や、施工後の膨れ・剥がれ・目地スキなどを招く場合があります。充分ご注意下さい。剥がれ、反り、膨れなどが生じた場合は、即座に補修して下さい。放置しておくと全体に影響が及び、美観を損なうほか、転倒事故の原因となります。詳細は「東リ施工マニュアル」をご参照下さい。

- 光源により見え方が変わる事があります。ご注意下さい。
- 素材固有の臭いがあります。換気を心がけて下さい。

バスナアルティ・バスナフローレ・バスナリアルデザイン 使用上のご注意

- 施工前に必ず勾配を確認して下さい。
- 施工前に石鹸カスなどを充分除去しておいて下さい。
- 毛染め液、ある種のタオルなどに使われる染料で着色する場合があります。ご使用を控えるか、付着後すぐに洗い流して下さい。
- 施工終了後、一晩養生したのち入浴していただく事は可能です。2～3日間はシール部へのブラシ清掃はお避け下さい。また、大型浴室等でのキャスターの往来は2～3日お控え下さい。

運搬ならびに保管上のご注意

- 荷下ろし時の落下による、耳部の損傷にご注意下さい。
- 重量物ですので、慎重に扱って下さい。また、器物等との接触にも配慮して下さい。
- 水漏れのない平坦な場所に保管して下さい。
- 縦置きの場合は、ロープ等で固定し、転倒防止を図って下さい。
- 横置き保管の場合は、俵積みを避けて下さい。

ワックスメンテナンス早見表　ビニル床シート

区分	製品名	頁	メンテナンス方法
ワックスメンテナンス不要	ヒトエ グランザ ヒトエ ファイン フロアリューム プレーンNW フロアリューム マーブルNW フロアリューム ソイルドNW フロアリューム フレークNW フロアリューム ナッティNW フロアリューム ラティスNW ノンワックスリュームNW マチュアNW ホスピリュームNW SFフロアNW ケアセーフNW アリーナフィット CF シート-P NW NSプレーン NW	350 352 354 356 358 360 361 362 364 368 376 380 384 386 394 433	NO WAX ● メンテナンス用樹脂ワックスを塗布する必要はありません。 ● 日常的にポリッシャー、モップ、固く絞った雑巾などでヒールマーク等の汚れを取除いて下さい。取れにくい汚れには洗剤を使用して下さい。 ● ワックスメンテナンスを行っても、NWシリーズの品質に問題はありません。ただし、各性能を重視する場合はワックスを塗布しないで下さい。 ＜ワックスメンテナンスを行う場合＞ 施工後、汚れを拭取り、ツヤノンワックス（抗菌・低光沢タイプ）を塗布して下さい。 通常のワックスでは抗菌効果が得られません。
	耐薬スーパー K シート NW 耐薬スーパー K シート エクセラ NW	402 403	NO WAX ● メンテナンス用樹脂ワックスを塗布する必要はありません。 ● 日常的にポリッシャー、モップ、固く絞った雑巾などでヒールマーク等の汚れを取除いて下さい。取れにくい汚れには洗剤を使用して下さい。 ● ワックスを塗布すると、耐薬性能等が変化する場合があります。機能性を重視する場合は、樹脂ワックスを塗布しないで下さい。 ＜ワックスメンテナンスを行う場合＞ 施工後、汚れを拭取り、シーバイエス社製ワックス用下地剤（スタンダードベース）を塗布後、ツヤノンワックス（抗菌・低光沢タイプ）を塗布して下さい。通常のワックスでは抗菌効果が得られません。
	NSリアルデザインNW	408	NO WAX ● メンテナンス用樹脂ワックスを塗布する必要はありません。 ● 日常的にポリッシャー、モップ、固く絞った雑巾などでヒールマーク等の汚れを取除いて下さい。取れにくい汚れには洗剤を使用して下さい。 ● ワックスメンテナンスを行っても、NWシリーズの品質に問題はありません。 ＜屋外使用の場合＞ 樹脂ワックスは塗布しないで下さい。
	消臭NSトワレNW	428	NO WAX ● メンテナンス用樹脂ワックスを塗布する必要はありません。 ● 日常的にポリッシャー、モップ、固く絞った雑巾などでヒールマーク等の汚れを取除いて下さい。取れにくい汚れには洗剤を使用して下さい。 ● ワックスメンテナンスを行っても、NWシリーズの品質に問題はありません。 ● ワックスメンテナンスを行うと、消臭性、防滑性等の性能が低下する事があります。機能性を重視する場合は、樹脂ワックスを塗布しないで下さい。 ＜ワックスメンテナンスを行う場合＞ 施工後、汚れを拭取り、ツヤノンワックス（抗菌・低光沢タイプ）を塗布して下さい。 通常のワックスでは抗菌効果が得られません。
ワックスメンテナンス非推奨	TMフロア	443	● ワックスの塗布は滑りやすくなるので避けて下さい。日常は固く絞った雑巾かモップで水拭きして下さい。
ワックスメンテナンス必要	NSシート NS800 東リNSステップ800	412 422	● 施工後、養生期間をおいてから洗浄剤でポリッシャー洗浄し、よくすすいだ後に樹脂ワックス（ニュー FBワックス・Uワックス・ツヤノンワックス（抗菌））を塗布して下さい。 ＜屋外使用の場合＞ 樹脂ワックスは塗布しないで下さい。
	NSフラッティ	432	● 施工後、汚れを拭取り、ツヤノンワックス（抗菌・低光沢タイプ）を塗布して下さい。通常のワックスでは抗菌効果が得られません。 ● 汚れ防止の為にワックス塗布をおすすめしますが、厚塗りすると防滑性が低下しますのでご注意下さい。
	NSアクアトレッド	434	● 施工後、汚れを拭取り、ツヤノンワックス（抗菌・低光沢タイプ）を塗布して下さい。通常のワックスでは抗菌効果が得られません。 ● ワックスメンテナンスを行うと、耐熱水性等の性能が低下する事があります。機能性を重視する場合は、樹脂ワックスを塗布しないで下さい。
	NSシート NS550 遮熱ガーデント	426	＜屋外使用の場合＞ 樹脂ワックスは塗布しないで下さい。
	オペリューム	407	● 施工後、養生期間をおいてから洗浄剤でポリッシャー洗浄し、よくすすいだ後に抗菌ワックスを塗布して下さい。通常のワックスでは抗菌効果が得られません。
	帯電防止フロアリューム ニュースタンロード アースリューム	401 405 406	● 施工後、養生期間をおいてから洗浄剤でポリッシャー洗浄し、よくすすいだ後にシーバイエス社製帯電防止ワックス（エレックス）を塗布して下さい。
	ファクトリューム ケミ	404	● 施工後、養生期間をおいてから洗浄剤でポリッシャー洗浄し、よくすすいだ後に樹脂ワックス（ニュー FBワックス・Uワックス・ツヤノンワックス（抗菌））を塗布して下さい。 ● ワックスを塗布すると、耐薬性能等が変化する場合があります。機能性を重視する場合は、樹脂ワックスを塗布しないで下さい。
その他	CF シート-H アンパンマン クッションフロア CF シート-SD	388 393 399	● 製造段階でワックスを塗布していますので、日常は固く絞った雑巾かモップの水拭き程度で充分です。
	バスナリアルデザイン バスナフローレ バスナアルティ	438 440 441	● 浴室でご使用の場合は、メンテナンス用樹脂ワックスを塗布する必要はありません。スポンジ、デッキブラシ等で毎日汚れを取除いて下さい。 ● 脱衣室などでご使用の場合は、施工後、養生期間をおいてから洗浄剤で洗浄し、よくすすいだ後にツヤノンワックス（抗菌・低光沢タイプ）を塗布して下さい。通常のワックスでは抗菌効果が得られません。
	ラバナ	442	● 浴室ではメンテナンス用樹脂ワックスを塗布する必要はありません。 ● スポンジで毎日汚れを取除いて下さい。

巾木・立面仕上げ材 注意事項

巾木のご注意

選択上のご注意

- 下地から湿気や結露水の発生が予想され、改善の可能性のない場所での使用は避けて下さい。
- 建築基準法・消防法によって、使用方法ならびに使用場所に制限があります。各法令法規をご確認下さい。
- 本カタログ掲載の写真や画像は、現物と若干違いのある場合があります。ご採用の際には必ずサンプル帳などでご確認下さい。

施工上のご注意

- 施工の前に「東リ施工マニュアル」をご一読下さい。

メンテナンスならびに使用上のご注意

- 床をメンテナンスする際、ワックスなどが巾木に付着しないようにして下さい。汚染の原因になります。
- 水、紫外線・汚染物質・化学薬品などの影響で、変質・変退色や、施工後の剥がれ、反り・突上げ・目地スキなどを招く可能性があります。選択・施工・維持管理ではご注意下さい。
- 素材固有の臭いがあります。換気を心がけて下さい。

ウッドデコ・リアルデコ・ハーデックのご注意

選択上のご注意

- 防火壁装材料として仕上げる為には、建設省告示第1400号ならびに国土交通省告示第1178号による改正や建設省告示用1401号に示された防火材料との組み合わせが必要となります。
- 建築物の内装仕上げについては、建築基準法による防火上の基準が設けられています。防火性能は下地基材と防火壁装材料及び施工方法の組み合わせによって決まりますのでご注意下さい。
- 高温、多湿の環境や屋外での使用は避けて下さい。ウッドデコ及びリアルデコの部材の中には、芯材にMDFを使用しているものがあるので水分を含むと膨張するおそれがあります。
- 水のかかる場所は避けて下さい（ハーデックを除く）。
- 本カタログの掲載写真の一部に合成写真を含みます。
- 本カタログ掲載の写真や画像は、現物と若干違いのある場合があります。ご採用の際には必ずサンプル帳などでご確認下さい。

施工上のご注意

- 下地は充分乾燥させてから開始して下さい。湿気を帯びていると接着不良・変色・剥がれ・カビを招くおそれがあります。
- 下地の凹凸が現れやすいため、ネジ・クギ類の突起を完全にしずめ、平滑に仕上げて下さい。下地調整にご配慮下さい。
- リアルデコは、壁紙の施工方法に準じ、東リピュアボンドを使用して、オープンタイムをとり、必ず下敷きを使用して重ね切りにて納めて下さい。詳しくは「施工要領書」をご参照下さい。
- ウッドデコ（タテ張り）を施工する際は、必ずジョイナーを使用して下さい。詳しくは「施工要領書」をご参照下さい。
- 糊だまりによる不陸（スジ）が残らないよう、なで付けの仕上げには必ずプラスチック製のハケ（スムーサー）やローラーなどを用いて丁寧にならして下さい。（ハーデックを除く）
- ウッドデコークを塗布した直後では、関連部材やウッドデコと色が違って見える事がありますが、乾燥するとほぼ同じ色になります。
- 端材やハーデックの離型紙を床に放置しないで下さい。歩行中に踏みつけた際、足を滑らせて転倒するおそれがあります。

> ! 施工後、残材等を廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。梱包ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。
> 施工後、臭いが残っている場合がありますので、入居後一週間程度は換気を充分に行って下さい。

メンテナンスならびに使用上のご注意

- 家具の衝突など強い衝撃がかからないように注意して下さい。
- 汚れが付着したらすぐに拭取って下さい。水性の汚れには中性洗剤を薄めた水、油性汚れにはアルコールを利用して下さい。シンナー等の溶剤は、ツヤムラ・変色を招くおそれがあります。また多量に水や溶剤を使用すると、目地部から剥がれや部材の変形を招く可能性があります。
- スプレー式の薬品や医薬品・化粧品を付着させないで下さい。変色の可能性があります。
- スチールたわし・スチールブラシ・金属へらなどの道具や、研磨材入り洗浄剤・シンナーやトルエン等の溶剤類は使用しないで下さい。
- ハーデックの裏面には、「資源の有効な利用の促進に関する法律」に基づき、材質が塩化ビニルである事を示す「∞PVC」マークが薄く印刷されています。裏面から光が当たると、色柄によっては表面に「∞PVC」マークが透けて見える場合がありますのでご注意下さい。

東リ 防汚消臭腰壁シート・東リ 不燃腰壁シートのご注意

選択上のご注意

- 使用される場所や施工される下地が法令や法規に適合するかあらかじめご確認の上、ご使用下さい。
- 建築基準法によって使用ならびに使用場所に制限があります。防火上、壁面の仕上げ材として、内装制限が設けられていますが、居室等において床面上1.2m以下は内装制限から除外されます。また通路・階段等においてはスプリンクラー等自動式のもの及び施行令126条の3の規定に適合する排煙整備を設けた部分において内装制限から除外されます。
- 本カタログの掲載写真の一部に合成写真を含みます。
- 本カタログ掲載の写真や画像は、現物と若干違いのある場合があります。ご採用の際には必ずサンプル帳などでご確認下さい。

施工上のご注意

> ! 適切な施工環境・条件を維持・順守しなかった場合、目地スキや剥がれ、膨れなどを招く可能性があります。

- 下地の点検・清掃・補修については基本的に壁紙の下地処理に準じて行って下さい。
- 巻癖や温度変化による伸縮を防ぐため、現場でラフカット後室温に馴染ませてから貼付けを行って下さい。
- 施工後1週間は直射日光、冷暖房による急激な温度変化は避けて下さい。
- 接着の際は製品指定接着剤を使用し、5mmピッチ以下のくし目ごてで均一に塗布して下さい。指定外のくし目ごてを使用すると、くし目跡や接着不良の原因となります。
- 接着剤の塗布ムラや圧着不良があると、膨れの原因となるためご注意下さい。
- 直射日光を避け、梱包した状態で縦置きに保管して下さい。曲がった状態で保管すると製品に反りが発生する事があります。
- 製品を運搬中に落下させたり、先の尖った工具などをあてると欠けたり、割れ、へこみなどが発生する事がありますので、ご注意下さい。

> ! 施工後、残材等を廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。梱包ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。燃やすと有害ガスが発生します。

メンテナンスならびに使用上のご注意

- 汚れが付着したら、固く絞った雑巾で水拭きして下さい。取れにくい汚れには、中性洗剤を使用して下さい。
- 化学薬品や強い作用を持つ洗剤、漂白剤などにより、変退色や変質を招く可能性があります。
- 重量物が過度の衝撃でぶつかると下地を保護するまでの機能はありませんので、ご注意下さい。
- ゴム製品（配膳車・台車の保護パッド等）の接触により、場合によって汚染・変色を生じる事がありますので、ご注意下さい。
- 素材固有の臭いがあります。換気を心がけて下さい。

接着剤・その他副資材 注意事項

エマルション形・ラテックス形接着剤のご注意

選択上のご注意

- 施工する床材に適合する接着剤を、下地の種類・下地条件・使用条件に応じて、東リ標準工法に基づいて選択して下さい。詳細は「東リ施工マニュアル」、本カタログ498頁をご参照下さい。
- 湿気のある下地や、表面強度のない下地、不陸のある下地などは、使用を避けて下さい。接着強度が低下し、床材の剥がれ・浮き・反りなどの原因となります。

使用上のご注意

! 使用の前に、接着剤の容器に記載している表示事項をご参照下さい。
床材の接着以外には使用しないで下さい。

- 上澄み液が分離している場合があります。使用前によく撹拌してからご使用下さい。

! 使用中、誤って眼に入った場合は、水で充分洗浄後、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

- 床材を貼上げた後、ローラーなどで充分圧着して下さい。圧着が不充分の場合、床材の反り・突上げ・膨れ・剥がれなどを発生させる可能性があります。
- 接着剤が充分効果を発揮するまでは、水洗い・急激な温度変化・重量物によるしごきなどを避けて下さい。突上げ・目地スキ・剥がれなどを発生させる可能性があります。

! 施工後、使用済み容器などを廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。段ボール紙などを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。接着剤を燃やすと有害ガスが発生します。

溶剤形接着剤のご注意

選択上のご注意

- 施工する床材に適合する接着剤を、下地の種類・下地条件・使用条件に応じて、東リ標準工法に基づいて選択して下さい。詳細は「東リ施工マニュアル」、本カタログ498頁をご参照下さい。
- 過度に湿気のある下地や、表面強度のない下地、不陸のある下地などは、使用を避けて下さい。接着強度が低下し、剥がれ・浮き・反りなどの原因となります。

! 労働安全衛生法・消防法による規制があります。ご確認下さい。

使用上のご注意

! 使用の前に、接着剤の容器に記載している表示事項をご参照下さい。
床材の接着以外には使用しないで下さい。
有機溶剤を含んでいます。消防法及び労働安全衛生法の法令に従い施工を行って下さい。火気厳禁とし、室内の換気に心がけ、有機溶剤作業責任者立ち会いのもとで使用して下さい。有機溶剤は引火しやすく、蒸気を多量に吸い込むと人体に影響を及ぼす可能性があります。532頁“法律上の規制”を厳守して下さい。

- 上澄み液が分離している場合があります。使用前によく撹拌してからご使用下さい。

! 接着剤が皮膚に直接触れると皮膚障害をおこす事があります。皮膚に触れないように必要に応じて保護手袋を着用して下さい。
使用中、誤って眼に入った場合は、水で充分洗浄後、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

- 床材を貼上げた後、ローラーなどで充分圧着して下さい。圧着が不充分な場合、床材の反り・突上げ・膨れ・剥がれなどを発生させる可能性があります。
- 接着剤が充分効果を発揮するまでは、水洗い・急激な温度変化・重量物によるしごきなどを避けて下さい。突上げ・目地スキ・剥がれなどを発生させる可能性があります。
- 施工後、充分にガス抜きを行って下さい。溶剤による床材の膨れが生じる事があります。
- エポキシ樹脂系接着剤は、上澄み液が分離している場合があります。別々のヘラで均一になるように撹拌してから、混合用別容器に等量ずつ量り取り混合して下さい。混合後も充分に撹拌してから使用して下さい。
- ウレタン樹脂系接着剤は湿気と反応して硬化します。開缶した状態での長時間放置は避け、使用残の接着剤は缶に戻さないで下さい。
- エポキシ樹脂系・ウレタン樹脂系接着剤は、溶剤によって床材が膨れや突上げをおこす可能性があります。待ち時間・塗布量に配慮して下さい。
- ウレタン樹脂系接着剤は、溶剤が塩化ビニルに浸透しやすく、床材を伸ばす可能性があります。又、塗布量が多くなると溶剤量も多くなり、反応に時間がかかるので注意して下さい。

! 施工後、使用済み容器などを廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。段ボール紙などを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。接着剤を燃やすと有害ガスが発生します。

運搬ならびに保管上のご注意

! 消防法及び船舶安全法などの法令に従い、容器に漏れのない事を確かめ、転倒・落下・破損がないように荷崩れ防止を確実に行って下さい。保管にあたっては、消防法による集積限度にご注意下さい。
火気厳禁。

目地棒のご注意

選択上のご注意

- 床材の厚さに適した目地棒を選択して下さい。

施工上のご注意

- 施工後は、目地棒全面を圧着して下さい。圧着不良は接着不良の原因となり、後日、目地棒の反り・突上げ・剥がれなどを発生させる可能性があります。

! 施工後、残材などを廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。梱包ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。目地棒を燃やすと有害ガスが発生します。

メンテナンスならびに使用上のご注意

- 目地棒・ビニル床タイルの剥がれ・反り・膨れ・割れなどが生じた場合は、即座に補修して下さい。放置すると、全体に影響が及び、美観を損なうほか、転倒事故を発生させる可能性があります。
- 水・紫外線・重量物・汚染物質・化学薬品などの影響で、目地棒自体の変質・変退色や、施工後の剥がれ・反り・突上げ・目地スキなどを招く可能性があります。

溶接棒のご注意

選択上のご注意

- 施工するシート床材専用の溶接棒をご使用下さい。溶接棒とシート床材は、同じ色番号を有しています。
- 溶接棒とシート床材は、製品の色が若干異なる場合があります。ご了承下さい。

施工上のご注意

- 床施工時の接着剤が硬化した後（約24時間後）に継目処理を行って下さい。
- 必ず、シートの継ぎ目部分をUカットまたはVカットした後に溶接して下さい。カットせずに溶接すると溶接不良を発生させる可能性があります。

! 施工後、残材などを廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。梱包ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。溶接棒を燃やすと有害ガスが発生します。

メンテナンスならびに使用上のご注意

- 溶接棒の剥がれが生じた場合は、即座に補修して下さい。放置すると、全体に影響が及び、美観を損なうほか、転倒事故を発生させる可能性があります。
- 水・紫外線・重量物・汚染物質・化学薬品などの影響で、溶接棒自体の変質・変退色や、施工後の剥がれ・反り・目地スキなどを招く可能性があります。

接着剤・その他副資材 注意事項

継目処理剤（東リ ジョイントシールド）のご注意

選択上ならびに運搬・保管上のご注意

- 労働安全衛生法・消防法による規制があります。ご確認下さい。

> ! 消防法及び船舶安全法などの法令に従い、容器に漏れのない事を確かめ、転倒・落下・破損がないように荷崩れ防止を確実に行って下さい。保管にあたっては、消防法による集積限度にご注意下さい。
> 火気厳禁。

施工上のご注意

> 指定の用途以外には使用しないで下さい。
> ! 有機溶剤を含んでいます。消防法及び労働安全衛生法の法令に従い施工を行って下さい。火気厳禁とし、室内の換気に心がけ、有機溶剤作業責任者立ち会いのもとで使用して下さい。有機溶剤は引火しやすく、蒸気を多量に吸い込むと人体に影響を及ぼす可能性があります。532頁“作業場の注意”を厳守して下さい。
> 接着剤が皮膚に直接触れると皮膚障害をおこす事があります。皮膚に触れないように必要に応じて保護手袋を着用して下さい。使用中、誤って眼に入った場合は、水で充分洗浄後、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

- 床施工時の接着剤が硬化した後（約24時間後）に継目処理を行って下さい。
- 継目処理剤が充分効果を発揮するまでは、水洗い・急激な温度変化・重量物によるしごきなどは避けて下さい。

> ! 施工後、使用済み容器などを廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。段ボール紙などを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。燃やすと有害ガスが発生します。

継目処理剤（東リシームセット・東リシームシーラー・東リスーパーシーム液）
端部処理剤（東リNSシール・東リNSシールII・バスナシールSS）
下地補修材（バスナパテEPO）のご注意

選択上ならびに運搬・保管上のご注意

- 労働安全衛生法・消防法による規制があります。ご確認下さい。

> ! 消防法及び船舶安全法などの法令に従い、容器に漏れのない事を確かめ、転倒・落下・破損がないように荷崩れ防止を確実に行って下さい。保管にあたっては、消防法による集積限度にご注意下さい。
> 火気厳禁。

施工上のご注意

> 指定の用途以外には使用しないで下さい。
> ! 有機溶剤を含んでいます。消防法及び労働安全衛生法の法令に従い施工を行って下さい。火気厳禁とし、室内の換気に心がけ、有機溶剤作業責任者立ち会いのもとで使用して下さい。有機溶剤は引火しやすく、蒸気を多量に吸い込むと人体に影響を及ぼす可能性があります。532頁“作業場の注意”を厳守して下さい。
> 接着剤が皮膚に直接触れると皮膚障害をおこす事があります。皮膚に触れないように必要に応じて保護手袋を着用して下さい。使用中、誤って眼に入った場合は、水で充分洗浄後、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

- 床施工時の接着剤が硬化した後（約24時間後）に継目処理、端部処理を行って下さい。
- 継目処理剤が充分効果を発揮するまでは、水洗い・急激な温度変化・重量物によるしごきなどは避けて下さい。

> ! 施工後、使用済み容器などを廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。段ボール紙などを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。燃やすと有害ガスが発生します。

瞬間接着剤（アロンアルファ・アロンアルファII）のご注意

選択上ならびに運搬・保管上のご注意

- 労働安全衛生法・消防法による規制があります。ご確認下さい。

> ! 消防法及び船舶安全法などの法令に従い、容器に漏れのない事を確かめ、転倒・落下・破損がないように荷崩れ防止を確実に行って下さい。保管にあたっては、消防法による集積限度にご注意下さい。
> 火気厳禁。
> 幼児や児童の手の届かない場所に保管して下さい。

施工上のご注意

> 指定の用途以外には使用しないで下さい。
> 長時間使用したり、大量に使用する場合、目や喉に刺激を感じる場合があります。蒸気を多量に吸い込むと人体に影響を及ぼす可能性がありますので、換気をよくして下さい。必要に応じて防毒マスク・送気マスクを使用して下さい。
> 使用中、誤って眼に入った場合は、水で充分洗浄後、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
> ! 布製手袋の使用は避けて下さい。火傷をする可能性があります。
> 使用中皮膚に直接ついた場合は、無理に剥がさずにぬるま湯で少しずつ剥がして下さい。
> 施工後、使用済み容器などを廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。段ボール紙などを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。瞬間接着剤を燃やすと有害ガスが発生します。

下地補修材（スムーズレベラー・クイックレベラー）のご注意

選択上のご注意

- たわむおそれのある鉄板下地・合板下地には使用できません。

使用上のご注意

- 作業中は、他業種による汚損・事故の発生を防ぐために、床工事関係者以外の立ち入りを禁止して下さい。
- 残った材料を新しい材料と混ぜ合わせて使用すると、可使時間が短くなります。混練した材料を使い切ってから、新たに材料を混練して下さい。
- 補修材がくし目ごてで削れなくなるまで充分乾燥させてから、床材の施工を開始して下さい。
- 接着剤は、塗布量・待ち時間が異なります。ご注意下さい。

> ! 施工後、使用済み容器などを廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。梱包ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。

建築基準法 p.559
消防法 p.562
JIS（日本産業規格） p.564
公共建築工事標準仕様書 p.566
公共住宅建設工事共通仕様書 p.569
グリーン購入法 p.570
エコマーク p.571
エコリーフ p.571
CASBEE p.572
環境に関する国際認証 p.574

建築基準法 国土交通省

2013年度版より抜粋

2003年7月1日施行の改正建築基準法により、告示対象建材に対して、シックハウス対策に係る規制が設けられています。あわせて、壁・天井の内装仕上げを対象に、内装制限が規定されています。

シックハウス対策に係る規制

1. 規制対象

（下記材料の中で除外となるものについては国土交通省告示第1113号参照）

■建築材料

合板・木質系フローリング・構造用パネル・集成材・単板積層材・ミディアムデンシティファイバーボード（繊維板）・パーティクルボード・その他の木質建材・壁紙並びに接着剤・保温材・緩衝材・断熱材

■施工時に塗布される場合に限る下記建築材料

塗料・仕上げ塗料・接着剤（酢酸ビニル樹脂系溶剤形・ゴム系溶剤形・ビニル共重合樹脂系溶剤形・再生ゴム系溶剤形）

カーペットや高分子系床材は規制対象ではありません。
（500頁「各省庁の指針に基づく東りの対応」を参照）

2. 規制の適用関係

確認申請の段階で、左記対象となる建築材料は、使用建築材の種別（等級）を明示する必要があります。告示対象以外の建材には明示の必要はありません。
（種別（等級）についての詳細は501頁をご参照下さい）

※原則として、以下の部分は規制の対象となりません。
- ●柱などの軸材
- ●回り縁や巾木、手すり、窓台、見切り、窓枠、落しがけ、畳寄せ、障子、鴨居、敷居、長押、カーテンボックス等の造作材、建具枠、方立て、間柱、胴縁

※当該部分の面積が設置部分の見付面積の1/10を超える場合は、規制対象となる。

改正建築基準法に基づくシックハウス対策

①ホルムアルデヒド対策

ホルムアルデヒドは刺激性のある気体で木質建材などに使われています。3つの全ての対策が必要となります。

（対策Ⅰ）内装仕上げの制限 内装仕上げに使用するホルムアルデヒドを発散する建材の面積制限をします。

（対策Ⅱ）換気設備設置の義務付け 原則として全ての建築物に機械換気設備の設置を義務付けます。

（対策Ⅲ）天井裏などの制限 天井裏などから居室へのホルムアルデヒドの流入を防ぐための措置をします。

②クロルピリホス対策

居室を有する建築物には、シロアリ駆除剤のクロルピリホスの使用を禁止します。

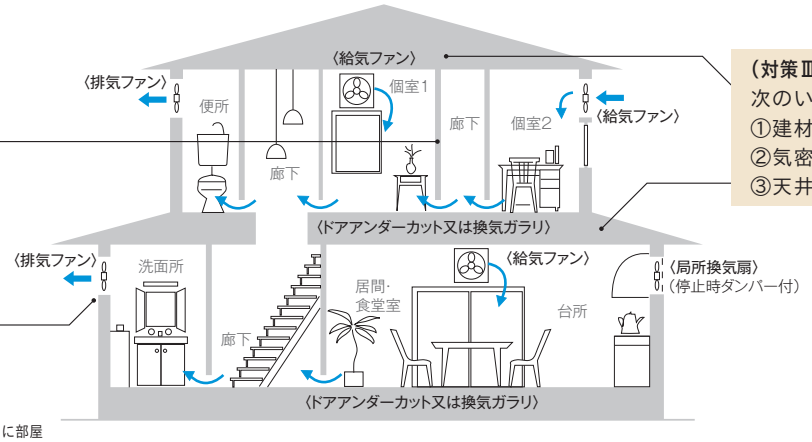
一戸建て住宅

（対策Ⅰ）内装仕上げ
F☆☆☆の場合、床面積の2倍まで
F☆☆☆☆の場合、制限なし

※建材はホルムアルデヒドの発散が少ない順に、F☆☆☆☆、F☆☆☆　と等級付けられます。

（対策Ⅱ）換気設備
換気回数0.5回/hの24時間換気システムを設置

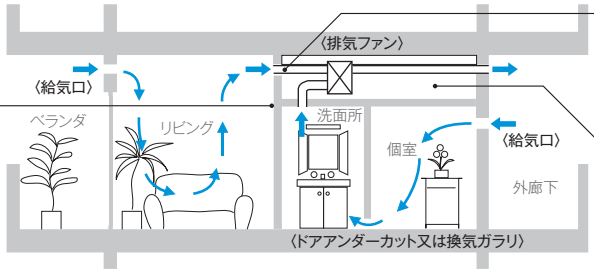
※換気回数0.5回/hとは、1時間当たりに部屋の空気の半分が入れ替わることをいいます。



（対策Ⅲ）天井裏など
次のいずれか
①建材：F☆☆☆以上
②気密層、通気止め
③天井裏などを換気

共同住宅の住戸

（対策Ⅰ）内装仕上げ
F☆☆☆の場合、床面積の2倍まで
F☆☆☆☆の場合、制限なし



（対策Ⅱ）換気設備
換気回数0.5回/hの24時間換気システムを設置

（対策Ⅲ）天井裏など
次のいずれか
①建材：F☆☆☆以上
②気密層、通気止め
③天井裏などを換気

出典：「シックハウス対策について知っておこう。」国土交通省住宅局

建築基準法 国土交通省

2015年度版より抜粋

内装制限等一覧表

建築基準法施行令第128条の3の2、第128条4、第129条及び第112条、第128条3等の内装制限に関する部分を要約一覧表としたもの。

特殊建築物等			対象となる規模等				制限	
			耐火建築物	準耐火建築物（イ）	準耐火建築物	その他建築物	居室等	通路・階段等
特殊建築物	1	劇場、映画館、演芸場、観覧場、公会堂、集会場	客席の床面積の合計が400㎡以上のもの	客席の床面積の合計が100㎡以上のもの			壁・難燃以上（床面上1.2m以下除く）天井・難燃以上（3階以上に居室を有するものは準不燃以上）（※2）	壁・天井とも準不燃以上（※2）
	2	病院、診療所（患者の収容施設があるものに限る）、ホテル、旅館、下宿、共同住宅、寄宿舎、児童福祉施設等（幼保連携型認定こども園を含む。以下同じ）、その他これらに類するもので政令に定めるもの	3階以上の部分の床面積の合計が300㎡以上のもの〔100㎡（共同住宅は200㎡）以内に防火区画されたものは除く〕		2階の部分の床面積の合計が300㎡以上（病院、診療所についてはその部分に患者の収容施設がある場合に限る）のもの	床面積の合計が200㎡以上のもの		
	3	百貨店、マーケット、展示場、キャバレー、カフェー、ナイトクラブ、バー、ダンスホール、遊技場、公衆浴場、待合、料理店、飲食店又は物品販売業を営む店舗（床面積10㎡以内は除く）	3階以上の部分の床面積の合計が1,000㎡以上のもの	2階の部分の床面積の合計が500㎡以上のもの		床面積の合計が200㎡以上のもの		
	4	自動車車庫、自動車修理工場、映画スタジオ又はテレビスタジオ	全部				壁・天井とも準不燃以上（※2）	壁・天井とも準不燃以上（※2）
	5	地階又は地下工作物内に上記1、2、3の用途の居室を有するもの						
建築物の規模	6	階数が3以上で延べ面積が500㎡を超えるもの 階数が2で延べ面積が1,000㎡を超えるもの 階数が1で延べ面積が3,000㎡を超えるもの	学校等（※1）を除く。耐火建築物又は準耐火建築物（イ）の高さ31m以下で100㎡以内に防火区画された特殊建築物に供さない居室を除く。本表2欄の高さ31m以下の部分には適用しない。				壁（床面上1.2m以下除く）・天井とも難燃以上（※2）	壁・天井とも準不燃以上（※2）
無窓	7	窓その他開口部を有しない居室（天井の高さ6mを超えるものを除く）	床面積が50㎡を超える居室で窓等開放できる部分（天井から下方80㎝以内の部分に限る）の面積の合計が床面積の1/50未満のもの				壁・天井とも準不燃以上（※2）	壁・天井とも準不燃以上（※2）
			温湿度調整を必要とする作業室等（法第28条第1項）					
調理室等	8	調理室、浴室その他の室で、かまど、こんろ、その他火を使用する設備又は器具を設けたもの	主要構造部を耐火構造としたものを除く	階数2以上の住宅（事務所、店舗兼用を含む）の最上階以外の階に火を使う設備を設けたもの			壁・天井とも準不燃以上（※2）	
				住宅以外の建築物の火を使う設備を設けたもの				

〈除外規定〉上表各欄の制限は、スプリンクラー等自動式のもの及び令126条の3の規定に適合する排煙設備を設けた部分には適用されません。

防火区画	9	建築物の11階以上の部分（200㎡以内に防火区画された共同住宅住戸には適用しない）	100㎡以内に防火区画	（スプリンクラー等自動式のものを設置すれば区画は2倍に拡大できる）	
			200㎡以内に防火区画（特定防火設備とすること）		壁・天井とも準不燃以上 壁・天井とも不燃 （壁・床面上1.2m以下除く）
			500㎡以内に防火区画（特定防火設備とすること）		
	10	地下街	100㎡以内に防火区画		
			200㎡以内に防火区画（特定防火設備とすること）		壁・天井とも準不燃以上 壁・天井とも不燃 （壁・床面上1.2m以下除く）
			500㎡以内に防火区画（特定防火設備とすること）		

（2015年6月1日施行）

①回り縁、窓台、その他これらに類するものは内装制限から除かれています。

②法令の定めによって設けられる避難階段、特別避難階段は、下地とも不燃材で仕上げる事となります。

③内装制限の適用が重複してかかる場合は、法令で規定のある場合を除いては制限の厳しい方が適用されます。

④この一覧表は概要をまとめたものです。詳細は法令の本文を参照して下さい。

⑤都道府県では条例で独自の内装制限を定めているものもあります。各自治体に確認して下さい。

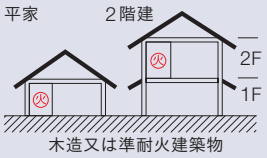
※1 学校、体育館、ボウリング場、スキー場、スケート場、水泳場又はスポーツの練習場。

※2 その仕上げに準ずるものとして国土交通大臣が定める法により国土交通大臣が定める材料の組み合わせによってしたもの。

〈内装制限の例図〉

準不燃以上

● 内装制限をうけないもの……住宅の場合

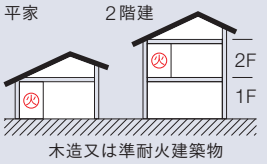


平家の場合及び2階建でも2階部分に火を使う設備等が設けられた場合は、当該内装制限は適用されません。
（注）火を使う設備、器具等には、石油ストーブ、ガスストーブなど持ち運びできるタイプのものは含まれていません。

● 内装制限をうけるもの……住宅の場合

1階部分に火を使う設備等が設けられた場合は、壁、天井とも準不燃以上となります。なお、共同住宅で高性能準耐火建築物の場合は耐火建築物とみなされますので、この規定の制限はうけません。

● 内装制限をうけるもの……住宅以外の場合



住宅以外の場合は平家でも、また、最上階に火を使う設備を設けた場合でも全て、壁、天井とも準不燃以上となります。

（出典：内装制限読本）

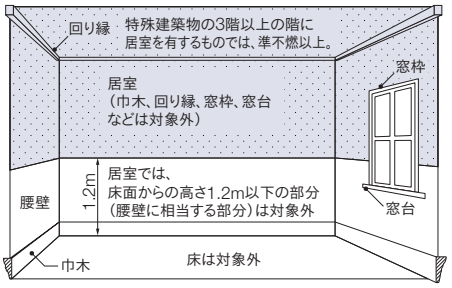
■戸建住宅の内装制限の緩和

コンロなどの加熱調理器具が設備された住宅のキッチンは火気使用室と定義されるため、従来はリビング、ダイニング、キッチンがワンルームになっているような建物の場合、ワンルーム全体を準不燃以上に仕上げるか、不燃材料仕上げの50cm以上の垂れ壁によって火気使用部分と他の部分を区画し、火気使用部分を準不燃以上に仕上げなければなりませんでした。
オープンキッチンなど近年の空間設計の多様化に伴い、戸建住宅に限り、火気使用室の内装制限が緩和されました。
2009年4月1日に施行された国土交通省告示第225号では、調理用コンロ・固定式ストーブ・壁付暖炉・囲炉裏の4つの火気について技術基準を設けており、これらの周辺（天井、壁、下地材、間柱、回り縁、窓台など）を特定不燃材料で仕上げるなどの技術基準を満たす事により、それ以外の部分は難燃材料等での仕上げが可能となりました。

	壁・天井（室内に関する部分）	それ以外（下地材・回り縁等）	制限の範囲（部屋）の区切り	戸建て	集合
①従前基準	全て準不燃材	制限なし	50cm以上の垂れ壁等（不燃材料）で区切る事も可	○	○
②新基準	火口から一定空間は特定不燃材	火口から一定空間は特定不燃材	火口から一定空間で区切る	○ ただし火力が一口4.2kw以下	×

※①または②のふたつの仕上げのどちらかを選べる

■居室の内装の不燃化



（出典：「イラスト建築防火」全国加除法令出版 たかぎ・ただゆき著）

防火壁装材料の種別一覧表

（2013年12月現在）

防火種別	防火性能［施工方法／直張り］				防火性能［施工方法／下張り］		
	不燃材料	不燃石膏ボード	準不燃材料	金属板	不燃材料	不燃石膏ボード	準不燃材料
1－1	不　燃	不　燃	準不燃	準不燃	—	—	—
1－2	不　燃	準不燃	準不燃	難　燃	準不燃	難　燃	難　燃
1－3	不　燃	準不燃	準不燃	—	—	—	—
1－4	不　燃	不　燃	準不燃	不　燃	—	—	—
1－5	不　燃	不　燃	準不燃	難　燃	—	—	—
1－6	不　燃	不　燃	準不燃	—	—	—	—
1－7	不　燃	準不燃	準不燃	不　燃	—	—	—
1－8	不　燃	準不燃	準不燃	準不燃	—	—	—
2－1	準不燃	準不燃	準不燃	準不燃	—	—	—
2－2	準不燃	準不燃	準不燃	難　燃	難　燃	難　燃	難　燃
2－3	準不燃	準不燃	準不燃	—	—	—	—
2－4	準不燃	準不燃	準不燃	難　燃	—	—	—
2－5	準不燃	準不燃	準不燃	—	難　燃	難　燃	難　燃
2－6	準不燃	準不燃	—	—	—	—	—
2－7	準不燃	準不燃	—	不　燃	—	—	—
3－1	不　燃	難　燃	難　燃	—	—	—	—
3－2	不　燃	不　燃	難　燃	—	—	—	—
3－3	不　燃	準不燃	難　燃	—	—	—	—
4－1	準不燃	難　燃	難　燃	—	—	—	—
4－2	準不燃	準不燃	難　燃	—	—	—	—
5－1	難　燃	難　燃	難　燃	—	—	—	—
6－1	不　燃	不　燃	—	—	—	—	—
6－2	—	—	—	不　燃	—	—	—
6－3	不　燃	不　燃	—	不　燃	—	—	—
6－4	不　燃	—	—	不　燃	—	—	—
6－5	不　燃	—	—	—	—	—	—

●防火認定について：防火認定商品は、施工現場において基材となる下地材ごとに日本壁装協会制定による「防火壁装材料の施工共通仕様」によって仕上げた場合、国土交通大臣より防火材料として認定されます。ただし、通則の特定壁紙については特有の施工方法によるものもあります。

●防火種別について：左の数字1～5は旧通則認定における検定級に基づく区分（新規取得品を含む）で、6の数字は新たな下地との組み合わせによる新規認定取得品です。また右の数字は検定級ごとの各々の連番を示したものです。

●施工管理について：施工管理は、「申請者が直接施工を行う責任施工」または「申請者が責任をもって施工者を指導する」のいずれかで行います。

消防法 総務省 消防庁

初期防火ならびに火災発生の予防を第一目的に作られた法律です。
建物に持込まれる事が多い製品で、躯体の一部とはみなされにくい製品（移動が簡単に行える製品）が対象となっています。
防炎防火対象となる建物に使用する場合は防炎物品を使用する事が義務づけられており、内装材ではカーテン・カーペット・置敷きビニル床タイルが対象となります。

防炎物品

消防法に定める防炎性能基準の条件を満たしたものを「防炎物品」といいます。不特定多数の人が出入りする施設・建築物で使用されるカーテン、じゅうたんや、工事現場にかけられている工事用シート、劇場等で使用される舞台幕などは「防炎物品」の使用が義務づけられており、それらには「防炎」の表示をつける事になっています。

〈防炎物品の種類〉

- ●カーテン・暗幕・どん帳・布製ブラインド
- ●じゅうたん等
- ●展示用合板
- ●舞台において使用する幕および大道具用の合板
- ●工事用シート

防炎物品のうち「じゅうたん等」には、タイルカーペット、合成樹脂製床シート及びプラスチックタイルが含まれます。しかし、

- ●大きさが2㎡以下のもの
- ●接着剤等で床に貼られ、床と一体になっている合成樹脂製床シート及びプラスチックタイル

は適用除外となります。
東リ製品のうち、ファブテックタイル、タイルカーペット、ファブリックフロア、ロールカーペット、置敷きビニル床タイル、薄型置敷きビニル床タイルは防炎性能試験番号を取得しており、防炎物品となります。

〈防炎物品を使用しなければならない対象物〉

1 消防法で指定されたもの
高層建築物（高さ31mを超える建築物を言う）、地下街

2 政令で指定されたもの

(1)	(イ) 劇場、映画館、演芸場又は観覧場 (ロ) 公会堂又は集会場
(2)	(イ) キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの (ロ) 遊技場又はダンスホール (ハ) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（1948年法律第122号）第2条第5項に規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗（ニ並びに(1)項イ、(4)項、(5)項イ及び(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されているものを除く。）その他これに類するものとして総務省令で定めるもの (ニ) カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室（これに類する施設を含む。）において客に利用させる役務を提供する業務を営む店舗で総務省令で定めるもの
(3)	(イ) 待合、料理店その他これらに類するもの (ロ) 飲食店
(4)	百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場
(5)	(イ) 旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの
(6)	(イ) 病院、診療所又は助産所 (ロ) 次に掲げる防火対象物 (1) 老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム（介護保険法（1997年法律第123号）第7条第1項に規定する要介護状態区分が避難が困難な状態を示すものとして総務省令で定める区分に該当する者（以下「避難が困難な要介護者」という。）を主として入居させるものに限る。）、有料老人ホーム（避難が困難な要介護者を主として入居させるものに限る。）、介護老人保健施設、老人福祉法（1963年法律第133号）第5条の2第4項に規定する老人短期入所事業を行う施設、同条第5項に規定する小規模多機能型居宅介護事業を行う施設（避難が困難な要介護者を主として宿泊させるものに限る。）、同条第6項に規定する認知症対応型老人共同生活援助事業を行う施設その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの (2) 救護施設 (3) 乳児院 (4) 障がい児入所施設 (5) 障がい者支援施設（障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（2005年法律第123号）第4条第1項に規定する障がい者又は同条第2項に規定する障がい児であって、同条第4項に規定する障がい支援区分が避難が困難な状態を示すものとして総務省令で定める区分に該当する者（以下「避難が困難な障がい者等」という。）を主として入所させるものに限る。）又は同法第5条第8項に規定する短期入所若しくは同条第15項に規定する共同生活援助を行う施設（避難が困難な障がい者等を主として入所させるものに限る。ハ(5)において「短期入所等施設」という。） (ハ) 次に掲げる防火対象物 (1) 老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム（ロ(1)に掲げるものを除く。）、老人福祉センター、老人介護支援センター、有料老人ホーム（ロ(1)に掲げるものを除く。）、老人福祉法第5条の2第3項に規定する老人デイサービス事業を行う施設、同条第5項に規定する小規模多機能型居宅介護事業を行う施設（ロ(1)に掲げるものを除く。）その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの (2) 更生施設 (3) 助産施設、保育所、幼保連携型認定こども園、児童養護施設、児童自立支援施設、児童家庭支援センター、児童福祉法（1947年法律第164号）第6条の3第7項に規定する一時預かり事業又は同条第9項に規定する家庭的保育事業を行う施設その他これらに類するものとして総務省令で定めるもの (4) 児童発達支援センター、児童心理治療施設又は児童福祉法第6条の2の2第2項に規定する児童発達支援若しくは同条第4項に規定する放課後等デイサービスを行う施設（児童発達支援センターを除く。） (5) 身体障がい者福祉センター、障がい者支援施設（ロ(5)に掲げるものを除く。）、地域活動支援センター、福祉ホーム又は障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第7項に規定する生活介護、同条第8項に規定する短期入所、同条第12項に規定する自立訓練、同条第13項に規定する就労移行支援、同条第14項に規定する就労継続支援若しくは同条第15項に規定する共同生活援助を行う施設（短期入所等施設を除く。） (ニ) 幼稚園又は特別支援学校
(9)	(イ) 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの
(12)	(ロ) 映画スタジオ又はテレビスタジオ
(16)	(イ) 複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されているもの (ロ) イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物
(16)の3	建築物の地階（(16の2)項に掲げるものの各階を除く。）で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道とを合わせたもの（(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供される部分が存するものに限る。）

3 政令で指定された工事用シートに係るもの
工事中の建築物その他の工作物のうち、次のもの

1. 建築物（都市計画区域外のもっぱら住居の用に供するもの及びこれに附属するものを除く。）
2. プラットホームの上屋
3. 貯蔵槽
4. 化学工業製品製造装置
5. 前2号に掲げるものに類する工作物

（出典：日本防炎協会ホームページより）

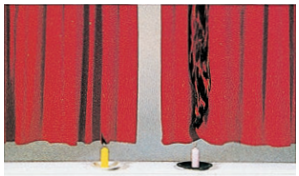
カーテン

カーテンの防炎性能は、洗濯耐久性によって分類されています。縫製後、カーテンの見やすい位置にそれぞれの防炎性能を記した防炎ラベルが縫付け又は貼付されて出荷されます。例えば、水洗い洗濯及びドライクリーニング後も防炎性能が損なわれないカーテンには（イ）ラベルが縫付けられています。

〈防炎性能の分類および防炎ラベル〉

防炎物品の種類		物品ラベルの形式
1. カーテン 暗幕	（イ） 水洗い洗濯及びドライクリーニング後も、再処理の必要がないもの （布製）	消防庁登録者番号 防　炎 登録確認機関名 公益財団法人 日本防炎協会
	（ロ） 水洗い洗濯では効果が変わらないが、ドライクリーニング後は再処理の必要があるもの （布製）	消防庁登録者番号 防　炎 登録確認機関名 公益財団法人 日本防炎協会 水洗い可、ドライクリーニングをした場合は要防炎処理
	（ハ） ドライクリーニングでは効果が変わらないが、水洗い洗濯後は再処理の必要があるもの （布製）	消防庁登録者番号 防　炎 登録確認機関名 公益財団法人 日本防炎協会 ドライクリーニング可、水洗いをした場合は要防炎処理
	（ニ） 水洗い洗濯及びドライクリーニングのいずれの場合にも防炎の再処理の必要があるもの （紙製）	消防庁登録者番号 防　炎 登録確認機関名 公益財団法人 日本防炎協会 洗濯をした場合は要防炎処理

（出典：公益財団法人 日本防炎協会資料）



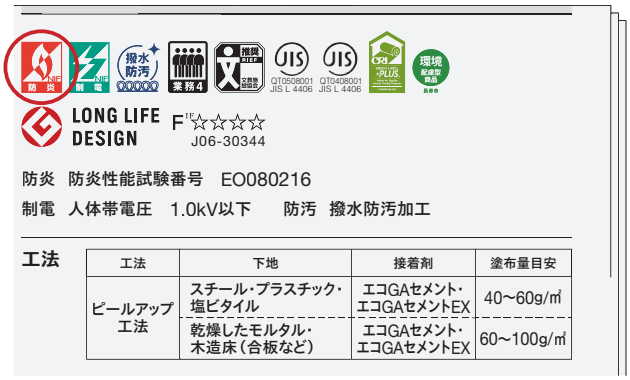
参考：防炎加工カーテンの燃焼実験
左　防炎加工を施したカーテン
右　防炎処理をしていないカーテン

東リ製品の防炎性能を知るには…。
各製品のサンプル帳に記載されています。
東リコントラクトカーテンはすべて防炎物品です。

カーペット

流動する炎や煙の特性を考えると、床は壁面や天井面に比べ安全な部位であり、火災の拡大に対する床の危険度は天井の約1/10と言われています。
防炎性能を示す防炎ラベルは、施工後、施工業者によって防炎防火対象物の所定の位置に設置されます。消防検査の際に必ず設置されている必要があります。

東リ製品の防炎性能を知るには…。
各製品のサンプル帳並びに総合カタログの各製品ページに記載されています。
本カタログ掲載の東リカーペットはすべて防炎物品です。



高分子系床材の酸素指数制限

■高分子系床材の酸素指数制限について

高分子系床材は、一般に接着剤等により下地（躯体）に接着される為、躯体の一部と解釈されております。そのため、消防法には制限されません。ただ、一定量以上を倉庫において貯蔵する場合、工場において製造、加工する場合には、酸素指数により制限を受ける場合があります。（1979年公布の第183号消防次長通達「消防法施行令の一部改正に伴う運用について」における『不燃性又は難燃性の判断について』より）
消防法では、合成樹脂類に関し、「日本産業規格（JIS K 7201）に定める酸素指数法に基づき、酸素指数が26以上のものを不燃性または難燃性を有するものとして取扱う。」とあります。不燃性または難燃性を有するもの以外については、その量に応じて火災報知器やスプリンクラー等の消防用設備の設置が義務づけられます。

JIS（日本産業規格）経済産業省

2005年10月～

2022年7月 経済産業省ホームページより抜粋

従来の工業標準化法は、鉱工業品の品質の改善、生産・流通・使用又は消費の合理化などのため、日本工業規格（JIS）の制定とJIS マークの表示制度を定めた法律でした。
2019 年7 月1 日より工業標準化法が一部改正され、法律の名称が“産業標準化法”に変わり、規格の名称が日本工業規格（JIS）から日本産業規格（JIS）に変わりました。

主な改正点

1．JIS の対象へのデータ、サービス、経営管理等の追加
2．JIS の制定・改正の迅速化
3．罰則の強化
4．国際標準化の促進

※今回の改正における、製品の種類の名称ならびに記号の変更はありません。

〈製品の種類の名称ならびに記号〉

		種類	バインダー含有率（%）	厚さ（㎜）	密度（kg/㎥）	記号
床タイル	接着形	単層ビニル床タイル	30以上	—	—	TT
		複層ビニル床タイル	30以上	—	—	FT
		コンポジションビニル床タイル	30未満	—	—	KT
	置敷形	置敷きビニル床タイル	—	4.0以上	—	FOA
		薄型置敷きビニル床タイル	—	4.0未満	—	FOB
床シート	発泡層無	単層ビニル床シート	—	—	—	TS
		複層ビニル床シート	—	—	—	FS
	発泡層有	発泡複層ビニル床シート	—	—	650以上	HS
		クッションフロア	—	—	650未満	KS

〈JISで求められる性能〉

■ JIS A 5705：2022（ビニル系床材）より

床タイルの性能

性能項目	区分		接着形			置敷き形	
	種類		単層ビニル床タイル	複層ビニル床タイル	コンポジションビニル床タイル	置敷きビニル床タイル	薄型置敷きビニル床タイル
	種類を表す記号		TT	FT	KT	FOA	FOB
へこみ量 mm	試験温度	23℃	0.25 以上	0.25 以上	0.15 以上	0.40 以上	0.25 以上
		45℃	1.20 以下	1.20 以下	0.80 以下	2.00 以下	1.20 以下
残留へこみ量 mm			0.25 以下			0.45 以下	0.25 以下
加熱による長さ及び幅変化率 %			−0.25 以上 0.25 以下		−0.20 以上 0.20 以下	−0.15 以上 0.15 以下	
吸水による長さ及び幅変化率 %			—		−0.20 以上 0.20 以下	—	
熱膨張率 ℃[1]			—			6.0×10^{5} 以下	
反り mm	試験温度	5℃	—			0.5 以下 2.0（−）(※1) 以下	
		23℃					
耐汚染性			変退色用グレースケール号数　3 号以上				
難燃性	残炎時間 秒		—			20 以下	
	炭化長 mm		—			100 以下	

※1 “（−）”は、下反りの場合の規定値を表す記号。

床シートの性能

性能項目	区分		発泡層のないもの		発泡層のあるもの	
	種類		単層ビニル床シート	複層ビニル床シート	発泡複層ビニル床シート	クッションフロア
	種類を表す記号		TS	FS	HS	KS
へこみ量 mm	試験温度	23℃	0.30 以上			
		45℃	1.5 以下		—	
残留へこみ量(※2) mm	試験方法	A法	0.75 以下		—	
		B法	(0.25 以下)		0.35 以下	
加熱による長さ及び幅変化率 %			−2.00 以上 2.00 以下		−2.00 以上 2.00 以下	−0.50 以上 0.50 以下
耐汚染性			変退色用グレースケール号数　3 号以上			
密度 kg/m³			—		650 以上	650 未満

※2　発泡層のないビニル床シートはA法（JIS A 1454 の 10.2 による。）で測定を行う。
また、B法（JIS A 1454 の 10.3 による。）は参考値とする。

東リ床材製品のJIS記号対応一覧表

JIS改正に伴う東リ製品の対応は以下の通りとなります。

（2023年8月現在）

JIS		商品名	掲載頁
コンポジションビニル床タイル	KT	リノテスタ	251
	KT	ヴィアーレ	252
	KT	ストレイン	253
	KT	ダイナミックストーン	254
	KT	ピエスタ	256
	KT	マチコV ※	258
	KT	コーデラ ※	260
	KT	スレートスクエア ※	261
	KT	フェイソールプルス ※	262
	KT	グラノーブル ※	264
	KT	リフライプ ※	265
	KT	モクリン	266
	KT	フリータイル	340
複層ビニル床タイル	FT	ロイヤルウッド	268
	FT	ロイヤルストーン	284
	FT	イークリンNW-EX	312
	FT	MSフレッシュ ※	337
	FT	MSプレーン ※	338
	FT	フリータイルS	341
単層ビニル床タイル	TT	SGタイル	342
置敷きビニル床タイル	FOA	ルースレイ40NW-EX ※	320
	FOA	ルースレイ50NW-EX	322
	FOA	ルースレイマスターNW-EX	332
薄型置敷きビニル床タイル	FOB	LAYフローリング	334

JIS		商品名	掲載頁
単層ビニル床シート	TS	ヒトエ グランザ	350
	TS	ヒトエ ファイン	352
複層ビニル床シート	FS	フロアリューム プレーンNW ※	354
	FS	フロアリューム マーブルNW ※	356
	FS	フロアリューム ソイルドNW ※	358
	FS	フロアリューム フレークNW ※	360
	FS	フロアリューム ナッティ NW ※	361
	FS	フロアリューム ラティスNW ※	362
	FS	ノンワックスリュームNW ※	364
	FS	マチュアNW ※	368
	FS	帯電防止フロアリューム ※	401
	FS	耐薬スーパーKシートNW ※	402
	FS	耐薬スーパーKシート エクセラNW ※	403
	FS	ニュースタンロード ※	405
	FS	アースリューム ※	406
	FS	オペリューム ※	407
	FS	NSシート NS800 ※	412
	FS	NSシート NS550 遮熱ガーデント ※	426
	FS	消臭NSトワレNW ※	428
	FS	NSプレーンNW ※	433
	FS	NSアクアトレッド ※	434
発泡複層ビニル床シート	HS	ホスピリュームNW ※	376
	HS	SFフロアNW ※	380
	HS	アリーナフィット ※	386
	HS	ファクトリューム ケミ ※	404
	HS	NSリアルデザインNW ※	408
	HS	NSフラッティ ※	432
	HS	バスナアルティ ※	441
	HS	ラバナ ※	442
	HS	TMフロア ※	443
クッションフロア	KS	ケアセーフNW ※	384
	KS	CFシート-H ※	388
	KS	アンパンマン クッションフロア ※	393
	KS	CFシート-P NW ※	394
	KS	CFシート-SD ※	399
	KS	バスナリアルデザイン ※	438
	KS	バスナフローレ ※	440

※ JIS表示許可を得ている商品です。
JIS表示許可商品の出荷ラベルの一部には、
JISマークが表示されません。

公共建築工事標準仕様書 国土交通省 大臣官房官庁営繕部監修

2019年度版より抜粋

ビニル床シート、ビニル床タイル、巾木、接着剤、カーペット、壁紙、カーテンが対象となります。

1. ビニル床シート

ビニル床シートは、JIS A 5705（ビニル系床材）により、種類、色柄、厚さ等は、特記がなければJIS分類表示で複層ビニル床シートFS、厚さ2.0㎜のものを使用します。

ご参考までに、特記がない場合に対象となる東リ製品は…。

- フロアリューム プレーンNW 2mm … (354頁)
- フロアリューム マーブルNW 2mm … (356頁)
- フロアリューム ソイルドNW … (358頁)
- フロアリューム フレークNW … (360頁)
- フロアリューム ナッティ NW … (361頁)
- フロアリューム ラティスNW … (362頁)
- ノンワックスリュームNW … (364頁)
- マチュアNW … (368頁)
- 帯電防止フロアリューム … (401頁)
- 耐薬スーパー Kシート NW … (402頁)
- 耐薬スーパー Kシート エクセラNW (403頁)
- ニュースタンロード … (405頁)
- アースリューム … (406頁)
- オペリューム … (407頁)
- 消臭NSトワレNW … (428頁)
- NSプレーンNW … (433頁)
- NSアクアトレッド … (434頁)

2. ビニル床タイル

ビニル床タイルは、JIS A 5705（ビニル系床材）により、種類、厚さ等は、特記がなければJIS分類表示でコンポジションビニル床タイルKT、厚さ2.0㎜とします。

ご参考までに、特記がない場合に対象となる東リ製品は…。

- コンポジションビニル床タイルKT
- マチコV 2mm … (258頁)

3. 帯電防止床シート・床タイル

帯電防止床シート・床タイルの種類、性能、厚さ等は特記によります。

ご参考までに、特記がない場合に対象となる東リ製品は…。

- ルースレイ 40NW-EX … (320頁)
- ルースレイ 50NW-EX … (322頁)
- ルースレイマスター NW-EX (332頁)
- フリータイル … (340頁)
- フリータイルS … (341頁)
- 帯電防止フロアリューム … (401頁)
- 耐薬スーパー Kシート NW … (402頁)
- 耐薬スーパー Kシート エクセラNW (403頁)
- ニュースタンロード … (405頁)
- オペリューム … (407頁)

4. 視覚障がい者用床タイル

視覚障がい者用床タイルの種類、形状は特記によります。

ご参考までに、特記がない場合に対象となる東リ製品は…。

- SGタイル … (342頁)

5. 耐動荷重性床シート

耐動荷重性床シートの種類、厚さ等は特記によります。

ご参考までに、特記がない場合に対象となる東リ製品は…。

- ヒトエ グランザ … (350頁)
- ヒトエ ファイン … (352頁)
- ノンワックスリュームNW … (364頁)
- ホスピリュームNW … (376頁)
- SFフロアNW … (380頁)
- ケアセーフNW … (384頁)
- アリーナフィット … (386頁)
- 耐薬スーパー Kシート NW … (402頁)
- 耐薬スーパー Kシート エクセラNW (403頁)
- ファクトリューム ケミ … (404頁)
- ニュースタンロード … (405頁)
- アースリューム … (406頁)
- オペリューム … (407頁)
- NSリアルデザインNW … (408頁)
- 消臭NSトワレNW … (428頁)
- NSフラッティ … (432頁)
- NSアクアトレッド … (434頁)
- バスナリアルデザイン … (438頁)
- バスナフローレ … (440頁)
- バスナアルティ … (441頁)

6. 防滑性床シート・タイル

防滑性床シート又は床タイルの種類、厚さ等は特記によります。

ご参考までに、特記がない場合に対象となる東リ製品は…。

- NSリアルデザインNW … (408頁)
- NSシート NS800 … (412頁)
- NSシート NS550 遮熱ガーデント (426頁)
- 消臭NSトワレNW … (428頁)
- NSフラッティ … (432頁)
- NSプレーンNW … (433頁)
- NSアクアトレッド … (434頁)
- バスナリアルデザイン … (438頁)
- バスナフローレ … (440頁)
- バスナアルティ … (441頁)

7. ビニル巾木

ビニル巾木の厚さ、高さ等は特記によります。
特記がなければ、厚さ1.5㎜以上、高さ60㎜とします。

ご参考までに、特記がない場合に対象となる東リ製品は…。

- ソフト巾木 … (484頁)
- ロング巾木 … (484頁)
- ソフト巾木（木目） … (487頁)
- ロング巾木（木目） … (487頁)
- デザイン巾木 … (491頁)

8. ゴム床タイル

天然ゴム又は合成ゴムを主成分としたもので、色柄、種類、厚さ、寸法等は特記によります。

ご参考までに、特記がない場合に対象となる東リ製品は…。

- プラート … (344頁)
- プラートF … (345頁)

9. ビニル床シート及びビニル床タイル用接着剤

接着剤はJIS A 5536（床仕上げ用接着剤）により、種別は施工箇所に応じたものとします。但し、接着剤のホルムアルデヒド放散量は特記により、特記がなければF☆☆☆☆とします。フリーアクセスフロア床の接着剤は、粘着はく離形とする事ができます。

施工箇所	種別	特記がない場合の対象東り製品（492頁～）
一般の床	ビニル共重合樹脂系 酢酸ビニル樹脂系 ゴム系ラテックス形 アクリル樹脂系 ウレタン樹脂系	エコロイヤルセメント LAYセメント エコGAセメント エコGAセメントEX エコAR600
地下部分の最下階・玄関ホール・湯沸室・便所・洗面所・防湿層のない土間・貯水槽・浴室の直上床並びに脱衣室等貼付後に湿気及び水の影響を受けやすい箇所・耐動荷重性床シートの場合・化学実験室等	エポキシ樹脂系 ウレタン樹脂系	USセメント 東リ低臭USセメント US200 US300S US300T バスナセメントEPO エポグレーST エポグレーS エポグレーSS
垂直面	ビニル共重合樹脂系 ウレタン樹脂系 酢酸ビニル樹脂系 ゴム系溶剤形 アクリル樹脂系 ゴム系ラテックス形	エコAR600 エコLX巾木糊 CRセメント 巾木糊

- 下地は、モルタル下地の場合は施工後14日以上、コンクリート下地は施工後28日以上放置し、乾燥したものとする。貼付けに先立ち、下地表面の傷等のへこみは、ポリマーセメントペースト、ポリマーセメントモルタル等により補修を行い、突起等はサンダー掛け等を行い、平滑に仕上げる。
- ビニル床シートは、仮敷を行い、巻き癖をとる。
- 接着剤を所定のくし目ごてで下地面に均一に塗布し、空気溜まり・不陸・目違い等のないように、ベタ貼りする。
- 熱風溶接工法は、U字形かV字形とし、均一な幅にシート厚の2/3程度まで溝切りする。溶接はビニル床シートと溶接棒を同時に溶融し、余盛りができる程度に加圧しながら行う。溶接部が、完全に冷却した後、余盛りを削り取り平滑にする。
- 貼付時又は接着剤の硬化前に、室温が5℃以下になるおそれのある場合は施工を中止する。不可能な場合は、採暖等の養生を行う。
- 施工後は、接着剤硬化後、水拭き清掃し、乾燥後、ビニル床シート製造所の指定する樹脂ワックスを塗布する。

10. カーペット

消防法に定める防炎性能を有し、防炎表示のあるものとし、織カーペット・タフテッドカーペット・ニードルパンチカーペット・タイルカーペットに適用されます。

〈織カーペット〉

織カーペットの品質はJIS L 4404（織じゅうたん）により、種別、織り方、パイル形状等は特記によります。種別の分類は以下の通りです。また、色柄、パイル糸の種類等は特記によります。特記がなければ、模様のない無地のものとし、パイル糸の種類等は以下の通りです。

種別	パイル糸の種類	糸の番手・本数	密度/25.4mm	パイル長 mm
A種	そ毛糸	10番手2本より4本引き揃え	7.8×9	12
B種	紡毛糸	7番手2本より3本引き揃え	7.8×8	10
C種	紡毛糸	5番手2本より2本引き揃え	7.8×8	7

※パイル糸の種類は、再生羊毛・くず羊毛を含まない、毛80%以上とする。
※パイル糸は、染色工程で防虫加工を行ったものとする。
※帯電性は特記がなければ、人体帯電圧3.0kV以下（JIS L 1021-16）とする。
※下敷き材は、特記がなければJIS L 3204（反毛フェルト）の第2種2号、厚さ8㎜とする。
※カーペット用接着剤はメーカー指定のものとする。但しホルムアルデヒド放散量は特記による。特記がなければF☆☆☆☆とする。

ご参考までに、特記がない場合に対象となる東り製品は…。

A種	WQ-19（特注品・参考価格52,000円/㎡（税抜き価格））
B種	WQ-18（特注品・参考価格24,000円/㎡（税抜き価格））
C種	WQ-12（特注品・参考価格18,000円/㎡（税抜き価格））

※いずれも東り特注カーペットです。詳細は東り営業所にお問合わせ下さい。
（標準ロット/300㎡/色以上・納期/色決定後約1ヶ月）

〈タフテッドカーペット〉

タフテッドカーペットの品質は、JIS L 4405（タフテッドカーペット）により、パイル形状、パイル長は特記によります。

※パイル糸の種類は、ナイロンフィラメントとする。　※帯電防止性能は織カーペットに準じる。
※下敷き材は織カーペットに準じる。　※接着剤は織カーペットに準じる。

ご参考までに、特記がない場合に対象となる東り製品は…。

グレース …… （218頁）

〈ニードルパンチカーペット〉

ニードルパンチカーペットの厚さは特記によります。

※帯電防止性能は織カーペットに準じる。
※接着剤は織カーペットに準じる。

〈タイルカーペット〉

タイルカーペットは、種別、パイル形状、寸法、全厚の特記がなければ、第一種（下表）・ループパイル・500㎜×500㎜・全厚6.5㎜とします。種別ごとの品質・性能は以下の表（規格 JIS L 4406）によります。

項目		種別ごとの品質・性能 第一種	第二種
幅及び長さ (%)		±0.1以内	
直角度の程度 (%)		0.1以下	
単位面積当たりの基布上のパイルの質量 (g/㎡)		350以上	250以上
パイル糸の引抜き強さ (N)	ループパイル	24.5以上	19.5以上
	カットパイル	13.0以上	11.0以上
摩擦を伴った動的荷重による厚さ減少率 (%)		15.0以下	25.0以下
キャスターチェアによる幅及び長さの変化率 (%)		0.15以下	
熱及び水の影響による幅及び長さの変化率 (%)		0.10以下	
熱及び水の影響による反り (㎜)		1.5以下	
帯電性 (kV)		2.0以下	
パイル糸の染色堅牢度（級）	耐光堅ろう度	4以上	
	摩擦堅ろう度（乾）	4以上	
難燃性	たて方向	残炎時間20秒以下・炭化長10cm以下	
	よこ方向		
パイル糸の油脂分及び溶剤抽出分	紡績糸 毛（混紡を含む）	油脂分1.2%以下	
	紡績糸 アクリル（アクリル系を含む）、ポリエステルナイロン又はこれらを混用したもの	油脂分0.9%以下	
	紡績糸 その他	油脂分1.2%以下	
	フィラメント	溶剤抽出分0.9%以下	

項目	外観
穴、裂けの欠点	ないこと
汚れの欠点	目立たないこと
補修後の欠点	目立たないこと
その他の欠点	たて筋、よこ段等が目立たないこと

（2000年12月改訂 JIS L 4406：2021より）

ご参考までに、特記がない場合に対象となる東り製品は…。

GA-100 …… （50頁）
GA-100S …… （52頁）
GA-100SA …… （53頁）
GA-100EM …… （53頁）
GA-100W（一部品番除く）…… （60頁）

※第一種合格品は第二種合格品とみなされます。
※接着剤は織カーペットに準じる。但し粘着はく離（ピールアップ）形とする。
※カーペット用接着剤はメーカー指定のものとする。但しホルムアルデヒド放散量は特記による。特記がなければF☆☆☆☆とする。

11. 壁紙

壁紙は、JIS A 6921（壁紙）により、種類は特記によります。また、建築基準法に基づく防火材料の認定表示のあるものとし、防火性能は特記によります。但し、壁紙のホルムアルデヒド放散量は、特記がなければF☆☆☆☆とします。

※詳しくは建築基準法についての説明の項をご参照下さい。（559頁参照）

施工に関する条件（抜粋）

- 接着剤は、JIS A 6922（壁紙施工用澱粉系接着剤）による2種1号とし、使用量は固型換算量（乾燥重量）30g/㎡以下とする。但し、接着剤のホルムアルデヒド放散量は特記による。特記がなければF☆☆☆☆とする。
- 素地ごしらえについては、それぞれの下地に応じたものとする。
- 張付けは壁紙を下地に直接張付け、裁合わせて張付ける。

12. カーテン

カーテン用きれ地の種別、品質、特殊加工等は特記によるものとし、消防法に定める防炎性能の認定表示があるものを条件とします。ひだの種類は特記により、それぞれの取付け幅に対する倍数は下記の表に準じます。

種類	カーテン用きれ地の取付け幅に対する倍数
フランスひだ（三つひだ）	2.5以上
箱ひだ、つまひだ（二つひだ）	2.0以上
プレーンひだ・片ひだ	1.5以上

※ひだの間隔は120㎜程度とする。
※カーテンの長さは、腰窓の場合は窓下から200㎜程度下げ、掃き出し窓は床に触れない程度とする。
※暗幕用カーテンは、特記がなければ、両端・上部並びに中央の開口部は300㎜以上カーテンを重ね合わせる。
※ドレープ並びに暗幕用カーテンの幅継ぎは、袋縫いとする。
※レースカーテン等の幅継ぎは、押えミシンをかけないで両耳を遊ばせておく。
※縁加工は、上端幅75㎜程度のカーテン芯地を袋縫いし、両脇及び裾は伏せ縫いとし、裾の折返し寸法は100～150㎜程度とする。
※タッセルは、カーテンきれ地と共布を加工して取付ける。
※フック（ひるかん）はステンレス製とする。ランナーは合成樹脂製とする。
※カーテンレールは、JIS A 4802（カーテンレール金属製）により、レール及びブラケットの強さによる区分、レールの材料による区分、並びにレールの仕上げ形状は特記による。特記がなければ、強さによる区分は10-90、材料による区分はアルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材、仕上げはアルマイト及び形状は角形とする。
※両引きひもによる引分けカーテンの場合は、交差ランナーを使用する。

文部科学省建築工事標準仕様書（特記基準）は2013年に改正され、規定していない事項は、公共建築工事標準仕様書（統一基準）（建築工事編）が適用される事となりました。内装工事については規定されていないため、公共建築工事標準仕様書（統一基準）（建築工事編）が適用されます。

〈文教施設協会推奨品〉

学校施設部品等を対象に設けられた、学校用として必要な品質性能基準の審査に適合し、推奨品として文教施設協会から認められた製品です。

GA-100 ……（50頁）
GA-100S ……（52頁）

公共住宅建設工事共通仕様書 公共住宅事業者等連絡協議会

2019年度版より抜粋

地方自治団体（市町村及び都道府県）の住宅で特記仕様以外は以下を標準とします。
ビニル床シート・ビニル床タイル・巾木・接着剤・カーペット・壁紙が対象となります。

1. ビニル床シート

ビニル床シートは、JIS A 5705（ビニル系床材）により、種類、色柄、厚さ等は、特記がなければJIS分類表示で複層ビニル床シートFS、厚さ2.0㎜のものを使用します。

ご参考までに、特記がない場合に対象となる東リ製品は…。

フロアリューム プレーンNW 2mm…（354頁）
フロアリューム マーブルNW 2mm…（356頁）
フロアリューム ソイルドNW…（358頁）
フロアリューム フレークNW…（360頁）
フロアリューム ナッティ NW…（361頁）
フロアリューム ラティスNW…（362頁）
ノンワックスリュームNW …（364頁）
マチュアNW ……（368頁）
帯電防止フロアリューム ……（401頁）
耐薬スーパー Kシート NW…（402頁）
耐薬スーパー Kシート エクセラNW （403頁）
ニュースタンロード ……（405頁）
アースリューム ……（406頁）
オペリューム ……（407頁）
消臭NSトワレNW ……（428頁）
NSプレーンNW ……（433頁）
NSアクアトレッド……（434頁）

2. ビニル床タイル

ビニル床タイルは、JIS A 5705（ビニル系床材）により、種類、厚さ等は、特記がなければJIS分類表示でコンポジションビニル床タイルKT、厚さ2.0㎜とします。

ご参考までに、特記がない場合に対象となる東リ製品は…。

コンポジションビニル床タイルKT
マチコV 2mm ……（258頁）

3. ビニル巾木

ビニル巾木の厚さ、高さ等は特記によります。
特記がなければ、厚さ1.5㎜以上、高さ60㎜とします。

ご参考までに、特記がない場合に対象となる東リ製品は…。

ソフト巾木 ……（484頁）
ロング巾木 ……（484頁）
ソフト巾木（木目）……（487頁）
ロング巾木（木目）……（487頁）
デザイン巾木 ……（491頁）

4. ビニル床シート及びビニル床タイル用接着剤

接着剤はJIS A 5536（床仕上げ用接着剤）により、種別は施工箇所に応じたものとします。但し、接着剤のホルムアルデヒド放散量は特記により、特記がなければF☆☆☆☆とします。フリーアクセスフロア床の接着剤は、粘着はく離形とする事ができます。

施工箇所	種別	特記がない場合の対象東リ製品（492頁～）
一般の床	ビニル共重合樹脂系 酢酸ビニル樹脂系 ゴム系ラテックス形 アクリル樹脂系 ウレタン樹脂系	エコロイヤルセメント LAYセメント エコGAセメント エコGAセメントEX エコAR600
地下部分の最下階・玄関ホール・湯沸室・便所・洗面所・防湿層のない土間・貯水槽・浴室の直上床並びに脱衣室等貼付後に湿気及び水の影響を受けやすい箇所・耐動荷重性床シートの場合・化学実験室等	エポキシ樹脂系 ウレタン樹脂系	USセメント 東リ低臭USセメント US200 US300S US300T バスナセメントEPO エポグレーST エポグレーS エポグレーSS
垂直面	ビニル共重合樹脂系 ウレタン樹脂系 酢酸ビニル樹脂系 ゴム系溶剤形 アクリル樹脂系 ゴム系ラテックス形	エコAR600 エコLX巾木糊 CRセメント 巾木糊

5. カーペット

消防法に定める防炎性能を有し、防炎表示のあるものとし、織カーペット・タフテッドカーペット・ニードルパンチカーペット・タイルカーペットに適用されます。

※カーペット用接着剤はメーカー指定のものとする。但しホルムアルデヒド放散量は特記による。特記がなければF☆☆☆☆とする。

〈織カーペット〉

織カーペットの品質はJIS L 4404（織じゅうたん）により、種別、織り方、パイル形状等は特記によります。種別の分類などは公共建築工事標準仕様書の欄をご参照下さい。

〈タフテッドカーペット〉

タフテッドカーペットの品質は、JIS L 4405（タフテッドカーペット）により、パイル形状、パイル長は特記によります。

※パイル糸の種類は、ナイロンフィラメントとする。
※帯電防止性能は織カーペットに準じる。

ご参考までに、特記がない場合に対象となる東リ製品は…。

グレース ……（218頁）

〈ニードルパンチカーペット〉

ニードルパンチカーペットの厚さは特記によります。

※帯電防止性能は織カーペットに準じる。

〈タイルカーペット〉

タイルカーペットは、種別、パイル形状、寸法、全厚の特記がなければ、第一種・ループパイル・500㎜×500㎜・全厚6.5㎜とします。種別ごとの品質・性能は公共建築工事標準仕様書の表（規格 JIS L 4406）をご参照下さい。

ご参考までに、特記がない場合に対象となる東リ製品は…。

GA-100 ……（50頁）
GA-100S……（52頁）
GA-100SA ……（53頁）
GA-100EM……（53頁）
GA-100W（一部品番除く）……（60頁）

※タイルカーペット用の接着剤は粘着はく離（ピールアップ）形とする。

6. 壁紙

JIS A 6921の規格に適合し、かつ建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとし、種類及び防火性能は特記によります。但し、壁紙のホルムアルデヒド放散量は特記によります。特記がなければF☆☆☆☆とします。

接着剤に関する条件

- JIS A 6922（壁紙施工用及び建具用でん粉系接着剤）による2種1号とし、使用量は固形換算量（乾燥質量）30g／㎡以下とします。

国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）

2015年6月環境省ホームページより抜粋

循環型社会の形成のために、2000年5月に制定された循環型社会形成推進基本法の個別法の一つで、環境物品等の調達の推進等に関する法律。通称グリーン購入法と呼ばれます。
ここでは、特に内装材に関与する項目を抜粋しています。

概要

国等の公的機関や独立行政法人等が率先して環境物品等（環境負荷低減に資する製品・サービス）の調達を推進するとともに、環境物品等に関する適切な情報提供を促進することにより、需要の転換を図り、持続的発展が可能な社会の構築を推進することを目指すための法律。これらの各機関の取組みに関することのほか、地方公共団体、事業者及び国民の責務などについても定めています。

環境物品を選ぶ情報源

環境物品並びに特定調達物品は、国等の公的機関や独立行政法人などが具体的に決める方針の中で、それぞれに決められています。環境省では、グリーン購入を広く一般に推進するために、環境物品を選ぶ際の参考となる情報源を省内ホームページで公開しています。
http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/touroku.html

環境物品と基本方針

環境物品

①再生資源その他の環境への負荷の低減に資する原材料又は部品
②環境への負荷の低減に資する原材料又は部品を利用していること、使用に伴い排出される温室効果ガス等による環境への負荷が少ないこと、使用後にその全部又は一部の再使用又は再生利用がしやすいことにより廃棄物の発生を抑制することができること、その他の事由により、環境への負荷の低減に資する製品

基本方針

国は、国及び独立行政法人等における環境物品等の調達を総合的かつ計画的に推進するため、環境物品等の調達の推進に関する基本方針（以下「基本方針」という。）を定めなければならない。基本方針は、次に掲げる事項について定めるものとする。
①国及び独立行政法人等による環境物品等の調達の推進に関する基本的方向
②国及び独立行政法人等が重点的に調達を推進すべき環境物品等の種類（「特定調達品目」）及びその判断の基準並びに当該基準を満たす物品等（「特定調達品目」）の調達の推進に関する基本的事項
③その他環境物品等の調達の推進に関する重要事項

調達品目の分類・判断基準

品目の分野	インテリア・寝装寝具	公共工事
特定調達品目	カーペット	資材
品目分類	タイルカーペット	ビニル系床材
判断の基準・配慮事項	**判断の基準** 基準値１は①及び②の要件を、基準値２は②の要件を満たすこと。 ①製品の原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクルにおける温室効果ガス排出量を地球温暖化係数に基づき二酸化炭素相当量に換算して算定した定量的環境情報が開示されていること。 ②未利用繊維、故繊維から得られる繊維、再生プラスチック及びその他の再生材料の合計重量が製品全体重量比で25%以上使用されていること。 **配慮事項** ①ライフサイクル全般にわたりカーボン・オフセットされた製品であること。 ②製品使用後に回収及び再使用又は再生利用のためのシステムがあること。 ③製品の包装又は梱包は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。 〈備考〉 1.「製品全体重量」とは、繊維部分重量に樹脂部分及び無機質等を加えた製品全体の重量をいう。 2.「未利用繊維」とは、紡績時に発生する短繊維（リンター等）を再生した繊維をいう。 3.「故繊維」とは、使用済みの古着、古布及び織布工場や縫製工場の製造工程から発生する糸くず、裁断くず等をいう。 4.「故繊維から得られる繊維」とは、故繊維を主原料とし、マテリアルリサイクル又はケミカルリサイクルにより再生された繊維をいう。 5.「再生プラスチック」とは、使用された後に廃棄されたプラスチック製品の全部若しくは一部又は製品の製造工程の廃棄ルートから発生するプラスチック端材若しくは不良品を再生利用したものをいう。（ただし、原料として同一工程内で再生利用されるものは除く） 6.「再生材料」とは、使用された後に廃棄された製品の全部若しくは一部又は製品の製造工程の廃棄ルートから発生する端材若しくは不良品を再生利用したものをいう。（ただし、原料として同一工程内で再生利用されるものは除く）	**判断の基準** 再生ビニル樹脂系材料の合計重量が製品の総重量比で15%以上使用されていること。 **配慮事項** 工事施工時に発生する端材の回収、再生利用システムについて配慮されていること。 〈備考〉 JIS A 5705（ビニル系床材）に規定されるビニル系床材の種類で記号KSに該当するものについては、本項の判断の基準の対象とする「ビニル系床材」に含まれないものとする。
グリーン購入法・適合品マーク	**インテリアファブリックス産業活性化協議会による統一マーク** インテリアファブリックス産業活性化協議会では、2006年に「グリーン購入法適合品」統一マークを制定しました。	**日本インテリア協会による統一マーク** 日本インテリア協会では「グリーン購入法適合品」統一マークを制定し、加盟企業の製造する適合品に関し、管理規定を作成、品質及び安全面に配慮した製品づくりに取り組んでいます。適合品にはロゴマークを表示し、情報を公開しています。 【日本インテリア協会】TEL 03-3433-4521

エコマーク 公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局

2015年6月ホームページより抜粋

エコマークは、様々な商品（製品及びサービス）の中で、「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベルです。このマークを活用して、消費者のみなさんが環境を意識した商品選択を行ったり、関係企業の環境改善努力を進めていくことにより、持続可能な社会の形成をはかっていくことを目的としています。

エコマークの対象となる商品

エコマークの対象商品は、次のいずれかの項目にあてはまるものです。

①その商品の「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が、他の同様の商品と比較して相対的に少ないこと。「資源採取」「製造」「流通」「使用消費」「廃棄」「リサイクル」の段階で、同じジャンルの商品と比べて環境への影響が少ないこと。

②その商品を利用することにより、他の原因から生ずる環境への負荷を低減することができるなど環境保全に寄与する効果が大きいこと。その商品を利用することで、環境保全に貢献できること。

エコマークを使用・表示するには？

エコマークを使用・表示するには、各商品類型（商品カテゴリー）ごとに定められた認定基準を満たすことが要件となります。具体的には、商品が対象となっている認定基準に照らし合わせて商品認定審査の申込を行い、エコマーク審査委員会での認定を受け、商品ごとに（公財）日本環境協会との間でエコマーク使用契約を締結することが必要です。

内装材に関わるエコマークの商品類型・認定基準

	タイルカーペット	ビニル系床材
商品類型	No.123建築製品（内装工事関係用資材） 分類C-7	No.123建築製品（内装工事関係用資材） 分類C-6
適用範囲	タイルカーペット	JIS A 5705で定めるビニル系床材
主な認定の基準	●以下の①、②要件を満たすこと ①廃タイルカーペット由来のポストコンシューマ材料が製品重量の10%以上使用されていること。 ②ポストコンシューマ材料からなる再生材料が製品重量の25%以上使用されていること。ただし、プレコンシューマ材料も合わせて使用する場合の配合率は以下の式による。 プレコンシューマ比率×1/2＋ポストコンシューマ比率≧25% ●再生プラスチックは、重金属など有害物質の溶出量について、土壌汚染対策法施行規則別表第四に挙げられた特定有害物質のうちカドミウム、鉛、六価クロム、ヒ素、水銀、セレンに関する溶出量基準に適合すること。 ●可塑剤等のプラスチック添加物は、業界自主基準等によって定められたポジティブリストに従うこと。 ●一部のアゾ系染料等については、処方構成成分として添加していないこと。	●再生プラスチック材料（※1）の合計質量が、製品重量の15%以上であること。 （※1）再生プラスチック材料：高分子物質を主成分とする再生材料（※2）。マテリアルリサイクルの過程で、ポリマーと分別することのできない可塑剤などの添加剤が混合している再生材料も再生プラスチック材料とする。 （※2）再生材料：プレコンシューマ材料（※3）またはポストコンシューマ材料（※4）またはその混合物。 （※3）プレコンシューマ材料：製品を製造する工程の廃棄ルートから発生する材料または不良品。ただし、材料の製造工程内で発生し、再び同一の工程（工場）内で原料として使用されるものは除く。 （※4）ポストコンシューマ材料：製品として使用された後に、廃棄された材料または製品。 ●製品は重金属等の有害物質溶出量について、土壌汚染対策法施行規則別表第四に挙げられた特定有害物質のうちカドミウム、鉛、六価クロム、ヒ素、水銀、セレンに関する溶出量基準に適合すること。

エコリーフ 一般社団法人サステナブル経営推進機構（SuMPO）

2022年5月SuMPOホームページより一部抜粋

エコリーフは一般社団法人サステナブル経営推進機構（SuMPO）が運営する環境ラベル制度で、LCA（ライフサイクルアセスメント＝製品の資源採取から廃棄・リサイクルされるまでの一生にわたった環境影響評価）によって得られた製品の定量的環境影響データを検証・公開するものです。

内装材に関わるエコリーフの製品カテゴリールール（PCR）と認定基準

	タイルカーペット
認定PCR番号	PA-821000-AN-04
対象製品	タイルカーペット
認定基準	CO_2排出量や削減率の基準値はなく、PCRに沿って必要な情報が開示されているかを評価。

CASBEE 一般財団法人建築環境・省エネルギー機構

2016年版CASBEE建築（新築）評価マニュアルより抜粋

「CASBEE（建築環境総合性能評価システム）」は、2001年に国土交通省の主導の下、（一財）建築環境・省エネルギー機構内に設置された委員会において開発が進められている、建築物を環境性能で評価し格付けする手法です。省エネや省資源・リサイクル性能といった環境負荷削減の側面はもとより、室内の快適性や景観への配慮といった環境品質・性能の向上といった側面も含めた、建築物の環境性能を総合的に評価するシステムです。

評価システムの概要

「建築物の環境品質・性能（Q）」と「建築物の環境負荷（L）」の両側面から評価し、それぞれの評価項目について、各々設定された採点基準（レベル1～レベル5）に従って採点。

↓

採点結果から、建築物の環境効率を示すBEEを算出。

↓

BEEにより、SランクからCランクの5段階の建築物環境効率ランキングを表示。

内装材との関わり

CASBEEは建物全体の環境性能を総合的に評価するシステムであり、評価項目は多岐にわたります。その中で東リが寄与できる項目は、「LR2 2非再生性資源の使用量削減」での「2.4非構造材料におけるリサイクル材の使用」をはじめ、以下の評価項目が考えられます。

分類	特性項目	特性の解説	対象製品	掲載頁
Q1 室内環境	1.3　吸音	床面の70%に施工することで、吸音材として評価される。	カーペット全般	―
	4.1 発生源対策	化学汚染物質による空気質汚染の回避対策に関する評価。建築基準法規制対象外（告示対象外の建材及びJIS・JAS規格のF☆☆☆☆）は、使用する事で配慮されていると評価される。 レベル4：床・壁・天井・天井裏の合計面積の70%以上に採用 レベル5：床・壁・天井・天井裏の合計面積の90%以上に採用し、かつホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量が少ない建材を全面的に採用している。	ロールカーペット全般	―
			ファブテックタイル耐湿クッションバッキング	44
			東リファブリックフロア全般	―
			タイルカーペット全般（GX-200メタルデザイン除く）	―
			塩ビタイル全般	―
			塩ビシート全般	―
			リアルデコ	448
			ウッドデコ	470
			東リ 防汚消臭腰壁シート	474
			壁紙全般	―
			接着剤全般（GAスプレー除く）	―
Q2 サービス性能	1.3 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い内装材を提供。 東リのカーペットにおける防汚加工は撥水機能を有するため、防汚性の高い取組みとして評価できる。	ファブテックタイル耐湿クッションバッキング	44
			防汚加工カーペット	―
			タフテックタイル	242
			リノテスタ	251
			ヴィアーレ	252
			ストレイン	253
			ダイナミックストーン	254
			ピエスタ	256
			イークリンNW-EX	312
			ルースレイ40NW-EX	320
			ルースレイ50NW-EX	322
			ルースレイマスターNW-EX	332
			ヒトエ グランザ	350
			ヒトエ ファイン	352
			フロアリューム プレーンNW	354
			フロアリューム マーブルNW	356
			フロアリューム ソイルドNW	358
			フロアリューム フレークNW	360
			フロアリューム ナッティ NW	361
			フロアリューム ラティスNW	362
			ノンワックスリュームNW	364
			マチュアNW	368
			ホスピリュームNW	376
			SFフロアNW	380
			ケアセーフNW	384
			アリーナフィット	386
			CFシート-P NW	394
			耐薬スーパーKシートNW	402
			耐薬スーパーKシート エクセラNW	403
			NSリアルデザインNW	408
			消臭NSトワレNW	428
			防汚加工壁紙	―
		ホコリの溜まりにくい設計に寄与。	ビニル床シート（立上げ施工）	―
			プチモール	482
			プチモールW	483
	2.2.3 主要内装仕上げ材の更新の必要間隔	塩ビ床材や業務用のタイルカーペットは、一般的なオフィスで定期的なメンテナンスを行っていれば20年以上の使用が可能。	ビニル床シート（住宅用除く）	―
			ビニル床タイル（住宅用除く）	―
			タイルカーペット	―
LR2 資源・マテリアル	2.4 リサイクル材の使用	グリーン購入法適合商品、エコマーク認定商品の数で評価。両方に認定されている場合は1種類とする。	グリーン購入法適合商品（タイルカーペット・ビニル床タイル・ビニル床シート）	―
			エコマーク認定商品（タイルカーペット・ビニル床タイル・ビニル床シート）	―
	2.6 部材の再利用性向上への取組み	解体廃棄時におけるリサイクルを促進する対策としての分別容易性への取組みとして評価。	タイルカーペット	―
			ルースレイタイル各種	―
			LAYフローリング	334
			LAYフローリング ピタフィー	336
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	塩ビ床材・タイルカーペット・壁紙用接着剤や床仕上げワックスなどが対象となる。PRTR法の対象物質（1%未満除く）を含有しない材料の使用度合いを評価。	エコAR600	492
			エコGAセメント	493
			エコGAセメントEX	493
			LAYセメント	493
			USセメント	494
			US200	494
			エポグレーS	495
			エポグレーST	495
			バスナセメントEPO	496
			エコロイヤルセメント	496
			東リ ピュアボンド	497
			ツヤノンワックス（抗菌）	508

＊評価対象の適否は東リの判断です。正式には所轄自治体等の判断基準によります。　＊PRTR法・・・化学物質排出把握管理促進法

再生材料を使用した東リ床材製品一覧

（2023年8月現在）

	製品名	CASBEE LR2 2.4対象製品	グリーン購入法適合製品	エコマーク認定製品	掲載頁
タイルカーペット	GA-100EM	●	●	●	53
	GA-3600サスティブバック	●	●	●	66
	アルトグラン［GX-3800］	●	●		116
	ソコイタリ クラシック［GX-7900］	●	●		129
	タイルカーペット用アンダーレイシート	●		●	163
	FF用アンダーレイシート	●		●	185
ビニル床タイル	リノテスタ	●	●		251
	ヴィアーレ	●	●		252
	ストレイン	●	●		253
	ダイナミックストーン	●	●		254
	ピエスタ	●	●		256
	マチコV	●	●		258
	コーデラ	●	●		260
	スレートスクエア	●	●		261
	フェイソールプルス	●	●		262
	グラノーブル	●	●		264
	リフライプ	●	●		265
	モクリン	●	●		266
	ロイヤルウッド※1	●	●	●	268
	ロイヤルストーン※1	●	●	●	284
	イークリンNW-EX	●	●	●	312
	ルースレイ40NW-EX	●	●	●	320
	ルースレイ50NW-EX	●	●	●	322
	ルースレイマスター NW-EX	●	●	●	332
	LAYフローリング ピタフィー	●	●	●	336
	MSフレッシュ	●	●		337
	MSプレーン	●	●		338
	フリータイル	●	●		340
	フリータイルS	●	●		341
	SGタイル	●	●		342
ビニル床シート	フロアリューム プレーンNW	●	●	●	354
	フロアリューム マーブルNW	●	●	●	356
	フロアリューム ソイルドNW	●	●	●	358
	フロアリューム フレークNW	●	●	●	360
	フロアリューム ナッティ NW	●	●	●	361
	フロアリューム ラティスNW	●	●	●	362
	マチュアNW	●	●	●	368
	NSシート NS800	●	●	●	412
	NSシート NS550 遮熱ガーデント	●	●		426
	NSプレーンNW	●	●	●	433

※1 一部エコマーク認定商品外あり

環境に関する国際認証

さまざまな分野でグローバル化が進んでいる近年、環境に関しても国際認証への需要が高まりつつあります。
ここでは、建物や内装材の環境性能に関する国際認証をご紹介します。

LEED（Leadership in Energy and Environmental Design）

米国の非営利団体であるUSGBC（U.S. Green Building Council 米国グリーンビルディング協会）が開発、運営している、建築物の環境性能評価システムです。
LEED認証は米国内にとどまらず、全世界において取得の動きが広がっています。（USGBCホームページより）
日本国内でも、環境志向の建築材料を優先的に採用するプロジェクトでは、LEEDポイント取得に貢献できる商品かどうかを問われる事が多くなっています。評価項目は、素材や資源、水効率、室内空気環境、革新性とデザインなど多岐にわたり、取得ポイントにより標準認証、シルバー認証、ゴールド認証、プラチナ認証の格付けがなされます。

Green Label Plus

米国のCRI（Carpet and Rug Institute カーペット・ラグ協会）が制定する、室内空気環境の認証システムです。
Green Label Plus の認証商品を採用する事で、上述のLEED認証の「LEED v4 EQ Credit Low-Emitting Materials」の項目でポイントの獲得に貢献します。
東リは、一部の製品を除き、タイルカーペットについて日本で初めて Green Label Plus 認証を取得しました。

（2023年8月現在）

グリーンラベルプラス対象製品	掲載頁
GA-100	50
GA-100S	52
GA-100SA	53
GA-100EM	53
GA-100FH（受注生産品）	55
GA-100AF（受注生産品）	55
GA-100T	56
GA-100W	60
GA-3600サスティブバック	66
GA-8900	86
グランフロー［GX-6150L］	90
モロカライン［GX-4550V］	92
パッチコルク［GX-4650V］	93
スローネ［GX-9050V］	94
ヴェニーチェ［GX-9150V］	95
ロックガーデン［GX-9250V］	96
コレンテV［GX-9300V］	97
ディファブリエ［GX-9650V］	98
レゾナンス［GX-9700V］	99
リンクスペース［GX-9950V］	100
GX-200	102
MT-2000（受注生産品）	104
GX-200グリッドカット（受注生産品）	106
GX-300	108
メイオリカ［GX-2100］	110
チェンバロ［GX-2300］	111
オカッシュ［GX-2400］	111
ワッフルニット［GX-2650］	112
ヘイズピーク［GX-3150］	113
ウィズタイム［GX-3350］	114
MT-3350（受注生産品）	115
アルトグラン［GX-3800］	116

グリーンラベルプラス対象製品	掲載頁
MT-3800（受注生産品）	117
モルタークレイ［GX-3700］	118
ジオスラント［GX-4100］	119
プレリエ［GX-4200］	120
グレイスライン［GX-4300］	121
ウェーブニット［GX-4500］	122
ヴァリアスストーン［GX-4600］	123
グランクール［GX-4700］	124
ラティクロス［GX-4900］	125
カルムグレイン［GX-5100］	126
ルシェロⅡ［GX-5250］	126
モデルノ［GX-5600］	127
ソコイタリ［GX-7800］	128
ソコイタリ クラシック［GX-7900］	129
ソコイタリ インスピレーション［GX-8000］	130
ソコイタリ グランドエアー［GX-8100］	132
ソコイタリ サウンドスケープ［GX-8200］	134
オルヴィエ［GX-8300］	136
ノクチュール［GX-8400］	137
ルチェアール［GX-8500］	138
エトリコ［GX-8600］	139
ゆいそめ	142
エクスクローム1000（受注生産品）	146
エクスクローム2000（一部受注生産品）	148
エクスクローム5000（一部受注生産品）	152
東リ ダストコントロールカーペット DC-1100	156
東リ レインコントロールカーペット RC-1200	157

FloorScore®

米国のRFCI（Resilient Floor Covering Institute 弾性床材協会）と、第三者認証機関であるSCS（Scientific Certification System）が協同で作成した、室内空気環境の認証システムです。
FloorScore の認証を得る事で、574頁のLEED認証の「LEED v4 EQ Credit Low-Emitting Materials」の項目でポイントの獲得に貢献します。東リは、一部の製品を除き、ビニル床タイル、ビニル床シート、巾木、接着剤について FloorScore 認証を取得しています。

（2023年8月現在）

	フロアスコア対象製品	掲載頁
ビニル床タイル	タフテックタイル	242
	リノテスタ	251
	ヴィアーレ	252
	ストレイン	253
	ダイナミックストーン	254
	ピエスタ	256
	マチコV	258
	コーデラ	260
	スレートスクエア	261
	フェイソールプルス	262
	グラノーブル	264
	リフライプ	265
	モクリン	266
	ロイヤルウッド	268
	ロイヤルストーン	284
	イークリンNW-EX	312
	ルースレイ40NW-EX	320
	ルースレイ50NW-EX	322
	ルースレイマスターNW-EX	332
	LAYフローリング	334
	LAYフローリング ピタフィー	336
	MSフレッシュ	337
	MSプレーン	338
	フリータイル	340
	フリータイルS	341

	フロアスコア対象製品	掲載頁
ビニル床シート	ヒトエ グランザ	350
	ヒトエ ファイン	352
	フロアリューム プレーンNW	354
	フロアリューム マーブルNW	356
	フロアリューム ソイルドNW	358
	フロアリューム フレークNW	360
	フロアリューム ナッティNW	361
	フロアリューム ラティスNW	362
	ノンワックスリュームNW	364
	マチュアNW	368
	ホスピリュームNW	376
	SFフロアNW	380
	ケアセーフNW	384
	アリーナフィット	386
	CFシート-H	388
	CFシート-P NW	394
	CFシート-SD	399
	帯電防止フロアリューム	401
	耐薬スーパーKシートNW	402
	耐薬スーパーKシートエクセラNW	403
	ニュースタンロード	405
	アースリューム	406
	オペリューム	407
	NSリアルデザインNW	408
	NSシート NS800	412
	東リNSステップ800	422
	NSシート NS550 遮熱ガーデント	426
	消臭NSトワレNW	428
	NSフラッティ	432
	NSプレーンNW	433
	NSアクアトレッド	434
	バスナリアルデザイン	438
	バスナフローレ	440
	バスナアルティ	441
	ラバナ	442
	TMフロア	443
巾木	ソフト巾木・ロング巾木・ササラ巾木	484
	ソフト巾木（木目）・ロング巾木（木目）	487
	防汚抗菌ワイド巾木	488
	ウェーブ巾木	490
接着剤	エコAR600	492
	エポグレーST	495
	エコロイヤルセメント	496
	エコLX巾木糊	496

5 用語集

あ

ISO9001

国際標準化機構（ISO）が定めた品質マネジメントシステムに関する国際認証規格の事です。「一貫した製品・サービスの提供」及び「顧客満足の向上」が要求され、基準を満たしていると判断された組織に認証が与えられます。

遊び毛

製造工程中でパイルの中に残された繊維が表面に現れてくる事を遊び毛といいます。紡績糸使いのカーペットに多く、掃除機を掛ける事により除去する事ができます。パイルが順に抜けてしまう事はなく、物性や耐久性に影響はありません。

アルコーブ

部屋や廊下等の壁面の一部を後退させてつくったくぼみ状の部分。マンションでは、共用廊下から少し後退させた玄関前部分の事をアルコーブといいます。

意匠

美術工芸品・工業製品等の形・色・模様等をさまざまに工夫する事。
また、その結果できた装飾・デザイン。

入隅（いりすみ）、出隅（ですみ）

壁・板等、2つの平面が出合った所の内側の隅（すみ）。

SEKマーク

（一社）繊維評価技術協議会が定める規定に合格した事を示すマーク。規定には、菌・カビに対する抗菌性能や、人体への影響について基準が設けられています。

エッジトリマー

シート床材の耳落としに使用する道具。（癖がついたり、傷ついたシート床材の耳を綺麗に仕上げます）

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒド放散量に応じて、建築材料に設けられた区分。
JISでは三段階に分かれ、F☆☆☆☆は内装仕上げの使用面積制限を受けない等、最も安全性の高い区分に分類されます。

F^{IF}☆☆☆☆

インテリアファブリックス性能評価協議会が定めた、VOC（ホルムアルデヒド）放散の自主基準により表示される統一マークです。
F^{IF}☆☆☆☆は最上級区分です。

エンボス

床材表面の凹凸加工。手法には、型押しによって凹凸をつけるメカニカルエンボスと、化学薬品によって塗布した部分の発泡を抑えて凹凸をつけるケミカルエンボスがあります。

大引き

最下階床の根太を支える10cm内外の角材の横木。根太に直角に受渡して、大引き受けあるいは、土台に乗せ架けます。

落し込み（スクライバー）

シート床材の目地落し込み、継ぎ目のカットに使用する道具。

か

カーペットトリマー

カーペットのコーナー部を切断する道具。

可塑剤

合成樹脂やゴム等の高分子物質を、柔らかく加工しやすくするために添加される物質。

矩（かね）

L字形の定規の事。曲尺（かねじゃく）ともいいます。
直角がどうか調べる事を「矩をみる」、「矩をまく」、「矩がでている」等といいます。矩手に曲がるとは、直角に曲がる事です。

簡易防水施工

トイレや厨房等、常時水濡れがあっても水が溜まる事がない場所で、床下や床材の裏に水が回らないように行う施工方法。

乾式厨房

汚れた部分を濡らしたモップやブラシ等で清掃し、清掃後に拭取り、乾燥させるという清掃方法を採用している厨房。ドライキッチンとも呼びます。

カンナ（コンビカンナ）

ビニル床タイルの側面仕上げ、バリ取りに使用する道具。

基材

本カタログでは、プリントタイルカーペットのベースとなるタイルカーペット等をさします。素材という言葉とは意味が異なります。

か

基礎

上部構造からの荷重を地盤に伝える構造。
戸建住宅に用いられる基礎は、「布基礎」、「ベタ基礎」、「独立基礎」、及び基礎の高さ関係による「深基礎」、「高基礎」等の基礎形状の種類があります。

輝度

光源の明るさを表す指標。光源面の持つ、ある方向の光度のその方向に対する正射影面積密度をいいます。

輝度対比

同じ明るさの環境における、2つのものの明るさの対比をいいます。例えば、一般に、白い紙と黒い紙は輝度対比が大きいが、白い紙と黄色い紙は輝度対比が小さい。

基布

タフトしたカーペットのベースとなる織布または不織布。パイルを刺繍するための薄い布を第一基布、カーペットの寸法安定性と強度を得るために裏面に貼付ける生地を第二基布といいます。第二基布は、ジュートと合繊二次基布の二種類がある。第二基布を貼らずに、塩ビ層をバッキングしてタイル状にカットしたものをタイルカーペットといいます。

吸水性

水を吸う性質。例えば、コンクリートブロックやレンガには吸水性があります。

居室

人が居住、執務、作業、遊興等をするために、一定時間継続して使用する部屋。採光等のために一定の大きさの開口部（窓等）が必要とされます。

くしばけ（くし目ごて）

接着剤の塗布用はけ。（通称JISバケ）詳細は515頁をご参照下さい。

くも

カットパイルのカーペットで、一部のパイルだけが他と異なる方向に寝たために色が違って見える現象をいいます。

クラック

躯体等に生じる亀裂の事。乾燥収縮や膨張等によって発生します。

クリーンルーム

無塵室。大気中の浮遊塵等が速やかに排除され、常にその領域内の空気が高度な清浄状態に保たれている空間。全くの無塵でなくとも、その使用目的によって許容される塵埃の量は異なります。

グリーン購入法

正式名称は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」。国の機関や独立行政法人等に、毎年度環境物品の調達方針を作成し、その方針に基づいて物品の調達等を行う事を義務づけています。

グリッパー工法

ロールカーペットの施工方法の一つ。接着剤を使わず釘のついた木（グリッパー）を壁際に打付け、それにカーペットの周囲を引掛けて固定する方法。下地にフェルトや発泡ゴム等の緩衝材を敷込む事でクッション性が向上します。

グレア

眩輝、眩しさ。過剰な輝度や、大きすぎる輝度対比によって、不快な感じや視力低下をおこす目の知覚。

蹴上げ（けあげ）

階段の一段の高さ。
また、その寸法を「蹴上げ高さ」若しくは「蹴上げ寸法」ともいい、建築基準法にて寸法が定められています。

ゲージ

タフトしたカーペットの機械のニードルの間隔。ゲージが細かいほど、パイル密度が高くなる。5/32ゲージは、5インチ間に32本のパイルがある事を示します。

原着

繊維の着色方法の一つで、原液着色の略。多くは顔料を練込んで、原料段階で着色するので耐光堅牢性に優れています。

合板

原木を薄くはいでつくった単板（ベニヤ）を何枚も積層し、接着剤で貼り合わせて1枚の板にしたもの。普通は単板の繊維方向を1枚ずつ直交させ奇数枚貼り合わせますが、その枚数によって5プライ、7プライ、9プライと呼び、単板のみで構成し2次加工を施していないものを普通合板、そうでないものを特殊合板と呼びます。

コーキング

物と物の隙間を埋める方法。シールやパテ等の総称。

か

コーキングガン
カートリッジコーキング材（東リNSシールⅡ、バスナシールSSほか）の充填用道具。

コーキングヘラ
コーキング材、シール材の仕上げ用ヘラ。

コーティング
液体や粉体を表面に塗布し、表面を覆う事。塗装と同意語。

コーナーローラー（フォーエース）
床材コーナー部の圧着用ローラー。

腰壁
床と窓枠の間、床から大人の腰付近まである壁。車椅子等による傷から壁を守ったり、装飾的な意味から設えられます。

ころばし床
地面またはコンクリートスラブに直接根太や大引きをおいてつくる床。

コンポジションビニル床タイル
JISでは、バインダー含有率が30%未満のものをコンポジションビニル床タイルと呼びます。（略称KT）

さ

在来工法
柱、梁、筋交い（柱と柱の間に斜めに入れる材）等、木の「軸」を組み立てて建物を支える日本の伝統的な工法の事。

ササラ巾木
階段の壁際に使用する幅の広い巾木。一枚を階段に合わせてカットし、一枚から二枚分とるのが一般的。

残留へこみ
静止状態で上に置いたものの重量によって床材にできたへこみ跡の事。時間経過に応じてへこみ跡が回復するか否かを測る試験方法として、残留へこみ試験があります。

シーミングテープ
カーペットの継目処理の際に使用するテープ。

シール
塞ぐ、封じ込めるという意味。シートとシートの間を接着性のあるもので埋めてつなぐ行為を示す際にも、使用されます。

JAIA
日本接着剤工業会の略称。

JIS
日本の鉱工業品や建築資材、データ、サービス、経営管理等に関して、産業標準化のための基準を示す国家規格の略称。

シックハウス
住宅の高気密化により、建材等から発生するホルムアルデヒド等の有害物質によって室内空気が汚染され、人間の健康に被害を及ぼすようになりました。この住まいが原因でおこる健康被害を表す言葉。建築基準法では、シックハウス対策に関する事目が定められています。

自動床面洗浄機
スプレーにより、水や専用洗浄剤を噴霧しながら目の細かいパッドを使用してバフィングし、表面の汚れ除去と磨き直し、汚水の回収まで一度に行う専用機械。広い作業範囲、簡便な作業性等から日常メンテナンス方法として採用される清掃方法。

視認性
ある対象の存在が視覚的に認識される程度。背景との色彩、明度、輝度、形態などのコントラストによって異なります。

地ベラ
壁紙カット用、腰壁シートの入隅カット用ヘラ。

充填材
熱による伸縮を抑え、寸法安定性の向上をはかるために添加される物質。

ジョイントローラー（ハンドローラー）
材のジョイント、コーナー部の圧着、押さえに使用する道具。

水分計
物質に含まれる水分量を計測する機械。床材を施工する際に、事前に下地に含まれる水分をきちんと計測する事は施工工事を成功させるために不可欠です。

スクレーパー
下地のケレン作業用、及び床材の剥がし用のヘラ。

ステアツール
カーペットの壁際への落し込み（フェルトグリッパー工法）に使用する道具。

ステッチ
タフトしたカーペットの丈方向に、何本のパイルが刺繍されているかを示します。例えば、8ステッチとは、1インチ間に8本のパイルがある事を示しています。

スペーサー（トリミングガイド）
溶接棒の余盛部分のカットに使用する道具。

さ

スラブ
建築上、鉄筋コンクリート構造における床板の事を「スラブ」といいます。一般的に、分譲マンションでは、上下階に響く騒音を防ぎ遮音性を高めるため、スラブの厚さを20cm程度としています。

スルーチップタイル
デザインとして散布したチップが下まで通っている、一層もののコンポジションビニル床タイル。全層有効摩耗層で、耐久性に優れます。

寸法安定性
温度や湿度等の環境変化による寸法変化の度合い。

た

耐候性
自然環境のうち、主として日光、雨雪、温度、湿度及びオゾンによる負荷に対して、どれだけ品質変化をおこしにくいかという抵抗性。

耐湿工法
施工中ならびに施工後において、下地に湿気がある場合（DモードグレードⅡa 水分指標8～10%）に行う、下地湿気を考慮した施工法の事。下地湿気のない場合（DモードグレードⅠ 水分指標8%以下）の施工法は一般工法といいます。それぞれの施工方法に対して、製品によって接着剤が指定されています。（DモードグレードⅡb 水分指標10%以上は施工不可）

帯電防止剤
表面に付加したり練込む事によって、床材の帯電防止性を向上させる薬剤。一般に分子内に疎水基と親水基を有する界面活性剤が多い。

たちナイフ
溶接棒の仕上げをカットする道具。

タフテッドカーペット
刺繍カーペットの一種。基布にパイル（色糸）を機械刺繍によって植付け、糸が抜け落ちないように裏面をラテックスで糊着し、さらにジュート等を裏地に化粧貼りしたカーペット。

チョークリール
基準線の線引きに使用する道具。

散り
垂直な2つの面のわずかなズレの部分やそのズレ幅をさします。
（例）建具枠の端面と壁面など仕上面の段差によって生じる寸法。

テクスチャードループパイル
パイルの高さがハイループやロールループに切り換わる事で、文様を表現したループパイルのもの。

デバイダー
壁際の巾出し、印付け、けがき、パイプの型の採寸等に使用するコンパス。

電気抵抗値
電流の流れにくさを示す値。床材では、電気抵抗値が低いほど歩行時の静電気発生を抑え、また、発生した静電気を人体に帯電させずに床を通して逃がす事ができます。

透明ビニル層
塩化ビニルを素材とする透明層。ビニル床材にトップ層として使用され、厚みがあるほど耐摩耗性に優れます。

ドライメンテナンス
専用ワックスを多層塗り重ねるメンテナンス方法。日常管理を超高速ポリッシャーで行うので作業部位を通行止めにする必要がなく、常に光沢度が高いきれいな床を保持できる特長があります。磨き直し（研磨）を主とするので下地に凹凸があったり、作業者が不慣れな場合、床材に損傷をもたらす事があります。またエンボスの強い床材や目地棒を使用する場合には適しません。

な

内装制限
室内の壁と天井を不燃化とする、建築基準法にて建物の構造、規模によって定められた規制の事。
尚、一般の戸建住宅では、台所等火を使う部屋で、最上階にある場合以外は、壁と天井を不燃、または準不燃材の仕上材にしなければなりません。
（559頁「建築基準法」参照）

ニーキッカー
カーペットのしわ伸ばしに使用する道具。（フェルトグリッパー工法）

逃げ
部材の狂いや、施工時の誤差に対処するため、あらかじめ部材間に小さな隙間を作る等の処置をしておく事。

にじり・にじる
押付けてすり動かす事。キャスター等による回転しながら加わる力等をさします。単なる摩耗や荷重とは異なった負荷がかかります。

根切
基礎を造る場合の、土を掘削して所要の空間を造る事。
また、根切りをしたときの底の水平面を根切り底といいます。

根太
床板を受ける横架材。一般には、大引きや床梁の上に直角に受渡すが、ころばし床では玉石やコンクリートスラブの上に直接置く事もあります。

は

パーキリ（トリマー）
床材コーナーを壁際で切込む際に使用する道具。

パイル
カーペットの表面を形成する糸の束。先が丸く輪の状態になったものをループパイル、輪の部分をカットしたものをカットパイルといいます。同じ素材・規格であれば、ループパイルのほうが耐久性に優れています。

パイル長
張力をかけない状態での、基布の表面からパイル先端までのパイルの長さ。

パイル密度
単位面積あたりのパイルの本数。タフテッドカーペットの場合は、ステッチとゲージの乗数がパイル密度を表します。

ハイローループパイル
パイル長が2種類（ハイ&ロー）で構成され、無地調のループパイルのもの。

バインダー
ビニル樹脂に可塑剤と安定剤を加えたもの。

発音低減性
例えばコップが落下する等、床材に衝撃が加わった際にどれだけの音が発生するかを示します。発音低減性に優れた床材ほど、音が小さく、静かな環境を作る事ができます。

発泡層
気泡を含んだシート層。これを積層して、衝撃吸収性や保温性を向上させます。高発泡シートの代表例がクッションフロア。

巾定規
床材の切断や型取り作業、壁際の切込みに使用する定規。

番手
紡績糸の太さの単位。パイル糸に用いるメートル番手では、1gで1mの糸を1番手、1gで2mの糸を2番手とし、数字が大きいほど糸は細くなります。他に、綿番手、ジュート番手があります。

反応形接着剤
化学反応によって硬化するタイプの接着剤。エポキシ樹脂系に代表される2つの液体を混ぜて反応させる二液タイプと、ウレタン樹脂系に代表される湿気によって反応する一液タイプがあります。

ハンマータッカー
フェルトの下地への固定するための道具。（フェルトグリッパー工法）

BCF
Bulked Continuous Filament（長繊維かさ高加工糸）の略。カーペット用に開発されたBCFナイロンは、遊び毛や毛玉が出にくく、しかも耐久性に優れます。

ヒートガン
シート床材、ビニル床材を暖める（柔らかくする、曲げやすくする）ための道具。

ピールアップ
ピールとは剥がすという意味。タイルカーペットのように、剥がす事を前提に行う施工方法を、ピールアップ工法といいます。

複層ビニル床タイル
JISの分類により、バインダー含有率が30%以上で複層のものを、複層ビニル床タイル（略称FT）と分類しています。

フリーアクセスフロア
電力や通信用の配線スペースを確保するために、床を二重構造とする配線方式。二重床とも呼びます。

不陸
面に凹凸があったり、水平でない事。不陸のある下地に床材を施工すると美観を損なう事があります。

プリントタイル
ロイヤルストーン・ロイヤルウッドに代表される、印刷層に透明ビニル層をラミネートしたタイプ。複層ビニル床タイルともいいます。

ヘタリ
過酷な使用によって、パイルの弾力性が回復しない状態や、床材の発泡層等が薄くなる事をさします。

防汚糸
表面に付着した汚れが目立ちにくいようにした繊維。糸の内面に穴を設けた中空糸が主流。

防汚加工（カーペット）
繊維の表面に汚れをつきにくくした加工。東リの防汚加工は、撥水性能に優れています。また、特殊防汚「ナノクリン®」は撥水防汚加工に特殊ナノ加工が加わり、土砂汚れにさらに優れた防汚性能を発揮します。

防滑性（C.S.R 値）
床材の滑りにくさの程度をあらわし、安全性に寄与する要因となります。

は

防眩性
反射による眩しさを緩和する性能。

紡績糸
限られた長さの短繊維（ステープル）を引きそろえて、撚りをかけ、無限長のひも状にした糸。遊び毛が出やすい。

ま

巻上げ施工
病院等において衛生環境に配慮して、床材を壁面に巻上げて貼る施工方法。「立上げ施工」ともいいます。

またぎ貼り
基準線をまたいで割付けする施工方法。

マルチレベルループパイル
パイルの高さが、一定の間隔でゆるやかに変化しながら凹凸を表現したループパイルのもの。

見切り
仕上げの終わる部分や仕上げが変わってしまう取合い部分の納まり。
通常は細長い部材を入れて美しく仕上げる。天井の廻り縁、巾木、腰壁の壁との取り合いに入れる部材を「見切り材」といいます。

目付
使用されているパイル糸の総重量。同じ素材・パイル長であれば、目付の多いほうが耐久性に優れています。

モールカッター
モール材（プチモール等）をカットする道具。

モルタル
セメントに砂を混ぜ、水で練ったもの。コンクリートほどの強度はありません。ブロックやレンガを積む時や、コンクリートの表面の仕上げ等に使います。
コンクリートはセメントに砂と砂利を混ぜ、水で練ったもの。ブロック積みの基礎や建物の土台等、強度の必要な場所で使います。

や

有効摩耗層
ビニル床材として、摩耗しても使用可能な範囲の層。東リでは印刷層のあるものは印刷層に達するまで、エンボスのあるものは凸部が認められる範囲、防滑性床材等、機能性床材はその機能を発揮できる範囲を有効摩耗層と定義しています。

UV樹脂層
本来UVとは紫外線を意味するが、ここでは紫外線で硬化する樹脂をいいます。ビニル床材の表面保護材で、防汚性に優れ、厚みがあれば耐摩耗性にも寄与します。UV樹脂を塗装したものを東リではUV樹脂コーティングと呼びます。

U溝カッター
シート床材のジョイント継目処理に使用するカッター。（溶接棒の熱風溶接工法）

養生
床材に負荷や変化を与えず、そのままの状態で保つ事。床材の癖をとって環境になじませるために施工前に行う養生と、接着剤の硬化を確実にするために施工後に行う養生とがあります。

養生テープ
床材を施工した後、工事や搬入によって床材が汚れたり破損をうける事のないように養生シートを貼ります。この時に、養生シートをとめるために使用するテープ。床材に直接貼る事により、汚染や変色を招く事があります。カーペットは、養生シートの上からでも養生テープによる汚損をうける事があります。使用には注意が必要。他に、コーキングの際に床材を汚さないように貼るテープも養生テープといいます。

ら

リノカット
シート床材のジョイント落し込みに使用するカッター。

リバース施工
シート床材を幅継ぎする際に、方向を互い違いにして合わせる方法。

ループパイルカッター
ループパイルカーペットの切断に使用するカッター。（パイルの列に沿ってジョイントを切る事ができます）

レイタンス
生コンクリートを打ち込んだ後、水とともに浮き上がってくる、石灰石等の微粒子の作るもろい層。